

を以てす。陛下の答處、百了千當、珠を盤に走す如くに相似たり。山僧掌を抵つて奏して曰く、「徹せり矣。」蓋し蕭梁の武帝を冷笑し、李唐の肅宗を熱罵する者。陛下に非ずして其れ誰を哉。願はくは寶祚萬安を保ち、永く佛法の檀越と爲りたまはんことを。珍重。

天文十一龍集壬寅迎佛會の辰、詔を奉じ妙心に住す。臣僧宗休謹書。

後平城帝圓滿本光國師徽號の宸翰

朕、曩の時、大燈の正傳を聞いて、挑つて師の室下に在り、詔して師を迎ひて内に入れ、密參垂語、其の示誨を受くること茲に年有り矣。師の印證を得るの後、國師を以て之れを稱せんと欲す、未だ其の志を遂げず。道風を北闕に遺し、德化を西京に輯む。本體如然の靈光、寔に大人妙用なり。蓋し在日の旨に例して、特賜の號を以て、之れを稱して

圓滿本光國師と爲すと爾云ふ。

天文十九年二月七日

御押

大休國師の門徒等

後平城帝本有圓成國師徽號の宸翰

朕、本光國師を召して、關山祖、拈得する底の本有圓成の公案を參得して、大極大用を得たり。今而

唐第七代の皇帝、玄宗の第三子なり。肅宗太子たりし時、政を攝す、是の時慧忠國師、白崖山に在りて道譽甚だ高し、肅宗師に就いて深く禪要を研む、即位の後、國師を入内せしめ、敬慕師の禮をとる、上元二年を以て崩す。
天子の親しく書したまふないふ。
天子の宮殿の北の正門なり、上奏謁見の徒の出入する所。漢書高帝紀に「蕭何、未央宮を治む、東闕、北闕、前闕を立つ、即ち北にあるは玄武闕をいふ、宮中のことはいふ。

祖忌二百年に當つて、勅して本有圓成國師と蓋して、以て恩に酬い德に報ゆと爾云ふ。

弘治三年三月十二日

微笑塔下

大休の號

宗休首座、別稱を需む、之れに命じて大休と曰ふ。仍つて願以て證と爲すと云ふ。

千峯の勢は嶽邊に到つて止まり、萬派の聲は海上に歸して收まる、林下何ぞ曾て朝市に換へん、縦ひ塵劫を經るも頭を回さざれ。

永正元年十一月 日

前の大徳特 芳叟

正法山妙心禪寺に住す 山門疏

東山 雪嶺和尚製

正法山妙心禪寺山門、欽んで北闕の繪旨を奉じて、前の第一座大休禪師を敦請して本寺に住持せしむ。國の爲に開堂演法、皇圖の萬安を祝贊する者なり。右伏して以れば、法社、師を擇ぶ、海棠は多く甘棠は少なり。學徒己に克つ、初節は易く晚節は難し。久しく 膺浮圖を見ることを厭ふ、忽ち佳衲子に逢ふことを欣ぶ。共しく惟れば、新命堂上大休大禪師、舌、霹靂を走らしめ眼は乾坤を空す、虛堂慧海の航と稱す。心、千古に涵す、洋

諱は禪傑、尾張熱田の人なり、業を妙喜庵の瑞巖石に受く、後、雪江環の輪下にありて契悟す、出でて尾の瑞泉寺、丹波の龍興寺、攝津の海清寺、京の妙心寺等に遷る、又大徳寺に陞る。
住持を勸請する宣疏なり、官府の疏なきときは、山門疏に聖壽を祝せよの語を加ふ。
諱は永瑄、別に識慮、又樵庵と號す、丹後に生る、幼にして建仁寺に入り、十如院の九峰

嶼、^①法門の鼎たり。名諸方に重く廻祖道を行す。獅獅象旋、後昆家を興す。鳳毛麟角、教養禪府、蚤に^②永明百卷の書を檢す。棒雨喝雷、晩に臨濟三要の印を佩ぶ。慈氏の兜率より下るかと疑ふ、輪王の閻浮を化するに類す。^③張蒼、漢を佐け、^④呂尙、周を相く、來つて勝會に赴く。^⑤阜陶は虞を歌ひ、奚斯は魯を頌す。仰いで^⑥丕圖を祈る、謹んで疏す。今月 日疏。知事比丘、頭首比丘、勤奮比丘、西堂比丘。

同門の疏

慧峯の湖月如尙製

同門茲に審にす、正法山妙心禪寺、適く主席を虚しうす、特に綸旨を降して、大休禪師を德雲精舍に起して以て補處す。是に於て、法系に昆季たる者、此の盛舉を聞いて^①忻抃に堪へず、胥率ゐて疏を製し、厥の駕を從與すと云ふ。德雲、別峯に相見す、水有り皆月、虛堂諸老に徧歷す、誰が家か春ならざらん。寧ろ知識に逢ひ難しと曰はんや、學者の惑ひ多きことを共れ奈せん。共しく惟れば、新命妙心大休禪師、精神矍鑠、手段鞏頑、面壁得髓、達磨拈華して大乘を赤縣に接す。頌古垂示、^②雪竇落草して百則を碧巖に評す。孔韋の玄を窺ひ、衡瘴の毒に觸る。牀角七八尺の藤杖、

寒時の閑梨、熱時の閑梨、擔頭一兩枝の梅花、者箇の行李、那箇の行李、南方の佛法を商量して、東海の兒孫を勃興す。未だ先宗を墜さず、是れを本色と謂ふ。烏寺に住して一巡祖を罵る、宜しく度生を急にすべし。^③麓山に到つて連聲、兄と叫ぶ、同志に如くは莫し。

永正龍丙子に集る春三月 日疏。

前大德 宗恕

前妙心惠樹

前妙心宗繕

前妙心玄訥

前廣嚴永資

知慶宗諱

前大德宗棟

駿州大龍山臨濟禪寺に住する山門の疏

駿州路 大龍山臨濟禪寺山門、欽んで大檀越源府君の嚴命を奉つて、靈雲大休禪師を敦請して本寺に住持せしむ。國の爲に開堂演法し、皇圖の萬安を祝贊する者なり。右伏して以れば、虎丘、臨濟の正宗を振ひ、西華山五千仞に譬ふ。駿河、圓通を安倍に出す、東海道十四州に冠たり。人境を待ち境人を待つ、聖は天を希ひ天は聖を希ふ。共しく惟れば、新命堂上大休和尚大禪師、名宇宙に喧しく、語煙霞を帯ぶ。吾が師三門開堂、說法第一、智慧第一、曾祖四月入寺、住山八十、行脚八十、紫伽梨、影を禁池に

成に就いて爰變真具し、後歩詳久しうして法を九峰に嗣ぎ常に十如院に留る、永正五年勅を奉じて建仁寺に遷住し、文筆の才に長じ、其の名叢社に鳴る。

①にせ寺院といふ程の意、名ありて實なきをいふ。

②法門の寶であるとなり。

③永明禪師の宗鏡錄百卷を著す陽武の人なり、奉に事へ御史となる、後、漢に歸し、從つて藏茶を攻め、功を以て北平侯に封ぜらる、孝文の初め、丞相となり、年百餘歳にして卒す、書十八篇を著し、専ら陰陽律曆の事を説く。

④呂尙は太公望なり。

⑤阜陶は舜の時の司徒なり。

⑥大なる圓なり。

⑦賀疏の一種、新命の住持と同門の人が同門の故を以て、其の入院を賀して呈する所の文

疏なり。

⑧慧峰は慧日山東福寺なり、湖月和尚、諱は信鏡、別に襄庵と號す、時に或は補漢、輿卓の號を用ふ、幼にして出家し、東福寺の商霖佐に就いて參究し、其の法を繼ぎ、後、東福寺に出世す、師交辭を樂みとなし、常に古文眞寶を以て學徒に教ふ。

⑨喜びて手をたたくこと。

⑩雪竇重顯禪師、智門光祚の法嗣、字は隱之、遂州の人、嘗て景德傳燈錄によりて古則一百

則をのきて之れが頌古を作

る、後に圓悟、評唱して碧巖集と稱するもの即ち是なり。

⑪峰峯義存禪師が師兄巖頭全菴の提撕を受けて、繁山に在つて大悟成道せし、こと前に見ゆ。

⑫大德六十二世、仁濟宗想禪師なり。

涵し、鳥跋華、瑞を濁世に現す。靈雲山頭の古月、之れを仰げば彌高し、洛陽城裏の秋風、思ひて忘るゝこと能はず。美なる哉率陀、五鳳修造宜しきなり。方丈大龍蟠居、邦君、弩を負ひて前驅し、府主、疏を作つて以て敦請す。文は歐蘇に至り、禪は妙喜に至る、百世の師を得たり。俗は成康の若く、壽は高宗の若し。萬乘の主を祝す、謹んで疏す。今月 日疏、知事比丘、頭首比丘、勤奮比丘。

臨濟寺殿 用山玄公大禪定門十三年忌の拈香 駿州臨濟寺に就いて忌を修す

前の臨川江心西堂 天龍寺三秀院

「這箇過去に於てするときは、則ち沈水佛と號して度生す、梅早うして白し、分身の身。法報應化、現在に於てするときは、則ち香春佛と稱す、出世杳暁くして紅なり。無説の説、刹塵熾然、凡は凡に同じく、聖は聖に同じ、方は自ら方、圓は自ら圓なり。梅檀世界の梅檀、如來、東國土に燎焯焯焯たり。 蔭葡叢林、蔭葡圍繞す、西竺乾に鬱鬱葱蔥たり。本來無染至理絶詮、之れを蒸却して師恩に酬ゆる者は、春日の知識、秋日の知識に供

①字は景堂、山城の人、少より景川和尚に親炙し、參禪究決す、大心院に住す、妙心開堂進寺すること兩次、後又尾の瑞泉を重す。

②大龍山と號し、靜岡縣安倍郡安東村にあり、享祿年間、四品前駿河太守今川氏輝公の開基に係り、特芳傑の嗣法、即ち大休宗休禪師の開山にして當時は今川義元勅命を奉じて堂宇を建立し、次いで武田信玄、徳川家康等各勅命によりて再建せり、後奈良帝の勅願所なり。

③後文によりて考ふるに、今川義元の子、氏輝なり、氏輝子なし、遺囑によりて義元立つ。即ち四品前駿河太守今川氏輝公、當山の開基なり。

④蔭葡は梵音、此に黄花と譯す、本草綱目に「厄千花を占葡と名く」とあり、異同辨じ難し、

養す。之れを挿向して聖壽を祝する者は、香山の大仙、雪山の大仙に逢著す。江南の螺甲以て淺俗と爲す、吳中の鷓斑猶ほ是れ 腥羶。法は空處より起り、人は鼻端に向つて參す。或時は大法を九衢紅塵の裏に轉す、材、佛宮の餘を收め、工、子來の助有り。或時は沈材を一燈黃雲の邊に取る、功德八百を具足し、芬芳大千に遍滿す。薰籠字字相疑る、鷲嶺の文、龍宮の藏を寫し出す。滿爐縷縷として絶せず、鷄足の欄、熊耳の棉を織り成す。趙宋の善神凡上に九代の祖を冷笑し、 匡廬の法師社中に十八賢を集むるを泥視す。一雨普霑す、大根大莖大枝大葉、諸漏已に盡く。木に非ず空に非ず、火に非ず煙に非ず。將に謂へり趙州の柏樹と、元來崑崙の蘭荳。看よ看よ、用山大禪定門、這の一炷の薰力に憑つて、三界の蓋纏を脱却し、直處、密教教主拔苦王と同じく華臺の寶蓮を坐斷せん。香を擧して云く、

「手に信せて拈じ來る別物無し、大龍山裏の大龍涎。娑婆世界南瞻部洲大日本國駿河州居住、大功德主源朝臣義元、天文十有七年三月十有七日、伏して臨濟寺殿用山玄公大禪定門一十三白の遠忌の辰に値ふ。預め大龍山に就いて緇流を集め白業を修す。大日覺王の尊像を彫刻する者一軀、法華妙典頓寫漸寫印寫若干部、水陸妙供圓通妙懺各一會、英檀自ら壽量の一品を書し、

維摩經觀衆生品に曰く、人蔭葡林に入つて唯々蔭葡を嗅いで餘香を嗅がざるが如しと、蓋し芳香美麗なる花樹林なるべし。

①血生臭きをいふ。
②慧遠法師、蓮社十八賢社を結ぶ。
③英檀は即ち今川義元をいふ。
④法華經方便品に出づ、如是は萬法の當體、ありのまゝをいふ、十如是は諸法の當體に含まれたる十種の普遍性をいふ、即ち如是相、如是性、如是體、如是力、如是作、如是因、如是緣、如是果、如是報、如是本末究竟等、これを十如是といふ。

且つ 十如是を十首の和歌に演出し、筆墨を以て佛事を成する者尙ぶ可し矣。自餘の作善、僧官の宣讀に詳かなり。今散筵に當つて、香華燈燭、茶菓珍饈を嚴備し、謹んで現前の清衆に命じて、同音に究竟堅固無上神咒を諷演するの次で、靈雲堂上大和尚を拜請して、陞座說法、兼ねて小比丘承董に副命して、この 乾陀羅耶を焚いて、本師釋迦牟尼大覺世尊、東方樂師醫王善逝、西方無量壽佛、今日の教主大日如來、當來下生彌勒尊佛、文殊普賢の二菩薩、現座道場の觀音大士、六道能化地藏願王、西天東土の歷代傳法の諸祖、開山十朝の國師、日本國內大小の神祇、天界地界冥府冥官、各各駢駢等に供養す。集る所の 殊勛、大禪定門の爲に報地を莊嚴し往愆を滅除し奉る。茲に承る、大禪定門、年未だ而立ならず、質を易ふるの日、國を英檀賢弟に讓る。維れ時禍蕭牆に起ると雖も、一日の中一戰して蕪たり、國家を泰山の安に措く。是に於てか、仁祠を營みて山を大龍と號し、寺を臨濟と扁す。夜禪晝誦、淨侶の勤修する者、其の員を知らず。昔 破庵と松源と同じく密庵の門に出づ、一門の二甘露と爲す。破庵一傳して圓照に至り、三傳して佛國國師に至り、四傳して正覺國師に至る。松源の道、正法の師祖に至るまで五世、其れ昌なり。爾より來、此の兩派、大唐に濫觴して大倭に彌繪す。法幢を建て、法需を施す者枚擧するに遑あらず。蓋し英檀、當寺を創建するの始め、吾が先

- ①梵語 Candhariva なり、佛國の名、香積と譯す、こゝは乾陀羅樹より製したる香料。
- ②殊勳に同じ。
- ③三十而立の語より來る、三十に至らざるをいふ。
- ④密庵は成傑禪師の法嗣なり。
- ⑤妙心寺開山慧玄禪師をいふ。
- ⑥松源、運庵、虛堂、南浦、宗峰と五世なり。

國師を勸請して開山祖と爲す。其の先、定光寺殿、佛國の道風を慕ふて、其の迹を師とする者なり、所以有る哉。加之、大禪定門、正法の師祖と異代同諱、僉曰ふ、甚だ奇甚だ特なりと。且つ復た大源禪師、龍山の山主と爲つて、晨鐘暮鼓、禮樂一新、月斧雲斤、輪奐美を盡す。頃日山門佛殿落成、修鳳の手を施す、修造住持、說法住持、二難相并す。今日適く此の忌辰に際して、禪師、英檀の嚴命を傳へて、靈雲老師を拜して、陞座普說し、山野亦驥尾に附して蛙鳴を作す。累世通家、左右源に逢ふ、先師未了の因縁を了する者乎。桃花 上巳の風景を今朝に餘し、宜なるかな、說法靈雲和尚をして師子吼後ならしむることを。木犀雙徑鳩の天香を三月に吐く、耐耐なり、亂道圓照の遠孫をして、野干鳴先ならしむ。漸報漸報。共しく惟れば、臨濟寺殿用山大禪定門、才色兼麗しく、忠孝兩ながら全し。今川の源氏の嫡流に出づるや、旣伽河、信度河、縛芻河、徒多河の衆水、其の涯浚を窺ふに足らず。用山の 清和の後裔に承くるや、普賢山、仙人山、白塔山、負重山の奇峯、何ぞ敢て厥の層巒を望まん。之れを澄せども清からず、之れを消せども濁らず、之れを仰げば彌高く、之れを鑽れば彌

- ⑦輪奐は結構をいふ。
- ⑧賢主と嘉賓とを二難といふ。
- ⑨上は初の義なり、三月初めの巳の日を以て上巳の節とす。後世は巳の日にかゝはらず、三月三日を節日と定められたるも、なほ古名を用ふ、即ち破膜して流水の上に飲す、以て水上盟誓の意にとる、今和俗の桃の節句なり、義之が蘭亭の記にも見ゆ、即ち彼の風物を今に移したる意ならん。
- ⑩此の四川は印度の四河をいふならん。
- ⑪清和源氏なるが故にいふ。
- ⑫韓信、淮陰侯に封ぜらる、張良、蕭何(或は陳平)と共に漢室創業の三傑と稱せらる、初め項羽に従ひ、後、漢に歸して大將軍となり、諸侯を伐つて天下を統一す、後、呂后に思まれ、高祖十一年に捕れて

堅し。子房は是れ英、淮陰は是れ雄、金卯の赤帝を輔く可し。趙昌が花、邊鸞が雀、畫工の黄筌を屑とせず。枕を高くするは遠江州の水聲、近く聴く、欄に凭れば則ち浮島が原、山色遙に連る。善御夜白の逸群に乗ず、盡く王良と爲す。閩國駿馬を好む、平生海青の猛捷を臂にす。常に景升が臺に登つて鷹鷂を呼ぶことを笑ふ。事一時に美なり、語千載に流ふ、道九野を光し、徳八埏に載つ。兵を談れば呉に合し孫に合す、孫子は孟子、吳子は論語、家を興して文有り武有り。武王は春王、文王は元年、華胄燁燁、瓜瓞綿綿たり。牡丹海棠名いはず、温國年少の譽を馳す、芝蘭玉樹、秀を鍾む、謝家風流の爛なるに擬す。難兄難弟行を成す、鴻鴈朋と曰ひ友と曰ふ。座に盈つる貂蟬、地三河の魏を連ね、景八境の度を移す。秦範・範政の先緒を振起し、定家・家隆の遺編を熟讀す。曼卿は歌に豪なり、歐陽は文に豪なり、太白は詩に豪なり。歌詞妙絶、芳聲藉藉たり。胡照は其の骨を得、韋誕は其の筋を得、索靖は其の肉を得たり。骨格超越、筆勢翩翩たり。藝に遊ぶときは、則ち薛嵩が蹴鞠に効ひ、射を學ぶときは、則ち羿氏の控弦に勝れり。雷に三代の禮樂を整ふるのみに匪ず、矧ん

殺さる、嘗て辱を忍びて屠中少年の腹下を出でたるは著明なる美譚なり。
① 王良は古の名高き御者。孟子滕文公に「昔は趙簡子、王良をして嬖奚と與に乗せしむ」とあり。又韓文公の石處士を送る序に「駟馬輕車に駕し、熟路に就いて而して王良造父をして之れが前後を爲さしむるが如し」とあり。
② 孫吳の兵法に精しく又兼れて文を能くするをいふ。
③ 藤原定家、鎌倉時代の歌人、後成卿の子、後鳥羽上皇の知遇を蒙り、麗宮に詣りて歌の判者となる、勅を受けて源通具等と新古今和歌集を撰す、正二位に叙し、權中納言となる、世に京極貴門と稱す、彼の百人一首は小倉山莊の障子に書きしものといふ。家隆は光隆の子、歌を俊成に學び、定家

や一世の威權を執るをや。治安の策を獻じ、勳業の鞭を著く。河南河北從ふ者、南と無く北と無し。關東關西歸する者、東よりし西よりす。清見濁、台星照臨、雕輪、唯軋、宇度の濱、天人降下、羽衣翩躚、之れを駐むるに叫ぶこと無し。莫要去莫要去の鸚鵡、之れを勸めて呼ぶこと有り。不如歸不如歸の杜鵑、烟光淺間の嶽頂に凝り、橋聲安部の市廓に報す、草木禽獸恩光を借る。草木の主也、禽獸の主也、菟薨雉兔龍渥に沐す、菟薨の者も往き焉、雉兔の者も行く焉。偉なる哉臧孫、魯に後有る。智なるかな矣昭王、士を燕に致す。胸中自ら丘嶽有り、公餘多く林泉を愛す。五郎易の六郎、昌宗清標を玉座に望む。一人は道安、半人は慧齒、緇徒を門扇に引く。隣好を修して以て木李を投じ、以て瓊玖を報す。淳風の茅茨を剪らず、采椽を斲らざるを貴ぶ。蓋世功を成すの項羽に比すと云ふと雖も、惜む可し不幸短命の顏淵に似たることを。去つて後木枯の森、深秋寂寞。今に至るまで田籠の浦の佳月、嬋娟三城の帳、昇平の夢に屬し、一曲の鈴、悵望の心に關る。因つて懷ふ公幕府に居ることを。萬里の春、逐客の來るに従ひ、十年の花、佳人の老を送る。闌らざりき、吾れ齋筵に赴かんとは。願はくは言れ居易、兜率に歸せんことを。胡爲れぞ裴休子闌に生

と名を等しうす、所詠總て六萬首に及ぶ。宮内卿從二位に進み、壬生二位と稱す。
④ 石曼卿は宋代の奇士也、常に古人の奇節偉行非常の功を慕ひ、世俗を見る屑々として其の志を動すに足るもの無し、常に落落として酒を呑んで自ら志を放にす、曾て濟州金鄉縣に知たり、其の文章勁健、雄逸甚だ見るべきものあり。
⑤ 羿は古の射の名人。
⑥ 夏、商、周をいふ、禮記に、「三代の禮は一なり、民共に之れによる」と。
⑦ うめききしること。
⑧ 射を刈るもの、薪をさるもの。
⑨ あてやかなること。

まる、何の處の深林にか關を覓めん。倭國の富士、金華學士の句に入る、者の風顛漢虎鬚を捋つ。臨濟老師、黃檗先師の禪を倡ふ、其の夢幻泡影を觀せんよりは、若し廣續普聯を挑げんに曷ぞ。此の山本色の住持を接して、妙門を揭示し正法を流通す。當處に歷代の祖師を呵して、直指を掃蕩し單傳を拂散す。什麼の默時説、説時默とか論せん、什麼の偏中正、正中偏をか談せん。陰陽不到の處に向つて、父母未生の前を會す。理上の工夫、事上の工夫を了して、陸互が普願に見ゆるに依倚たり。棒下の正覺、喝下の正覺を成じて、韓愈が大顛に參するを睥睨す。頓に衆罪の霜露を消し、直に自己の山川を領す。也太奇也太奇。鑊湯爐炭を蹈倒して一步を動せず、勿可把勿可把。地獄天堂を打破して一拳を勞せず。濁世烏鉢を現じ、虚空鐵船を駕す。正與廢の時、香嚴童子出で來て妙語芳鮮、曰く、如上の所説、如かじ之れを棄捐せんには。大禪定門の受用三昧底、言を以て宣ぶべからず。洒洒落落として本分に歸田すと雖も、即今英檀の孝心を感じて、此の法會に向つて象馭回旋す。之れに絲つて無量の化菩薩、袂を搯き肩を拍つ。山野旂れを瞻仰し、旂れを讚歎し、小祇夜一篇を以てす。木人涙落つ暮春の天、光景遷ると雖も物遷らず、聽くや燒香無譜の曲、松風聲度る 十三絃。」

① 廣燈、續燈、普燈、聯燈の五燈ある僧傳。
 ② 陸互大夫、南泉普願禪師に法を受く。
 ③ な、めに見る、にらむこと、史記に「睥睨して故らに久しく立つ」とあり。
 ④ 十三年遠忌の縁語を用る也。
 ⑤ 北斗星のあるところをいふ、又はめぐる道。
 ⑥ 他の作りし時に相和して作るをいふ、次韻、用韻、依韻の三體あり、次韻は原韻の儘和

景川和尚三十三回忌の香語

松岳和尚

那伽三十有三年、舌上の龍泉、斗躡を衝く、道ふ莫れ先師に此の語無しと、黃鸞啼破す綠楊の煙。

松岳和尚の韻に和す

相國寺恕西堂

伊陽洛を隔つ幾多年ぞ、仰ぎ見る德星の今躡に聚ることを、一雨過ぐる時百花發く、春風吹き起す鷓鴣の煙。

して前後易ふることなきをいふ、用韻は原韻を用ふるも前後に拘泥せざるなり、依韻は原作と同韻中にある文字を用ひ、必ずしも原韻の字を用ひざるなり、また用韻依韻とを合せて和韻といひて、次韻に對する説もあり。

國譯圓滿本光國師見桃錄卷之四 終

見桃錄叙

圓滿本光國師。匡徒于正法山之後。有有馬郡主赤松氏之女模堂夫人。爲國師。勸建梵宮於山之兌方。拜請居之。國師以靈雲爲扁焉。晚再有細川氏綱營。一精舍於大雲山麓。以供國師之禪燕。復名以見桃也。皆用志勤禪師機緣。必有說。迨今而不容測其旨矣。因國師平生舉揚開堂。示衆立地。偈贊當時撮蒐者。題曰見桃錄。其錄傳寫所在秘珍。祇是多寡不均。踳駁尤甚。遙胄諸老。常以爲憂焉。甲寅歲胥議編定。乃羅致家家所藏十數本。交互摩研。質魯亥補。因脫鏟除疊沓。倫貫畔散。釐爲四卷。於是乎守塔銜衆命。來款乎遷窩。告忠曰。參訂既竣矣。請引事。情於卷首。道忠伏惟。國師處于海宇橫潰之世。不墜天源所傳之宗。猷道德雁鴻。文章藻績。卓絕一代。聖主稟法。武豪仰化。禪教真俗。醜飛慕嚮。由委化迄于今。垂二百年所。雲耳湧隨。點定舊稿。剡之木而宣通。遺言以擬毛滴之報答。自匪源深流長。則豈能致之耶。此卽是家庭盛事也。忠衰颯十拗。隨喜三歎。不覺鳴筆硯。塗糊滿紙。敢茂帥衆。囑耳矣。凡展讀是錄者。不可味卻見桃之一著。苟徒摘葉尋枝。或在國師面前。則必不免熱倍三十矣。

元文二歲次丁巳壯月二十四日

遠孫稗比丘道忠謹書

圓滿本光國師見桃錄卷之一

遠孫比丘衆等重編

住正法山妙心禪寺語錄

侍者 某編

師永正十三丙子歲入寺。

山門指云、大休歇地、乾坤一人、召大衆、開門外、雨滴聲、花開南浦春、喝一喝。

佛殿、報化佛頭、舉右足、誰獨足立、卸帽、耐耐汝州風、吹落老僧笠、便禮拜。

土地、東坡居士、護法明王、護箇什麼、山色清淨、溪聲廣長。

祖堂、吾這獅子窟、不容野狐精、去去天下太平。

據室、機關脫落、別討生涯、放竹篋、拄杖不在、且坐喫茶。

軟黃、此是三十天大威德天子、折尼拘陀爲佛作蔭涼底一枝、爲甚落山僧手、拈分付春

風、嬾桃笑開口。

山門疏、枯樹老僧、山門境致、露柱古佛、今日交參、舉疏、是什麼、花似錦、水如藍、

同門疏、說向太湖三萬月、品論惠山第二泉、誰道千里遠、元來一味禪。

拈衣、爲北秀者祖、右爲南能者祖、左搭起、鷓蚌相持、漁者利也。
登座、高高峯頂、盪正法船、因、驪龍行處、浪滔天。

祝香、大日本國山城州平安城正法山妙心禪寺新任持傳法沙門宗休、開堂令辰、虔蒸寶香、端爲祝、延今上皇帝聖躬萬歲萬歲萬歲萬歲、陛下、恭願百王百代、芥城空而壽山彌高、乃子乃孫、桑田變而仁澤何竭。

將軍、此香、大樹奕葉、仙李盤根、蒸向爐中、奉爲大檀越、準三宮、資倍鈞算、伏願九州四海、遠人服兮、戎狄和、二京三都、大厦成而燕雀賀、將補袞手、轉正法輪。

敕使、此香貴於天上、棘林、重於海外、婆律、蒸向爐中、奉爲敕使尊官、左中辨、資倍祿算、伏願宗門功、第一名上甘露麒麟、洛社會十三、齡逮元祐司馬、以規以祝、維德維馨。

京兆、此香蒸向爐中、爲外護檀越、源府君右京兆、資倍祿算、伏以、韓京兆起八代衰、仰才名於斗北、神堯帝爲一門事、觀義兵於晉陽、吾其庶幾乎、民之所歸也。

嗣香、這一瓣香、昔大燈國師、劈作兩片、付二神足也、以正法眼、付第一神足、吾關山祖、以諸莊園、付第二神足、佗徹翁師、是十目所視也、蓋碧落碑無贗本者、只花園一枝而已、餘薰八傳、至山野、山野祕之、三重五重、裏複子、卽今拈出、供養前住當山特芳老骨查、不肖報法乳、出乎爾者、返乎爾。

垂語、世尊有密語、迦葉不覆藏、擊禪牀、會麼、鷓鴣啼處、百花香、參、問答不錄。
提綱、乾坤內宇宙間、有一物黑如漆、護身靈符、願神妙術、得之者禍胎乎二、三、濫觴乎四、七、

著著有出身、門門書大吉、林際風顛、得之作金剛王、正令當行、巴蜀雪消、春水來、松源祖、得之用黑豆法、孤機峭峻、湘潭雲盡、暮山出、恁麼不恁麼、依係相似、越人爲鼻、不恁麼恁麼、彷彿不同、楚人爲乙、吾皇得之、西極混明、東略扶桑、晝降閻浮、夜昇兜率、拈拄杖、山僧今日得之、爲國開堂、此事了畢、是故在聖同聖、巾上戴堯天、在凡同凡、杖頭揭佛日、焦芽敗種、齊霑恩、森羅萬象、全歸一、直得石女立舞、三臺木人坐吹、管籥、這新翻一曲、諸人還委悉麼、倘復未然、高提一律去、卓一下、摩訶般若波羅蜜、甚深般若波羅蜜。
自序、宗休、出頭跛鼈、顛倒狂猿、吁何幸哉、天書遠召、滄浪客、是亦時也、春衣夜宿、杜陵花、慚赧慚赧、忸怩忸怩。

白槌謝、開堂之次、共惟養源堂頭大和尚、規行矩步、學馬勝威儀、放去收來、滅洋喚宗旨、千古叢林、改觀三代禮樂、重新玆辱、降尊就卑、鳴槌證法、下座必趨、十笏室、展一炊巾、伏乞道照、諸山謝、次惟諸位東堂大和尚、諸位西堂和尚、道香難掩、譬如梅檀葉葉起風、禪林有光、宛似珊瑚枝枝撐月、若罄褒詞、恐瀆大德、衆慈賢察。

總謝、又惟山門東西兩序、諸寮辨事、一會海衆、諸位禪師、雖可致逐一謝、此日開堂、專爲祝聖、不敢繁詞、併期小參之次、各各昭亮。

拈提、記得報恩逸禪師、因僧問、佛爲一大事、因緣出世、未審和尚出世如何、逸云、恰好、一問一答、諦當甚諦當、那僧作略、認奴作郎、報恩好佛、只是無光、有人若問、新妙心出世如何、祇對他道、拂一拂云、九萬里鵬纔展翼、一千年鶴便翔翔。

嘗晚小參，垂語拈杖，虛堂拄杖殺活在我，試觸著看，毒花毒果有麼，問答不錄。提綱豎起拂，吾有一柄拂子，千聖不曾携，列祖提不起，豎起則豎窮三際，橫拈則橫亘十方，由是明月拂清風，未教趙州一生受用，霹靂驚天地，直得百丈三日耳聾，有來由無來由，卽此用離此用，甚希有甚希有，日本國裏說禪，也太奇也太奇，大唐國裏打鼓，正與麼時，拈杖云，同行木上座，忍俊不禁，跳出云，和尚與麼道，早是龜毛長數尺，德嶠不答話，汾陽罷夜參，謂之真家訓而已，山僧咄云，休休，備一拶恰似兔邊求角相似，只如頭上定乾坤，毛端吞巨海底一句子，如何通箇消息去，卓一下，芍藥花開菩薩面，櫻欄葉散夜叉頭。自序宗休，暗證禪師，央庠座主，忝拜宸藻，叨汚名監，泚頰弗鮮矣。謝語，小參之次，共惟南昌堂頭大和尚，西源的流，急雪鶴鶴相竝，南昌故郡，落霞孤鶩齊飛，莫愧吾法兄，豈曰尊貴墮春寒花遲，保愛珍重。次惟養源堂頭大和尚，聲價大振，天下仰德，爵齒之達尊，典刑猶存，僧中獲才學識之三長，誰不嚴瞻乎。又惟大心堂頭大和尚，大心衲子，掉龍泉乎舌端，本色白拈，捋虎鬚乎這裏，造次顛沛，不失宗旨，誰敢近傍乎。更惟山門兩序，東班都寺禪師，兩翼相遙，鴛序鵠立分班，百廢具興，鯨暗鼉寂革響，不亦偉乎。監寺禪師，則監院扣青林禪，丙丁求火，會和尚接白雲祖，玉人治瑤，不其然乎。悅可禪師，其才也定，紀綱後佛，其機也況陶鑄仙陀，不是華姪提唱乎。

副寺禪師，副寺禪師，護法財護世財，幹父盡幹母盡，不亦宜乎。

典座禪師，直歲禪師，蒸雲母作飯，典座妙手乎，束虛空爲棒，直歲活機也。

又惟西班牙堂中座元禪師，佛祖權衡，人天眼目，匡徒領衆，寧曰講經首座乎，降尊就卑，譬諸退位菩薩耳，蓋不忘瓜葛法系之謂乎。

後班座元禪師，輔贊吾徒，合小釋迦懸記，翻藏斯道，躡大禪佛高蹤，正好著力。

記室禪師，翰墨膏肓未療，螢雪工夫勉旃。

知藏禪師，知藏禪師，白傳詩入大藏經，老韓同傳，碧巖集庶公子行，涇渭異流，入與不入，公其甄別。

知賓禪師，知浴禪師，大應接客徑塢，朝一人暮一人，太原主浴雪峯，火三昧水三昧，古之今之，至矣盡矣。

侍香禪師，戒香定香，解脫香，了天性司南於鼻孔，塵說刹說，熾然說，謝吾道已東之證明。

侍狀禪師，侍客禪師，侍藥禪師，馳書不到家者，侍狀也，報客不知在帝鄉者，侍客也，療病不假驢駝藥者，侍藥也，桃紅李白，薔薇紫，一以貫之，珠簾玉案，翡翠屏，三重也有。

目子，某座元某座元，前資辨事二員問禪，一會海衆諸位禪師，各坐般若叢，百千文殊左右彌布，再開楞嚴會，四教阿難，內外玲瓏，集大成矣，不亦盛乎，各乞恕宥。

拈提，記得達磨大師曰，吾法於三千年後，未曾移易一絲毫許，後來覃葛廬頌曰，東西縱目乾坤闊，玉露激秋氣，宇高山是山，兮水是水，何曾移易一絲毫，少室單傳自有安期棗，葛廬一

偈不貪王母桃，子細點檢吠虛唯實，一犬千猿，休上座打破野狐見解，翻案葛盧風騷去拂一拂云，少室別傳旨，誰知來處高，將爲碧瞳窄，千里一秋毫。

翌日玉鳳院拈香，大日本國山城州平安城正法山妙心禪寺，凡爲新任持者，開堂翌旦，率台山清衆，就于玉鳳塔下，諷經一上，臣僧宗休，攀其例，謹焚此妙兜樓，以奉供花園太上法皇尊前之次，唱拙偈聊充菲薄，奠云，玉鳳銜花桑海東，太平門戶競春風，三皇五帝果何物，舉香云，一朵香雲擎梵宮。

退院，祖翁一片舊田園，自荷鋤犁稱後昆，啼鳥落花留不住，倒騎佛殿出山門。

再住正法山妙心禪寺語錄

侍者 某編

冬節上堂祝香，薩訶世界南瞻部洲，大日本國山城州平安城西京正法山妙心禪寺，住持傳法沙門宗休，書雲令節，欽焚寶香，端爲祝延，今上皇帝聖躬萬歲萬歲萬歲，陛下恭願，斬新日月，歌王事無鹽之詩，太平山河，奉聖主得賢之頌。

垂語，開兩手，放開線路，一氣潛回，拈拂云，要看雲物麼，試登魯臺，有麼，參，有僧出衆云，冬至日永，欠少一絲毫，閒工夫，妙高雪漫，相見五十三善知識，有時有節，亘古亘今，師云，暖律飛灰，繡紋添線，僧云，記得天澤老師，至日上堂，僧問，群陰消盡，一陽來復，衲僧家到此如何轉身，答云，恰如老鼠入牛角，端的也否，師云，蝦跳不出斗，進云，學人轉身處，和尚如何祇對，師云，倒卻門前刹竿着，進云，天寒人寒，兩人一椀，師云，別別，珊瑚枝枝撐著月，僧云，烏鉢易見，便禮拜，師云，見之不取，千歲難逢。

提綱，欲識佛性義理，當觀時節因緣，作麼生是時節因緣，冬至在月頭，則賣被買牛，木人倒吹葭管，冬至在月尾，則賣牛買被，牧童遙指金鞭，僧堂今朝挂著慈明榜，首座昨夜撥退洞山禪，塞北天寒，十三葉牡丹開雪內，江南地暖，一兩枝梅花綻臘前，正與麼時，拈杖，牀角漆道士出來咄一咄云，適來許多緒餘土苴，徒費言詮，巍巍乎堂堂乎，同得同證本來因果，塵塵爾利

剝爾無縛無解應用無邊不拘時節全絕變遷別欲識佛性義麼卓一下云大樹大皮裏小樹小皮纏

自序宗休、慶頭鼠目、驢頰馬腮、江湖流離、將謂木瓜杲風子、天地棄物、元來蓬髮休上人、慙汗、謝語、上堂之次、共惟養源東堂大和尚、勃宰理窟、天然作家、信手拈麤竹篋、敲出臨濟骨髓、治病以長松草、感得普明夙因、尊候如何、保養珍重。

次共惟、大心東堂大和尚、才智山長、行藏雪潔、丁一株蔭涼樹、既倒之日、扶起正宗、遇五濁優曇鉢、再現之時、來稱補處、百里興雲者龍也、千仞覽輝者鳳兮、瞻之仰之。

更惟、山門兩序、滿堂活禪、問話禪客、諸位禪師、機居東頭、雲居西頭、可謂叢社兄弟、豈屬左角、觸屬右角、足稱亂世英雄、各乞昭亮。

拈提、記得古德冬至上堂云、恁麼也是、不恁麼也是、恁麼也不是、不恁麼也不是、恁麼不恁麼總是總不是、何謂如此、陽氣發生無硬地、古德提要恁麼不恁麼、強判鴻蒙總是總不是、兩處失功、陽氣發生無硬地、窮則變、變則通、山僧見處與他不同、拂一拂、清風拂明月、明月拂清風、便下座。

歲旦上堂祝香、仰聖明、如日如月、祝睿算、同地同天。

垂語、開造化爐、鑄鐵崑崙、見麼、斬新日月、特地乾坤、有僧出衆云、萬歲古佛出世、何管舊歲新歲之送迎、高提祖印、南極老人下天、寧分無極太極之先後、仰祝皇圖、發獅子香暢、雞旦賀、師云、山門增瑞氣、草木發光輝、僧云、記得趙王訪趙州、州不立、以手自拍膝云、會麼、王云、不會。

不審佛法王法、是一般是兩般、師云、一鏡兩當、進云、茲承今上皇下、綸命建立吾正法門、可謂山中雨露新、師云、從這裡入、進云、與麼則上皇於上方、趙王於趙老、古之今之、豈有優劣、師云、二十年來塵撲面、如今始得碧紗籠、進云、山花笑、野鳥語、師云、吾無隱乎爾、進云、百千雪竇圓悟、合爲一人、師云、低聲低聲。

提綱、年年是好年、春色無高下、日日是好日、花枝自短長、如水隨器、不圓不方、在西乾、名新歲經、本子釋氏、在東震、曰先天易、始乎犧皇、洒法需於九野、開壽域於八荒、也太奇也太奇、新羅國裏拄杖作舞、甚希有、甚希有、古郢城邊落梅上堂、諸人還聞麼、是甚瑞祥、卓杖一下、臥龍纔奮迅、丹鳳亦翔翔。

自序、宗休繫匏魯叟不食、朽木宰予難彫、只愧無所取材、何敢可堪補職、汗顏。

謝語、上堂之次、共惟、山門兩序、雲堂四衆、適來禪客、諸位禪師、東有鱗蟲、龍爲之長、西有毛蟲、虎爲之長、南有羽蟲、鳳爲之長、北有甲蟲、龜爲之長、由此觀之、吾佛日祖翁、龜竹篋下、打發四員禪將、鳳也龜也龍也虎也、從斯分一源於四派、允有以哉、抑具正法眼、破沙盆者、松源破庵、曹源、萬庵、豈不起中峯之道乎、猗歟盛哉、各各道體萬福。

拈提、記得大川濟禪師、歲旦上堂曰、正月初一、若說佛法、三百六十日被佛法縛殺、若說世法、三百六十日被世法使殺、大川恁麼告報、誤認元字、打失雙眼睛、何故、會則途中受用、不會則世諦流布、休上座、彈拂子、頭上點出光明去、滿堂露柱、賀元正、不待千年河水清、非佛法兮、非世法、綿蠻黃鳥出花聲。

歲旦上堂祝聖大日本國山城州平安城正法山妙心禪寺云云陛下恭願致君周宣漢武之上舉賢幸夫涓叟之間。

垂語豎拂云這正法樹開微咲花有麼風流屬當家有僧出衆云大王萬福之趙古佛金雞報曉玉鳳銜花侍者三喚之忠國師木馬嘶風泥牛吼月賴臨法席仰祝丕圖師云日月垂秦樹乾坤繞漢宮僧云記得西巖惠禪師歲旦上堂云磨盤呈舊面水碓拜新年無作而作不然而然是甚條章師曰只待雪消去自然春到來進云法山今朝上堂不涉新舊賀正一句可得聞麼師云普進云雲北嶺冷梅南枝香師云侍者參得禪了也進云人人襟袖帶香歸便禮拜提綱朝來花萬福鶯奏起居聲是甚聲拈杖云木居士在側與吾同年同行論晚節於松朋竹友約歲寒於磐弟梅兄其鬚拂履其髮脫纓特地出來胡盧軒渠曰鐘魚鼓板是甚聲蝦蟆蚯蚓是甚聲長老老何不聰明依稀盲者日月彷彿雙者雷霆欲重宣此義諦聽諦聽昨送舊歲今迎新正是故一氣資始品物流形四時不忒春以鳥鳴秦嶺霞秀洛山雪晴擊節唱歌東村王太白作詩換酒南隣張先生門門大吉戶戶太平御園牡丹著紅四海香風從此起官池鷗波蘸碧五湖煙景有誰爭人境不奪公案現成舉揚向上宗乘鳳釋迦打彌勒商量年頭佛法欺明教瞞鏡清拈卻崑崙鼻孔突出金剛眼睛雖然恁麼祝聖一句如何施呈卓一下龍得水時添意氣虎靠山色長威神。

自序宗休塵頭鼠目鳥鶩魚頭宗門一世衰烏摩滅師半德住持千障月胡爲失他五緣慙汗總謝上堂之次共惟山門東西序單寮蒙堂前資辦事一會海衆適來禪客諸位禪師宗門

惡毒爪牙獲得賢劫第四釋獅子錯鎚妙密手段捉敗洋嶼五百活馬驢支分末流譬四派乎江河淮濟誰惜常住配一年乎春夏秋冬每日轉食輪法輪何時拜台帖鈞帖叮嚀損德各乞諒察。

拈提記得僧問雪峯元正一日四相盡朝未審王有何祇待峯曰四相隨年老真王不預春一人拗曲作直一人弄假像真如舉燭用燕說似新鼻運鄧斤山僧亦作偈效響去三皇五帝百花春廚庫山門雨露新不借陰陽造工手天然拄杖黑鱗皴。

歲旦上堂祝香時屬昇平扶桑樹頭鳳舞春入新曲碧梧桐裡鶯啼一願致君堯舜上而施堯舜雨露於四溟二願待我季孟閒而移季孟風俗於萬世。

垂語以拂指左左邊去年梅指右右邊今歲柳指中若問中間底如何顏色馨香依舊參僧出衆云太平有象綠髮將領百蠻王事無鹽緇衣禮復三代法社之盛我道有光師云烏藤依舊黑鱗皴進云春風入門千花生荷師云又勝秋露滴芙蓉僧云記得天澤祖歲旦上堂云年年是好年日日是好日爲甚有新舊意旨作麼生師云遇花成花遇柳成柳進云和尚今日上堂不涉新舊底一句可得聞麼師云聞麼進云上來且置住山鋤斧開花時如何師云見麼進云烏鉢常在師云後生可畏僧便禮拜。

提綱祖師妙訣誰家不春年之元月之元日之元元來無縫罅天得一地得一入得一氣轉洪鈞因之野外綿蕪復舊雨餘鐘鼓響新玉毫光耀紫梅檀拜屈善住天子青山涌出黃金宅驚起釋提桓因塵塵說法利利說法處處全真物物全真烏張三喫酒黑李四濕唇放開則

夜都落地，把住則并汾絕津，拈杖且道：「放開是，把住是，瞎漆桶癡兀兀，醉袈裟笑閻閻，若復未會，看看盡大地一箇木上人，卓一下，只將補袈調羹手，撥轉如來正法輪。」
自序宗休，千年常住，百日主人，半德滅師，蘇長公效庭堅體云爾。至尊列位，韓非子編伯陽傳者乎？汗顏。

謝語：養源和尚，雪髯獅子，金翅烏王，瀉嶠善養其源，山下檀越，蕭然行李，葉波別傳何法，水光林影，勃率伽梨，不翅語三千威儀經，況復劃六十華嚴易道體萬福，孟春猶寒。
大心和尚，大愚不愚，正法無法，風生八極，虎丘虎頭，虎尾一時收，雲連九天，龍泉龍子，龍孫兩處化，智哉後學，甘露僉曰：「本色住山人，其不仰乎？師之所存也。」

山門東西序，都寺悅衆寶公，不改生靈名，華姪誰道桃花姨，玲瓏爾音，舖敲吾道。
前版後版，釋迦不前，彌勒不後，易地皆然，臨濟如夏，雲門如春，維時至矣。

記室知藏，一人透過積翠三關，一人打開少室大藏，掃爛葛藤於胸襟，耀文章於盆盎。
侍香侍狀，侍衣侍藥，這箇印香嚴本寂，鼻孔遼天，那箇跨華林大空，威風遍野，想彼紅粉侍者，得此烏鉢道人，中有一箇叢社風流，藥籠人物，更盡一杯酒，莫認三喚聲，夫是之謂侍藥職。
堂中萬緇郎，適來十禪客，諸位禪師，渥注奇種，馳志騶駟，駱驢驢，雲臺諸將論功，井鬼柳星張翼軫，箇箇立在轉處，人人盡有光明，三年關山月，誰是知音，一日長安花，各自着眼，至祝至祝。

拈提：記得西巖惠禪師，上堂拈拄杖云：「只如鷲峯老漢，於百萬衆前，拈一枝花，直得金色頭

陀，破顏微笑，備且道：「是梨花耶？李花耶？梅花耶？杏花耶？卓一下云：「一時分付與春風，子細點檢首鼠兩端，世尊信手拈來，春到人間無棄物，西巖依模脫出，月移花影上欄干，山僧愛梨梅杏李一般寒，金色頭陀被熱瞞，拄杖花開太平日，春風著力試吹看。」

結夏上堂，祝聖大日本國山城州平安城正法山妙心禪寺云云，陛下恭願與天地合其德，與日月合其明，與四時合其序，與鬼神合其吉凶。

垂語：開圓覺伽藍說安居偈子，諸人還聞麼？葵花無眼，芭蕉無耳，參。

提綱：十五日以前，金烏東轉，十五日以後，玉兔西移，正當十五日，傍有漆道士，眼如蒲萄菜，手攀珊瑚枝，圓陀陀地，得得出來，築著祖師鼻頭，松直棘曲，吐露古佛心膽，綠暗紅稀，拾一溪雲作衣鉢，接千幃月稱住持，或時與奪縱橫，轉聖作凡，脫卻舍那珍御服，或時開遮自在，轉凡作聖，拈起向上惡鉗鎚，濡首徧吉，眨向二鐵圍空裡，磨盤生八角，驚走陝府鐵牛兒，與麼時節，臘冰鵝雪，不假修治，說甚麼護生禁忌，論什麼取證剋期，雖然如此，只要殺中透脫，活處投機，卓一下云：「欲知無限傷春意，盡在停鍼不語時。」

自序宗休，七十古來稀，菱花照雪，兩三竿也足，脩竹掩門，慙汗慙汗。

總謝：上堂之次，恭惟鵠立東西序，蟬連左右侍，滿堂一會龍象衆，泰山不辭寸壤，故能成其大，河海不擇細流，故能就其深，願吾法山高而如峯，無頂深而似海，無底誰不瞻仰乎？各請亮察。

解夏上堂，祝香：大日本國云云，陛下恭願，南明公北明公，掌左輔右弼之職，東王母西王母，

奉天長地久之篇。

垂語 繇關山月作夷則律。擊禪牀云。開慶一二三四五六七。參。僧出衆云。大雲庇九丘。臨濟之龍呈露頭角。清風生八極。慈明之虎活弄爪牙。玆臨自恣令辰。仰祝皇圖萬歲。師云。三雨全清。六合塵進。云。蘋葉風涼。桂花露香。師云。吾無隱乎爾。僧云。記得鹿門燈禪師。僧問。西天解夏。以臘人爲驗。未審鹿門以何爲驗。門云。雨來山色暗。雲出洞中明。恁麼酬對端的也。無。師云。公驗分明。進云。西天鹿門。吾法山優劣如何。師云。問取露柱。進云。燈籠合掌。露柱證明。師云。門外金剛。因甚汗出。進云。溽暑猶甚。伏惟珍重。師云。名下無虛士。

提綱 正人說邪法。邪法成正法。邪人說正法。正法成邪法。何故。法無定相。逢緣卽宗。薰風一聯之詩。賺殺呆木瓜。禪和子。碧岩百則之話。惹著勤慕。直老凍膿。力因希。咄咄。風從虎雲從龍。恁麼時節。同行漆道人。驀路相逢。能殺能活。能擒能縱。口吧吧。地道。秋初夏末。各自西東。萬里無寸草。何處留朕蹤。卓一下。巨靈擗手無多子。分破華山千萬重。

自序 宗休。雖同無着對文殊。稱末法比丘。不異巖頭喚。欽山作後生長老。汗顏。謝語 聖澤和尚。禪源無竭。聖澤有餘。老松臥壑。萬牛不動。五丁愁。少林向秋。衆角雖多。一麟足。至祝至祝。

大心和尙。真正正傳。大心心印。禪之炮炙。禪之本草。換骨願神。或底微笑。或底拈華。直指見性。歎美歎美。

山門兩序。一會海衆。諸位禪師。合百億彌樓山爲一山。高則高矣。較吾山門。則只是蟻垤而已。

合百億香水海爲一海。深則深矣。較吾海衆。則只是蹄涔而已。可貴哉。

拈提 記得虛堂老師解夏上堂云。十五日已前休。十五日已後住。正當十五日。休也休不得。住也住不得。虛堂叟逢人且說三分話。休上座爲佗全拋一片心。臺前不有花含笑。可是東山一夏休。便下座。

冬至上堂祝香。大日本國云云。陛下恭願。起春秋筆。曾出一角之麟於西周。上封禪書。必致比目之魚於東海。

垂語 叉手。一冬二冬。叉手當胸。會麼。聞黎飯後鐘。參。

自序 宗休。少叢林漢。大蘿蔔禪。登獅子座。流野狐涎。慙汗。謝語 養源和尚。甘棠故笏。苦海慈航。願聽法要。莫倦度生。

大心和尙。哦。岐陽雪。不是十三生蘇軾乎。化震旦風。可謂第二位顏回也。瞻之仰之。山門東西班。滿堂三千指。適來禪客。諸位禪師。人人如百千日月。繞釋天。箇箇似萬丈波瀾。歸大海。吁。嗟。偉哉。於戲。盛矣。

結座 拈杖。一劃云。劃前有易。熱則熱。寒則寒。刪後無詩。山是山。水是水。四序循環。一氣資始。茲梅花先漏泄。換卻達磨眼睛。桃李終不言。敲出臨濟骨髓。格外玄談。當陽直指。何用開周曆。賀元正。登魯臺。書雲氣。若約衲僧家。當甚弊皮履。正與麼時。喚作拄杖子。便是。喚不作拄杖子。便是。不是。不是。卓一下。吾道一以貫之。曾子曰。唯。

歲旦上堂祝香。大日本國山城州平安城西京正法山妙心禪寺云云。陛下恭願。虎拜稽首。屠

蘇白散，齡祝萬年，鵠立侍臣，禮樂樂花，德邁三代。

垂語：把一枝笛奏萬年歡，這裏還有知音者麼？陽春白雪和皆難，有僧出問云：太平有象，三臺鶴舞花間，容算無窮，千歲龜游葉上，時其至矣。德惟大哉，賴值夏正，願沐周煥，師云：紅日照扶桑，僧云：記得世尊舉花，迦葉一笑，意在花不在花，師云：兩箇落草漢，進云：百萬買一笑，風流屬當家，師云：誰家不春，祖師有妙訣，進云：昔將正法眼，付迦葉一人，可謂靈山及第，師云：衆角雖多，一麟足矣，進云：今日花園開一枝烏鉢，誰是微笑人，師云：看腳下，進云：與麼則靈山一會儼然未散，師云：謝證明，進云：如來禪且措，如何是祖師禪，師云：親者不問，問者不親，進云：也勝秋露滴芙蕖，師云：雪亦輸梅一段香，進云：宗門遷固，謹謝答話，師云：鶴鳴九臯，其聲聞天，提綱：說妙談玄，太平新賊，拈槌豎拂，亂世英雄，臨濟金剛王，倚天照雪，德山木上座，罵雨打風，掀翻河海，踢倒虎穴，魔宮爾來，說劍者墮，迂莊困績，學射者遊，后羿殼中，無限衲僧，跳不出，猶有梅花路未通，是故熊峯面壁九年，胡僧眼睛，馬師振威一喝，海兄耳聾，桶底脫時，事無礙，機輪轉處，法法圓融，如水投水，似空合空，正與麼時，南北嶺雲起，雨下千門，萬戶，柳綠花紅，祖意明明，歷歷，佳氣鬱鬱，惹惹，泥人舉揚宗旨，石女仰贊聖躬，畢竟以何爲驗，布衣稷契詩書澤，治世巢由耿畝忠。

自序：宗休奔尺寸祿，如蟻附膻，誇一小伎，似虎挾乙，慙汗慙汗。

總謝：上堂之次，共惟山門東西班，丈室左右侍，單寮蒙堂，前資辨事，滿堂一會海衆，適來問話禪客，諸位禪師，東有馬鳴，西有龍猛，南有提婆，北有童壽，號爲四日，能照衆生感情，摧邪見山，然正法炬，顧斯山吾佛日下，亦有四日，曰龍泉，曰東海，曰靈雲，曰聖澤，嶽嶽然照天地，昭昭乎輝古今，嗚呼盛哉。

拈提：記得古德云：佛法年年依舊，胡餅日日新鮮，古德恁麼示衆，無義味話，說口皮邊禪，風流可愛，公案未圓，超佛越祖，談且置，賀正一句如何敷宣，昨夜春風吹入門，初機桃李賀新年，衲僧活計無多子，閒聽松聲被底眠。

歲旦上堂祝香：大日本國山城州平安城西京正法山妙心禪寺云云，陛下恭惟，太伯孫領倭國，日昇若英，小月走都汴河，家種葵藿。

垂語：豎拂云：正月木犀樹，亂世優鉢花，若有仙陀客，秣我馬，膏我車，參有僧出衆，舉坐具云：托出驪龍五色珠，靈光照徹盡閻浮，請師不借春風力，向上鉗鎚下得無，師曰：老將筋力不爲能，進云：四塞狼煙斷，九天鳳瑞新，師曰：時哉時哉，僧云：記得僧問趙州，如何是祖師西來意，州云：庭前柏樹子，是什麼，陳葛藤，師曰：一回拈出一回新，進云：此山近移柏樹於法堂前，不是乃祖惡芽孽，師曰：移入宮牆別是春，進云：趙州道底且置，靈雲桃花著紅也未，師曰：待柏樹子成佛向汝道，進云：猶有梅花路未通，師曰：只待雪消去，僧云：參寥覺範合爲一人，師曰：莫慚吾侍者，提綱：天何言乎，四時行，地何言乎，百物生，鶯南燕北，柳暗花明，玄玄玄，分張林際骨髓，咄咄咄，換卻楊岐眼睛，重則重於九鼎，輕則輕似一毫，輕也太奇，也太差，青山白雲開遮自在，不可量，不可說，清風明月與奪縱橫，雖然恁麼賀正那一句，如何施呈去，東夷降也，西戎伏，野老農夫樂太平。

自序宗休暗桃李俗又來，前度劉郎黃楊木禪，好去閨位王莽。
總謝，上堂之次，共惟山門東西班，丈室左右侍，滿堂一會龍象衆，適來問話禪客，諸位禪師，叢林禮樂一新，鳳啣花，鷄報曉，華藻文章三昧，犀翫月，象驚雷，嗚呼盛哉，各各道體，起居萬福，拈提，記得松源師祖住香山日，歲旦上堂曰：歲去實不去，歲來實不來，山僧都不會，露柱笑哈哈，山僧亦作偈擊節去，春風露柱笑哈哈，咄，箇岳翁豈似梅，木上座呼新長老，山門八字向南開。

除夜小參垂語，臘月扇子，除夜納涼，若有寒毛卓豎底漢，盡此一杯杏薑湯，參，有僧出衆云：春入舊年，德山小參不答話，月印衆水，斷際全機，繼後蹤，幸臨法筵，願聞家教，師云：今日早暮矣，僧云：記得息耕老師歲夜小參，僧問：門前爆竹通消息，何必重新舉話頭，師云：刺腦入膠盆，端的也無，師云：冷灰豆爆，進云：燈籠合掌露柱點頭，師云：諾諾，進云：法山今夜小參，不墮息耕團續，天到梅邊有別春，慶師云：有進云：來年更有新條在，伏惟珍重，師云：勿謂今年不學而有來年，僧禮拜。

提綱，臘雪連天，烹露地牛，消得恁麼，春風逼戶，唱村田樂，熱殺閻梨，閻梨卽雲水，雲水卽閻梨，學北禪家教，董百丈叢規，只是尋常茶飯，粥僧底未爲奇，舌走雷霆，林濟金剛喝，神號鬼哭，氣吞佛祖，松源黑豆法，斗轉星移，冷冰冰地喪盡生涯，去年貧有錫無地，今年貧無地無錫，法山今宵分歲，以何與大衆來，龍肝鳳髓，暫待別時，卓杖一下，莫嫌冷淡無滋味，一飽能消萬劫飢。

自序宗休擊柝抱關，三更五更，自禦黃巾賊，打齋持鉢，一箇半箇，誰愛紫衣僧，依舊可憐生，元來沒巴鼻，慙愧慙愧。

謝語，小參之次，共惟山門兩序東顧，一夜雨滂澎，打倒蒲萄棚，知事普請行者人力，挂底挂，榜底榜，榜榜挂挂到天明，子細看來，吾山都寺禪師，打雪商量，日日論廬陵米價，了花因果，夜夜分石窓燈燦。

悅衆禪師舉宗因喻，論說陳那因明分序正流，剖判華姪提唱。

西顧鳳林堂中座元禪師，張雲門樂於洞庭，丹霄鳳舞，現瑞應花於濁世，緇林響臻。

後版禪師，小釋迦說夢，推木枕於率陀宮中，大禪佛出頭，靠藤杖於集雲峯下。

記室禪師，僧中誦仙，酒杯酌翰林月，林下懶衲，袈裟裏煨芋煙。

知藏禪師，揭示佛日，千年象教回春，振起儒風，四庫目錄稽古。

更惟滿堂三千指，丈室左右侍，問話禪客，諸位禪師，一毛頭獅子，百億毛頭現，百億毛頭獅子，一毛頭現，若罄褒贊，恐滅威光，各乞昭亮。

拈提，記得古德歲夜小參，因僧問：一切生死，以何爲舟航，德云：年盡不燒錢，那僧問：端敲水求火，古德答處，門釘桃符似不會，若有人致如上問於休上座，祇對他道：燒葉爐中無宿火，讀書窓中有殘燈。

元宵上堂祝聖，大日本國山城州平安城正法山妙心禪寺云：燈節令辰，虔蒸寶香云云，今上皇帝，聖躬萬歲萬歲萬歲，陛下恭願，惟天聰明，惟聖時憲，惟臣欽若，惟民風從。

垂語，少室一燈，證龜作鼈，試出頭天外看，珊瑚枝枝撐着月，有麼。

提綱，十五日以前，金烏急玉兔速，十五日以後，泥牛吼木馬嘶，禪厄閏年，宣州杲風子，參得黃楊木，機運閃電，首山念法華，喚作籬竹篋，胡打亂打，全提半提，張三飽喫酒，李四醉如泥，口吧吧地，問東答西，拈杖來也來也，杖兮杖兮，向上宗乘事，未夢見在，遠法師因甚，不過虎齧呵呵呵，天共白雲曉，莫待五更鷄。

自序，宗休，脩吭矮身，載方朔於滑稽傳，巧唇薄舌，嘲子雲於太玄經，慙愧慙愧。

總謝，上堂之次，共惟山門東西班，丈室左右侍，者宿單寮蒙堂，前資辨事，一會海衆，諸位禪師，多寶塔中，二如來，開迹顯本，楞嚴會上，四菩薩，屈尊就卑，不堪感戴，各乞允容。

拈提，記得臨濟栽松次，黃檗問曰：深山裡栽松，許多爲甚麼？濟曰：一爲山門作境致，二爲後人作標榜。黃檗問端，移花兼蝶到，臨濟答處，買石得雲饒，有人若致如上問，只對他道：能爲萬象主，不逐四時凋。

結夏上堂祝香，大日本國山城州平安城西京正法山妙心禪寺云云，陛下恭願飛龍在天，肅宗帝卽位於靈武，客星犯座，嚴先生應詔於炎劉，一絲九鼎，萬春千秋。

垂語，劈破禁網，不守三期，要聞教外旨麼？杜鵑啼在落花枝，有麼？有僧出衆云：兩箇黃鸝啼，垂柳臨濟賓主歷然，一雙胡蝶上葵花，達磨兄弟來也，祖師禪且置之，願聽祝聖一句，師云：王登寶殿，野老謳歌，進云：寒巖四月始知春，師云：律呂調陽，僧云：趙州古佛示僧曰：洗鉢盂去，其僧便悟，此意如何？師云：掬水月在手，弄花香滿衣，進云：學人未悟，請師慈悲，師云：三十棒，進云：

不到荆山，爭得璞歸，師云：侍者參得禪了也。

提綱，十五日已前，翠巖眉毛，一莖兩莖落，十五日已後，黃檗拄杖，七尺八尺餘，護生須是殺，殺盡始安居，是故能仁剋期於九旬，蜂房作獅子窟，濡首度夏於三處，龍光射斗牛墟，龍蛇凡聖，泥玉車書，崑崙核子，隨機吞吐，虛空布衫，信手卷舒，拈杖黑面翁在側，出來軒渠云：西天臘人冰，守株待兔，東土鐵彈子，緣木求魚，不啻瞞頂佛性，況復儻侗真如，雖然恁麼，這裏何以分親疎，卓一下，陶潛懶入東林社，在在青山可結廬。

自序，宗休，這難道人，稱膺長老，有愧北岳移文，恐坐東坡詩案，汗顏泚頰。

謝語，上堂之次，共惟養源東堂大和尚，古道顏色，宗門爪牙，克家的流，分禪源於末派，無邊真照，揭佛日於中天，不任秦瞻斗仰，誰辨涇濁渭清。

次惟，大心東堂大和尚，氣吞諸方，腳踏實地，千萬世之林際，後人有標，七八生之雲門，知識無種，吾莫聞然，自愛珍重。

又惟，山門兩序，滿堂四衆，諸位禪師，兩序鶴立雁行，四衆象旋獅擲，甚希有甚希有，登摩利山，片片皆梅檀，也太奇也太奇，入金剛窟，寸寸是藥草，集而大成，豈曰小補，各乞道照。

拈提，記得，偃溪開禪師，結夏上堂曰：十字街頭，大圓覺海，逐色隨聲，家風落賴，討甚西天樣子，一任東倒西搖，偃溪提唱，絕勝古今，言端語端，尋常未免臭氣，頭正尾正，只是不逢知音，和我窓前月，彈君石上琴，拂一拂，啞齒臨啞部，臨下座。

冬節上堂祝聖，大日本國山城州平安城正法山妙心禪寺云云，陛下恭願，有道四夷守，無

征萬邦安。

垂語。冬日添線作一釣竿，有麼？要知向上事，莫話子陵灘。有僧出衆云：真照無邊，漢女宮中一線日長，太平有象，魯侯臺上五色雲興，振起宗風，祝延釵算。師云：早朝不審，晚後珍重。進云：枯木開花，虛空迸裂。師云：果然。僧云：記得松源祖冬至上堂曰：晷運推移，日南長至，是什麼祥瑞？師云：日日是好日。進云：不涉陰陽底一句，可得聽麼？師以拂擊禪牀，閉麼。進云：和尚道底與松源道底，還有親疎麼？師云：親者不問，問者不親。進云：南山打鼓北山舞。師云：迦葉門前風凜凜。進云：諸佛智慧難解難入，謹謝答話。師云：孤負少年僧。

提綱。元亨利貞，始乎一氣，常樂我淨，本乎一心，一心卽一氣，一氣卽一心，是故暖律輕輕飛灰，則雲物洶湧，凍雨霏霏作雪，則山嶽平沈，小人道消，幹回玄造，君子道長，剝盡群陰，淨裸裸露堂堂，東西得自在，明歷歷白的的，南北分商參，石女空中拍手，木人石上彈琴，如雲韶掩夷，秣只是不逢知音，牀角拄杖子，聞得忍俊不禁，攪長河成酥酪，變大地作黃金，罵慈明臭老婆，傍提橫按，逼臨濟白拈賊，活捉生擒，耐蒙莊座主，說劍誇周宋，雖然如此，一陽未萌底時節，諸人向何處參尋，卓一下，暗穿玉線，密度金鍼。

自序。宗休，全俗全真，坐青油幕下，作謝宜面，至愚至陋，臨明鏡臺前，迷演若頭，憐察。

總謝。上堂之次，共惟山門兩序，雲堂萬祇，問話禪客，諸位禪師，領百萬衆於舍衛，步步獅擲象旋，列七十子於孔門，箇箇龍蟠鳳逸，蓋支大厦者非一木，況感六瑞而散四花，嗚乎盛哉。

拈提。記得古德冬節上堂曰：有物先天地，仰之彌高，無形本寂寥，鑽之彌堅，能成萬象主，瞻

之，在前逐四時不凋，忽焉在後，古德拈語，可入佛，不可入魔，山僧也。一一代他去，有物先天地，紫金光聚照，河沙無形本寂寥，天上人間意氣多，能成萬象主，曾教文殊領徒衆，逐四時不凋，毘耶城裏問維摩。

歲旦示衆云：古道，元正啓祚，萬物咸新，元正啓祚時，諸人如何下一轉語，山僧有一偈，供養大衆去，千似銜書玉鳳翔，元正啓祚祝吾皇，春風吹起關山笛，打鼓梅花叫上堂。

歲旦上堂。珍重同行木上座，今朝隨例打商量，新年佛法無多子，三尺龜毛添箇長。謝啟典座夏齋上堂。吾肥典座叫鍋兒，蒸五臺雲作飯時，大地都盧無底鉢，盛黃梅七百僧來。

駿州大龍山臨濟禪寺語錄

侍者 某編

山門指云超長沙七步透臨濟三關更有那一關在富士雪鐵壁銀山喝一喝。

佛殿 殿裏底何物飛花舞晚風看看天開二十五圓通禮拜。

土地 張大帝鬼神爺四百年護漢家以詩贈汝思無邪思無邪。

祖師 三蘆東渡餘波未收今日捉敗了也袁達李磨賊頭。

據室 維摩室以月爲明山僧室以雪爲明別別打云三尺竹篋子打破毘耶城。

府帖 拈帖云塞外將軍令舊邦其命新補袞調羹手撥轉正法輪。

山門疏 蘇文章波瀾濶吞陸海吸潘江花簇簇錦簇簇異代同名夢窟。

拈衣 黃梅夜半傳盧公一絲九鼎金輪峯下付華姪大法千鈞搭起云無縫鐵崑崙兩肩擔不起。

登座 起於奮迅三昧活獅子作馬騎燈王佛燈王佛還我一座須彌。

祝聖 大日本國駿州路大龍山臨濟禪寺新住持傳法沙門宗休謹焚寶香端爲祝延今上

皇帝聖躬萬歲萬歲萬歲陛下恭願國家安萬國玉燭調四時多君苞桑計百世其本支

檀那 這香爇向寶爐爲源府君奉資倍祿算爇扶桑之弓則東盡齊四履匣青萍之劍則西

連魏三河石女舞成長壽曲木人唱起太平歌。

嗣法 這香爇向寶爐酬虛堂十世前住大德後住妙心特芳老漢法乳之恩。

垂語 聖諦第一義早是落便宜要知諸佛出身處麼薰風自南來參有僧出衆云綿繆束茅

百丈規矩曾拜紫詔布金插草三代禮樂今在緇衣賴值佛法東漸時願示祖宗南頓旨師云

三門依舊向南開進云允哉河出圖洛出書師云劃前有易刪後無詩僧云記得虛堂老祖丁

九九數再住徑山有敕祈雪可謂奇外之奇也師云寒時寒殺閤梨熱時熱殺閤梨進云寒巖

四月始知春師云鷓鴣啼處百花香進云老和尚應九九數賜敕許初住吾山況有雪頰乎僉

曰老虛堂再出世師云家醜莫向外揚進云溪山雖異雲月是同師云別別和風搭在玉欄干

進云金春玉應謹謝答話便禮拜師云此是選佛場心空及第歸。

提綱 乾坤之內宇宙之間中有一寶秘在龍山因府主請而開堂提住山鋪斧拜天子詔而

入寺鳴下潮珠環吾祖昔住徑山此郎今領百蠻東海兒孫八十一黃塵烏帽西湖長老五十

三白髮蒼顏圓覺場中列聖象旋獅擲通明殿上侍臣鵠立鷓班黑漆拄杖子打魔佛寶劍金

剛王斬癡頑拈杖正與麼時不待彌勒下生夜摩瑠璃兜率瑪瑙不印香嚴本寂錢塘鸚鵡吳

岫鷓班明月珠光燦爛流水經響潺湲萬年松抽萬年枝以規以祝炎天梅吐炎天藥難望難

攀潛珍開無盡藏良策定太平寰卓一下云疎簾見雪捲深戶映花園。

自序 宗休欲居九夷魯叟匏瓜不食將歸三徑晉人松菊猶存茲逼英檀命拒辭不允強陞祝

塵作野干鳴慚汗慚汗。

白槌謝。開堂之次，其惟龍泰堂頭大和尚，瑞龍興大智雲，非池中物，睡虎典多羅藏，立教外宗，衆所歸也。誰不仰乎？茲辱降尊就卑，鳴槌證法，無堪激切屏營之至。下座必趨十笏室，展一炊巾。

總謝。又惟四來耆宿，一會名緇，諸位禪師，獅子產後，出無量釋迦於賢劫，雞卵生鳳，接河沙妙德於心源，不啻仰四天下，獨尊況復稱十地上大士，各各道體，起居萬福。

拈提。記得僧問松源曰：「只如大師郡王於一毫端不勞彈指，成就如是清淨寶刹，與昔賢干是同是別？」師云：「動容揚古路，不墮悄然機。」此僧問端，掬水月在手，松源答處，弄花香滿衣，休上座亦代贖翁，聊表微去，乳峯登碧，錦鏡流輝。

尾州青龍山瑞泉禪寺語錄

侍者 某編

山門指云：瑞泉一滴激揚松源，顧視左右云：駕與青龍者來入箇門，喝一喝。

據室。扣玄室中，佛魔交接，打案云：打草驚蛇，移花兼蝶。

拈衣。依稀曹溪直裰，彷彿靈山金襴，別別搭起云：一把柳枝收不得，和風搭在玉欄干。

祝聖。大日本國尾州路丹羽縣青龍山瑞泉禪寺新任持傳法沙門宗休謹焚寶香，端為祝。

延今上皇帝聖躬萬歲萬歲萬萬歲，陛下恭願仁德回春，四三王六五伯，喜氣消雪，右白虎，左青龍，仰彌樓山為壽山，湛香水海作福海。

開山拈香，攀折梅花雪一枝，住山薄福報恩來，無端穿卻崑崙鼻，四海香風從是吹。

退院。自代乃翁稱住山，三年光景髮斑斑，一聲杜宇袈裟角，割取蓬萊左股還。

偈頌

佛涅槃 八首

鳥啼花落涅槃臺，竺土山河冷似灰。割取須彌千百億，瓣香喚醒臥如來。
 西方有美背花歸，生死涅槃皆昨非。無色界中多少淚，洒爲細雨溼春衣。
 是正法耶邪法耶，多羅八萬撒塵沙。番番諸佛出於世，先始梅花終棟花。
 紫金光聚照河沙，不識生耶是滅耶。欲向東風問斯意，和鶯吹折一枝花。
 業風吹起二千年，大地山河佛骨殫。今日一鎚鎚碎了，鳥啼花落又蒼天。
 西有美人無賴，查袈裟一別隔天涯。愁腸斷盡崑崙鐵，猶是春閨夢裏花。
 說玄說妙作麼生，一字全無借筆耕。此老元來太平賊，果然陷卻鐵圍城。
 大小瞿曇叫度生，看來奪食又驅耕。簾前細雨濺花淚，五百由旬一化城。

佛生日 十首

他是西方一美人，銀盤浴出曉粧新。袈裟錯被毒花觸，腸斷毘藍園裡春。
 東海鯉魚薄伽尊，韶陽棒下雨傾盆。塵勞八萬洗何盡，滿架薔薇露一痕。
 竺土山河襴襦中，不祥兒坐梵王宮。滿身泥水狗何喫，一棒還他跛腳翁。
 咄哉了角黑崑崙，坐斷華堂稱獨尊。猶結冤讎二千歲，打花風雨老雲門。

韶陽棒下不能平，藥嶠杓頭弄化生。別潑吾家蠱毒水，全身陷卻鐵圍城。
 未出母胎三十棒，西天東土禍殃生。薔薇誤被微風觸，露碎水晶簾外聲。
 元是如來淨法身，周行七步曳泥塵。藥山杓柄長多少，葉底殘紅雨洗春。
 露柱懷胎也太奇，果然生這不祥兒。除殃未了二千歲，洗出薔薇雨一枝。
 韶老棒頭天下疼，等閑敲出紫金容。若無雪恥薔薇雨，也是闍梨飯後鐘。
 西天老沙門，報冤卻以恩。獻花春在手，酒水月無痕。

佛成道 八首

昨夜面南見北辰，眼中八萬四千塵。瞿曇老也虛堂老，今古誰差無一人。
 棒頭有眼火星飛，遍活瞿曇陷鐵圍。坐到驢年不成道，滿山風雨急歸來。
 六年嶺北雪生涯，錯認星兒老釋迦。成道任他空劫外，工夫猶未到梅花。
 還我瞿曇活眼睛，六年閒坐鈍遲生。依然未出舊窠窟，西有長庚東啓明。
 苦哉天竺古先生，雪北六年功不成。錯墮無量秤子上，三千佛國一毫輕。
 雪嶺閒時九鼎重，明星見後一毫輕。今朝縱是叫成道，猶有梅花老師兄。
 貪看天上一枚星，錯作多羅八萬經。今日欲重宣此義，黃鶯出谷又叮嚀。
 六年雪北不毛地，一卷兵書打妄談。星落營中死諸葛，臥龍奮迅活瞿曇。

智門蓮華話

透得智門公案中，荷花雨過一枝紅。大唐國裏無人會，吹起香風日本東。

圓滿本光國師見桃錄 卷之一

蟄龍

泥蟠豈久屈池中，不待桃花三月風。別有衲僧霹靂手，拈來拄杖靠虛空。

須彌枕头

山形枕头任逍遙，大仰當機推不搖。忽破秋風吹夢破，須彌百億小芭蕉。

仲秋頌破沙盆話

七花八裂太虛空，正法元來在汝躬。踴跳密庵舊窠窟，秋天明月一盆紅。

臨濟半夏上黃檗山 二首

風顛破夏等閒還，驀地踢翻黃檗山。若不爲他行一棒，尋常黑豆老癡頑。

黃檗山頭滅正宗，喝雷棒雨活機鋒。尋常擺尾搖頭去，濟水那邊化大龍。

鐵狗

銅頭鐵額黑崑崙，活喫紫金光聚尊。不入趙州皮袋裏，一聲吠月落花村。

雲門箭之一字

雲覆千峯天未晴，那僧問處大遲生。箭之一字雷霆舌，吹散檐間積雨聲。

佛法如一隻船

駕起慈明一隻舟，垂絲千尺截凡流。萬風喝月浪花底，不釣金鱗誓不休。

鰲山值雪 二首

店上未眠僧一枚，今朝成道六花堆。當時若是巖頭老，和卻鰲山踏倒來。

三人一隊野狐精，何事連聲叫老兄。箇箇看來白拈賊，鰲山成道假銀城。

靈雲見桃花

呵呵大笑豁然時，觸發春風桃一枝。打失孃生本來眼，靈雲亦暗證禪師。

鐵拄杖

一條拄杖靠虛空，鐵樹形成全絕功。若使南泉行正令，普賢妙德落花風。

須彌筆

東海涵松蘇利傾，須彌百億一毫輕。分明紙上燈王佛，跳入西來五字城。

成就四法

妙之一字佛難宣，元是非蓮非普賢。待四法成遲八刻，花開天地未分先。

大江和尚住百丈之日，有拜祖塔偈，依其韻

百丈山高向上禪，真丹國也扶桑邊。縱然野鴨飛過去，只在大江春水前。

追悼

次不二和尚悼西源翁之韻

翁負吾耶吾負翁猶添冤苦哭蒼穹他家親得白雲子天外青山有父風

悼鄧林和尚

久響龍潭多少風平生四海一禪翁雷霆意氣皿盆口吹滅紙燈霜葉紅

悼玉衡座元

玉衡座元吾衡梅祖翁之徒也守大愚祖塔而晨香夕燈無怠焉一日觸造化兒溘然逝矣定享祿四年春二月五莫也吁吾門不幸莫大焉聞訃者靡弗嘆息予亦作偈以助諸徒一哀云

璇璣北轉玉衡南五十年前二十三吾豈酬知無一瓣鼻端先向晚梅參

悼景堂和尚

大心衲子活機鋒三尺龍泉滅正宗舌猶在雷聲雨點長松

悼天龍寺真乘院祝英座元

龍門十日折殘花不見其人感慨加無色界中多少淚作西山雨洒袈裟

悼宗順杜多

三十才名可惜哉胸中書傳變寒灰家山一片好風月春在梅窓歸去來

悼大藏西江軒雪窓首座

大藏五千文字禪西江一滴錯流傳先花吾首座行腳春雪殘吹窓半邊

悼謙仲讓首座

空記同名南嶽碑閻浮五十七年移薰風不解吾徒慍吹折炎天梅一枝

悼宗慶庵主和瑞應和尚韻

瑞應堂上老師追悼家兄宗慶庵主余攀高韻助一哀

不識家兄何日來疎鐘落月決然離老松閱世臥雲壑定有柴公東指枝

次韻悼譽禪尼

龍女寶珠認一漚輝騰今古價何休荷花紅碎新池雨疑是芭蕉不耐秋

悼某禪尼

返魂一炷鐵崑崙欲報元來不是恩大義渡頭千古恨落花流水遶江村

悼天慶祐公禪尼

卒賦一偈寄玉何藏主悼天慶祐公禪尼以償不赴莽年齋筵之罪云

去年今日別風光斷盡梅花鐵作腸小玉聲中人不見枕屏殘夢覺猶香

次韻悼先天居士

橘家跨窻又跳樓昨日慈恩今作讎劍樹刀山芭葉雨不風流處也風流

悼光翁巨公大禪定門 細川六郎殿

遠者吞聲近者悲，回頭冬日影西移。牡丹一閨春如夢，王老庭前召陸時。

次韻悼德勝居士

八十年非今日知，虛空消殞轉身時。欲藏無去無來處，叫月梅花孤雁枝。

悼宗鼎宗斑二禪門

龍吟金鼎虎藏山，脫卻凡鱗露一斑。父子不傳真消息，依然花帶舊紅顏。

天澤和尚十三回忌

恭以吾大法兄，前住龍峯天澤大和尚，大梅梅子，而龍雲鼻祖也。外示朴直，內懷溫雅，癯然不勝衣，頗有古衲子之風焉。潛行密用，誰窺其彷彿，熱喝痛棒，誰觸其機鋒，可謂百世臨濟也。愚昔志于遊方，發一步之初，扣老兄於妙法精舍，三到九登，喫霜辛殆數歲也。夙緣所感，恩難酬矣。老兄一日受師命，而遂董瑞泉之法席，緇素歡呼，遐邇欣伏。祖道光輝，莫盛焉。瘴雨之攸濡，蠻煙之所染，俄爾微恙，溘然化矣。一門不幸，可惜哉。其徒瘞履乎尾之犬山，圖像乎攝之龍雲，爾來烏積兔久，僕指今茲永五戊辰，孟春二十有五，冀者乃十三白辰也。其高弟妙法和尚，設齋筵於先廬，齊供龍象之衆，至矣。愚亦不獲默止，叨唱村偈，以共厥丹悃。蓋將深心奉塵刹而已，伏乞昭亮。

元是吾家老大龜，嗣先師不肖先師，金襴傳外無人會，開卻春風花一枝。

景川和尚三十三回忌依松岳和尚香語韻

塔號大龜多少年，雷遷電繞斗牛躔。胸中五逆藏不得，熱鐵花開阿鼻煙。

景堂和尚七回忌依韻

德爵齒尊度以加，吾禪鸚鵡叫拏茶。岐山雪白象王袴，銀色普賢來獻花。

普門寺某三回忌香語

再現普門南海涯，栴檀沈水佛陀耶。拈來物物非他物，小鐵圍山太白華。

普門寺明巖座元三十三回忌

普門示現老師翁，曆數卅三在汝躬。不待春王正月朔，一爐沈水木犀風。

寶泰寺大器座元七年忌

吾首座曾行腳來，爐香未冷七年移。崑崙鼻孔無功德，聽取炎天梅藥詩。

不孤軒德首座十三年忌

百億須彌小博山，八萬閻浮一沈水。十有三年德不孤，菊餘秋香梅吐蕊。

以心傳公小祥忌

大永六年季春十有一日，適以心傳公小祥忌辰也。聊唱伽陀一篇，以充菲薄之奠。記得去年今日事，鳥啼花落一回新。當陽拈作小香瓣，喚醒春閨夢裡人。

大玄宗濟上座三七日忌 勢州人

臨濟三關打破了，吹毛磨盡急提撕。滿林霜墮秋光冷，一曲伊州殘月西。

汝雲妙慶大姊五七忌

圓通本光國師見桃錄 卷之一

梅湖藏主爲祖妣汝雲妙慶大姊五七忌預設齋手謄寫六喻經唱貫華一章以酬撫育之厚恩恩也聊攀其韻

生死海中無一漚涅槃岸畔絕同流半籬殘菊眞沈水信手拈來專爲秋

薦淵了正源信士卒哭忌

丹州人事一色幕下忠臣遠山氏淵了正源公丁今茲永正丁卯夏五下八之日輕命重義陣前戰死矣所謂重賞之下必有勇夫者乎蓋忠臣出乎孝門者也傍觀難忍況復父母兄弟之情乎哉遂作野偈一章以當百日之奠云

都盧大地法身香薰徹心源透十方一色明邊君自看秋天依舊遠山長

遠山氏某七年忌

七年一枕黑甜餘慕父風兮讀父書烏鉢遠山無限好先廬脩竹影蕭疎

月溪常圓三十三年忌

剎那三十有三秋劍樹刀山解脫樓不信回光返照看一天明月入江流

聖泉居士三十三回忌

透霄漢也徹黃泉這箇一香三十年不掃自家門外雪只看春在早梅邊

先考十七年忌

酬佛恩耶報父恩露之一字老雲門劈開十七年前面屋後青山笑不言

柴屋居士十七年忌

先入東關爲看山主人去十七年間松門柴屋依然在只恨聽名不對顏

某三十三回忌

武闕會從失此郎幾乎三十有三霜無端拈出酬恩去秋後滿山楓葉香

先妣三十三年忌

眞箇娘生舊面皮元來子母不相知一恩三十三年後雪重梅花臘月枝

宗歡宗喜父子五七日忌

君臣父子整三綱殞命戰場忠孝彰劍樹刀山百難碎當陽拈作本來香

宗室禪門十七年忌

熱喝嗔拳五逆兒掀翻阿鼻火坑來報恩是也酬讎是吹雪炎天梅一枝

古月妙圓禪定尼七周忌

一千佛母老摩耶百萬人師老釋迦今日酬恩消底物臘天風雪七梅花

華屋宗榮百年忌

曾從華屋落泉臺荏苒光陰一百回我有江南寶薰在秋風吹入月中梅

爲駿陽僧薦其慈母追室妙清禪定尼

報恩一瓣鷓鴣斑深似海深高似山山是士峯天下白相逢不識對慈顏

旭芳宗泉禪定門三十三回忌

蝸牛角上一英雄留取功名麟閣中碧眼黃頭休說夢天堂地獄大槐宮

玉叟玄繼居士一周忌

忠臣元出孝門中，近代麒麟第一功。五月牡丹花若夢，午簾雨過起微風。

宗琳居士七年忌

今日相逢一笑新，分明記得七年春。簷頭滴滴薔薇雨，洗出阿爺淨法身。

春陽宗照信女十三回忌

春陽秋露十三回，杜宇聲中喚不來。別有聖胎長養處，一枝結子綠苔梅。

瑞雲開基玉峯大師十三年忌

秋風葉落十三年，老淚濕衣何風緣。劈破崑崙作香片，瑞雲吹起玉峰前。

明叟宗鑑禪定門七周忌

天文八祀八月二十九日，乃明叟宗鑑禪定門七周忌之辰也。孝子預於仲春二十九翼，供佛齋僧之次，命慈藹衆，頓寫一乘妙典，仍倩小比丘宗休手焚，這松子膜，以酬罔極之恩云。其偈曰。

這香佛祖不傳傳，秘在懷中已七年。今日看來松子膜，衝開碧落徹黃泉。

春溪智雲大姉七周忌

今茲文丑孟春二十六莫，適宜春軒主翁之萱堂。春溪智雲大姉七回忌也。休也七年之前，夜雨燒香，七年之後，春風燒香。蓋夙緣所感耶。作偈以助孝子之一哀。

七年春夢老婆婆，爲勸一杯紅杏霞。誰也前身戒和尚，香煙散作百東坡。

前夜雨燒香，七年之後，春風燒香。蓋夙緣所感耶。作偈以助孝子之一哀。

七年春夢老婆婆，爲勸一杯紅杏霞。誰也前身戒和尚，香煙散作百東坡。

詩

大雲山龍安寺歲旦 四首

龍安龍寶一龍孫，當處豁開甘露門。不借春風多少力，大雲吹起盡乾坤。舉龍寶國師上堂。

大雲山裏孟春寒，敢不受諸方熱瞞。臘雪吹添新白髮，逢花猶作舊時看。

佛法年頭無卻有，祖師鼻孔舊耶新。乾元一氣從隗始，花亦黃金臺上春。

大王萬福春來也，花滿扶桑六十州。若問眉毛長幾尺，報言西嶺雪千秋。

次德林和尚歲旦韻

新年舊歲事如何，昨日今朝也任他。翁德輝春吾鬢雪，菱花半掩獨高歌。

歲旦

年年何用問新舊，佛法南方絕古今。屋後梅花無盡藏，門前柳色萬黃金。

尾州青龍山瑞泉寺歲旦 二首

托出青龍領下珠，春光爛熳接天衢。滿堂花醉三千指，佛法新年一點無。

鴻鈞一氣轉天關，楊柳舒眉花解顏。萬古瑞泉流不盡，七珍八寶湧如山。

河州東吳庵歲旦 三首

新年佛法有耶無，拄杖慇懃來問吾。解纜春風舟一隻，載千秋雪到東吳。

新年拄杖舊同參，今日相逢無俗談。建法幢，分立宗旨，一莖春草活伽藍。幹回地軸轉，天輪造化功成一氣新。侍者報言花萬福，太平春屬太平人。

和儒士某少年試毫

結髮從師伊洛涯，縹囊細帙色交加。天工欲試春風手，先開六經三史花。

和童子試毫韻 五首

硯池波暖浴梅辰，月是毛錐字字新。無復長繩繫日，讀書終日惜餘春。梅花標格雪精神，一歲新時詩亦新。持贈渠儂寸陰璧，從今可惜少年春。春風呼筆賀新正，竹報平安花太平。誰把蒙求中一句，教誰鶯得學詩聲。廿四番風從此吹，鯉庭桃李競開時。小童若是鄒人子，學禮如何不學詩。內苑花開胡蝶風，新詩入樣墨痕濃。讀書莫道來年在，春再不回顏不紅。

和希周髻年試毫

仁氣一陶花木濃，春城無處不恩風。奇才何事朱崖外，合在玉堂雲霧中。

題高野山

高野山高絕點塵，松杉夾路古碑泯。花熏雲霧煙霞底，自是龍華三會春。

題藤代

山水尤奇天下多，花香月影看如何。瀟湘八景又添二，吹上沙和歌浦波。

題鴉山

北苑風煙君可頌，吳僧羨若說鴉山。鴉山雖好誰商略，待我前丁後蔡間。

題富士山

何年鼇背負山來，百億須彌絕點埃。四十由旬士峯雪，眼高看不到天台。

依人題士峯韻

坡仙聞昔到斯間，獨愛全身雲水閒。白盡乾坤士峯雪，眼高宋地似無山。

松風石

出盡扶餘萬里程，松陰六月以風鳴。老來無力推殘暑，嗽石枕流聽此聲。

繼鹿尾見花 尾州

移鹿野春斯地看，千年象教一枝殘。幽人指點花耶雪，片片和風上玉欄。

茅野看花

雲擁山櫻千萬里，多年天外望金峯。出花還又入花去，春夜朦朧古寺鐘。

贈小僧

古寺歸來閒記會，十年前事谷成陵。山禽不語無人問，一榻秋風白髮僧。

寄播陽太守赤松兵部大夫

風流太守久聞名，水遠山長情更情。拍手呵呵相見了，老僧門外送松聲。

次韻洞下僧

不遠鯨波萬里長，袈裟角裏草鞋香。青鷹入室果何徵，記否浮山殘夢牀。

次韻寄夢庵老人

湘山如黛洞庭巖，月色朦朧雨氣濛。中有畫師難寫處，詩僧閒倚石屏孤。

宗藝鳴食落髮，丹州人俗姓井上。

丹山產此鳳凰兒，六藝文章好羽儀。井上碧梧風不動，栖巢高聳萬年枝。

讀歐陽修秋聲賦 二首

醉翁亭畔響颼聲，在西南定可秋。今夜暗中摸索識，梧桐一葉亦曹劉。
聲在西南迷醉翁，暗知秋意屬梧桐。宋家四百年天下，吹醒山川黃落風。

題盆石 京南宗珠請

奇石持來天與翁，九華何必在壺中。青螺如涌平沙上，無復江山出日東。

和某來韻

月話秋兮花話春，問天何幸伴吟身。詩歌自有風流種，白髮三千雪滿巾。

和松岳和尚茶話韻

欲原瀉嶠夢，侍者點茶來。茶罷夢醒後，鐘聲被月催。

松岳和尚茶話詩云：茶兼禪味可，能避俗塵來。且欲停車話，楓林暮色催。

送策彥西堂赴大明國

此老禪機截衆流，南遊何日大刀頭。海門風定鯨波穩，一葉舟中四百州。

送策彥西堂再赴大明

千里鶯啼遠送人，白頭何日又逢春。歸舟早載西湖月，呈我梅花面目真。

餞仁澤老禪歸岐陽

詩家第一碧瞳胡，歸去黃花有若無。九月岐陽定微雪，關山梅樹荷盧都。

餞津首座歸東關

柳標擔來士峯雪，袈裟帶去御園花。冤家何事添冤苦，杜宇一聲天一涯。

送希庵老禪赴越

誤作杜鵑君莫聞，淵明去後晉無文。先花歸雁知何事，飛入越山深處雲。

送梅江藏主歸關西

欲話山雲海月情，春風奉使出京城。君聽三疊陽關曲，鶯向花邊不惜聲。

送三省先生

卜匪龜兮筮匪著，斯心四聖未曾知。機前劃破與君看，六月梅花太極枝。

送明山藏主東歸

再會無期奈老顏，東遊萬里白河關。殘紅新綠滿山雨，杜宇等閒呼得還。

送哲上人歸肥陽古寺

渠儂何事憶高城，話盡三年海月情。西出陽關能記取，落花啼送杜鵑聲。

餞天得首座歸岐陽

海東得得來和尚，傳祖師心宗大興。萬里鄉關猶未忘，逐雲飛去老烏藤。

送僧歸九州

甘棠茂含慕先宗，秋入客衣歸意濃。再會無期吾老矣，海西月落五更鐘。

送功岳座元歸駿陽

松連三保挂衣藤，天女獻花龍點燈。來亦無心歸亦好，孤雲倦鳥一閑僧。

重陽前日送十洲歸鄉

茅鞋櫻笠草袈裟，曉出長安殘月家。可怪斯行先節去，淵明終不負黃花。

送真安藏主歸蘄陽

誤認他鄉作故鄉，巾瓶相侍五年強。拂衣好去家山路，秋海棠西欲夕陽。

送宗擴藏局歸舊梓省母

那處春山不故鄉，孃生面目露堂堂。歸來呈示老僧看，秋在信州紅海棠。

楓林殘照 遊高雄山賦 二首

楓橋何事等閒過，山到晚秋勝槩多。欲把一麾回落日，烏藤亦是魯陽戈。

秋在花耶春在楓，夕陽斜挂滿林紅。紅圍綠擁塞山路，吟入牧之詩句中。

待杜鵑

彷彿去年聽杜鵑，暮雲深擁蜀山邊。一聲定可曉天雨，窓掩長松獨不眠。

藤繞庵

卜地江南南更南，藤蘿深處鬢鬢鬢。垂花挂蔓三千尺，縛住春風作一庵。

待花

最怪東君馬不前，為詩誰著祖生鞭。三千一念待花意，白髮閑僧倚柱眠。

葉底殘紅

細雨泥香新綠深，過牆黃蝶繞枝尋。滿城春色永嘉末，一片殘紅正始音。

春池梅影

池亭只為愛橫斜，曾自難波移此花。道者家風若相似，晴瀾吹月上袈裟。

蟄鶯

嫩鶯蟄戶未曾開，幽谷寒深似待雷。溫顧若通冰雪底，春風先起臥龍梅。

五月菊

在夏黃花勝在秋，山房五月小芭秋。一枝臥雨羲皇上，不待元嘉以後秋。

秋後觀山

斜風黃落雨斑斑，一鳥不啼秋後閒。司馬灰寒數峯色，元嘉時節獨觀山。

紅雨

朝埋遊履跡凝雪，暮洒疎簾影訝花。可是巫山神女夢，為紅為雨到君家。

涼螢度竹 三首

秦皇竹帛積成堆，螢火煙消冷似灰。小碧窓前無月夜，乘涼空照寂寥來。

腐草化螢涼意微，雨時添影月時希。分光不照書窓夜，脩竹叢西緩緩飛。

新竹綠濃花不如，微涼吹暑入郊墟。夜來螢亦般人鑑，莫照昔時非聖書。

寒雁

旅雁聲寒蘆葦涯，江風微曉不堪吹。霜辛雪苦翅翎短，歸意待花花較遲。

竹窓聽雪

喚醒十年塵夢迷，半窓雪竹響高低。斯聲不到畫堂上，何事荆公獨噬臍。

松寺聽鶻 三首

耶溪古寺月斜明，留箇長松杜宇鳴。何事問君歸意切，一聲卻彷彿千聲。

耶溪新綠勝花不，日暮杜鶻啼出幽。雲隔東關未歸客，松聲雖好卻添愁。

箇長松樹換新銘，無復詩人著意聽。啼落若耶溪上月，從今挂榜杜鶻亭。

寒雲欲雪

凍雲欲雪擁層巒，半捲疎簾倚玉欄。不向陽臺爲暮雨，梅花被底夢應寒。

東川無杜鶻

南人雪與北人梅，此地如尋杜宇來。未免疑團無亦好，旅簷殘雨客腸摧。

水邊梅花

梅在江南野水涯，驚人春色兩三枝。橫斜影落黃昏後，添月鷗邊也一奇。

寺近聞鐘

殷殷疎鐘聞不迷，海山近接古招提。春來更有出花色，一朵紅雲斜日西。

中華書言日本凝露臺戲題

日出處東移漢家，瑤臺凝露洛陽涯。合蘇四海蒼生渴，養得芙蓉八月花。

旅宿曉題咏

異鄉爲客別先生，月落江村欲五更。白集歸舟士峯雪，袈裟不裏杜鶻聲。

花錦和歌之題

剪取遊絲百尺長，春風織出錦衣裳。花前莫怪無家客，欲帶一枝還故鄉。

花前見月和歌之題

清水巖前愛白櫻，有花有月二難并。茲遊奇絕慰衰老，闌色爭光不夜城。

梅關和歌之題

鎖斷東風不漏香，春遊佳客惱詩腸。鷄聲啼破函關月，誰識花中有孟嘗。

扇面八景 二首各四景

雁落平沙月上時，洞庭七十二峯奇。湘南湘北雨耶雪，水遠山長歸去來。

雪

帆腹含風歸艇輕，市人爭利不爭名。半江日落漁村外，寺隔數峯鐘一聲。

鐘

題山水圖 二首

人倚柴門期月不，斜陽欲落釣魚舟。西湖十景瀟湘八，紅樹蘆花一色秋。

歸帆晴嵐夕照晚

青箬綠箋張志和，斜風細雨十年過，山中雖好可無月，莫較江湖詩景多。

題竹間兩雀圖

竹間兩雀呂耶劉，爲借商山羽翮不，四海英雄鴻鵠志，大謀豈在稻梁秋。

扇面圖 三首

先天有物謂之梅，憑仗畫師資始開，橋上杜鵑枝上雀，一編心易百花魁。
花到趙昌雖逼真，華光墨亦不精神，珍禽枝上向吾語，今古知梅只一人。
海外遠移安石榴，開花結實夏還秋，辛酸甘苦備嘗得，眼在神農一舌頭。

題墨芙蓉

芙蓉寂寞水之濱，淡掃蛾眉冷太真，在地連枝總虛語，秋風紅脆馬嵬塵。

題東坡畫竹

一竿也足此風枝，翠袖佳人瀟洒姿，坡老胸中三斗墨，作湘江雨不禁吹。

題畫梅

顏色馨香誰寫真，世無相馬九方甄，詩僧若問花來處，太極光陰不記春。

雞冠花圖

頸帶絳羅頭戴冠，木雞鬪倚玉欄干，花中縱有孟嘗客，透白雲關千古難。

海棠雙禽圖

闌妍唐室幾千紅，寵在海棠春睡中，李杜相雙如二鳥，爲君飛弊落花風。

黃蓮青雀圖

漢苑春風王母遲，卻疑青雀偶歸來，蟠桃未實三千歲，暫倚黃花借一枝。

扇面 不畫

好箇畫師到此休，不塗紅粉自風流，分明紙上西來意，雪裏芭蕉笑點頭。

圓滿本光國師見桃錄卷之一 終

圓滿本光國師見桃錄卷之二

遠孫比丘衆等重編

像 贊

出山釋迦像贊 二首

西竺老沙門，報冤卻以恩，獻花春在手，洒水月無痕。
香南雪北，失卻路頭，相隨來也，箇老比丘。

文殊贊

把獅子窟，作活伽藍，問多少衆，前三後三。

達磨贊

流蓬直指，落葉單傳，大唐國裏，將謂無禪，徒費柴米，面壁九年，嘆吾祖來也，月在青天。
問訊梅耶，又杏耶，九年面壁，是拈華，一時趕出，合行棒，魏主梁王，非作家。

兀坐九年春，拈華閒達磨，昔日對梁王，驀面何不睡。

六宗叫受降，蹈倒葛藤椿，到處無人寫，空過龍慶江，足跨三國，眼貫五天，東走西走，衣破履穿。

面壁九年，墮圈纒裏，若道會禪，西天萬里。

同 半身

眼看東震，意在西乾，失卻了也，鼻孔半邊。

百丈贊

將謂奇特坐，大雄峯，小叢林，漢匡徒立衆。

臨濟贊

勢似沛公先入關，吹毛盍斬老癡頑，莫言佛法無多子，黃檗山頭喫棒還。

四睡贊

四睡一覺，人虎已分，無底籃兒，盛峨帽雪，焦尾苜帚，掃五臺雲，豐干饒舌，非我同群，嘆寥寥天
地知音少，唯有松風，不耐聞。

布袋贊

二童笑裏似藏春，梅里分身總未真，向布袋頭空打失，長汀風月自家珍。

神農贊

救民醫國世難逢，著鹿皮衣顯聖容，大地都虛禪本草，舌頭具眼只神農。

鍾馗贊

終南進士，闕北忠臣，雖不攀桂，可以薦蘋，三尺寶劍，四海風塵，輔李唐主，爲楊太真，驅逐癘鬼，
折伏邪神，于今于古，護法護人，移花兼蝶，誰家不春。

贊福祿壽 雪舟圖

曾降塵土，南極老人，向北斗裏，藏長法身，福海無底，壽山嶙峋，眉毛生也，珍重萬春，德雲比丘大休叟。

靈照女

不塗紅粉，面如花，有漏箴，雖無賴查，龐老賺過兒女子，止啼黃葉滿貧家。

贊白居易

江南在野梅，空劫以前開，不掃卽心雪，自然春到來。

北野天神 二首

萬里飄然成逐臣，比來天地一詩人，三千風月不吟盡，松老梅飛北野春。 駿州長谷川越前

守藤原輝貞請

寬延聖代降菅原，現宰官身一普門，吟取三千好風月，梅花枝上定乾坤。

渡唐天神像 八首

詩語通禪歌感神，冠巾和尚假耶真，梅香直透龍淵室，花向扶桑漏泄春。
北野君元北闕臣，徑雲深處現全身，三千風月一衣鉢，分付梅花總不真。
棄擲寬延王佐才，鯨波萬里不舟來，徑山文武大爐鑪，煉得身形早到梅。
徑雲吼破一聲雷，禪熟來耶詩熟來，北野春寒舊廬雪，終身合作臥龍梅。
龍淵窟裏得龍鱗，北野君家別置春，萬古乾坤開闢後，梅花世界一詩人。

扣龍淵室叫東來，吹起爐中文武灰，攀折徑山三月桂，拈成北野一枝梅。
青衫白髮老袈裟，非夢真參見作家，攀折徑山三月桂，等閒拈作小梅花。
四萬三千首錦囊，徑雲敲月一禪牀，是非合付梅花夢，惹得虛名滿大唐。

贊今宮大明神

扶桑六十六州中，神德昭昭仰此宮，護法護人威猛力，滿山松竹亦仁風。

鄧林法兄像贊

南浦未派西源的傳，叢規井井瓜瓞綿綿，店上阻雪則與吾有素，簾前賜紫則對御談玄，兔角跳起日月龜毛吞卻坤乾，住新寶林只欠虛堂八十掌，老黃檗不屑臨濟百千，誰知正法眼藏滅向這瞎驢邊，滅不滅，再把鸞膠續斷絃。

寶林諸徒，繪鄧林翁遺像，就予需贊，事非可拒，聊贅野語，充寶林常住供養。 大永三年

林鐘吉辰，劣弟宗休燒香拜贊

三綱見禪師壽像 洞家僧

大陽皮履裹袈裟，再使異苗抽毒牙，寶鏡臺前本來面，依稀相似趙昌花。

前住光通仙裔鶴禪師肖像

眼中丁謂紙上張，公毒氣未除，師蜀川烏頭子，文字不立，祖熊峰絳衣翁，鳴板敲牀，輝光法道，拈鎚豎拂，振起宗風，奪養老全機，則古帆挂後，黃河向北，割犧皇良卦，則雜華資始，紅日昇東，咄，要看真面目，麼，猶有梅花路未通。

竹溪筠長老圖先師像就予需贊信口亂道。天文龍集癸卯林鐘日。

前住普門泰雲安禪師像贊

斯老慈顏醉似霞，蘭溪剩馥茁其芽。無端入得三摩地，宴坐春風小白花。天文癸卯秋八月，靈雲庵祔宗休贊。

密傳座元贊

他是有鄰貽厥，自稱玉峯密傳，坐斷曲柔木上。問甲子答米年，記靈蹤盤龍窟，滅正宗瞎驢邊。真箇滅耶不滅，夕陽長在我西。

小師等繪持德密傳繼禪師之壽像，以需贊信口亂道云。

前住長法春谷杲公藏主寫照贊

天源分流，太虛接響，洋嶼禪如蚌蛤，異代同名。虎丘機似菸菟，大藏在掌，萬嶽千峯，折拄杖頭。十洲三島，曲柔木上，佛法不會，嶺南虛能，徒拾墮樵，俗氣未除，巖中幼輿，空留遺像。哦，歲暮天寒，松柏綠長。大永元年臘月日。

攝州西江開基雪窻最公首座像贊

龍護寶所，激揚大藏，波瀾孤首古丘，分張少林皮髓，彷彿三皇不同，依稀半月相似。首座行道也，威音劫初，首座說法也，率陀宮裏，英氣凜凜如生，玉音琅琅在耳，寶積之松作何色，不奪境不奪人，雪窻之蘭抽其芽，有是父，有是子，眇視雙徑雲，吸盡西江水，還會麼，這箇，啞，衆角雖多，一麟足矣。

西江開基雪窻最公首座，有二神足，曰怡溪，曰溫叔，命工繪師之像，寄予以需贊。大永

甲申臘月吉辰。

季友契公首座壽像

鐘谷遺響，百里震驚，龍津龍子，頭角崢嶸，五逆兒孫，電卷雷走，一喝賓主，雲起風生，哦，黑漫漫地，慧日永明。

大藏中興開基華屋宗榮首座大師像贊

大藏金翅，直取猙龍，搏九萬里風，則接禪源派，動三千刹海，則探洋嶼宗，不費腳力，坐通玄峯，淨裸裸赤條條，寸絲不挂，脫尼總持皮肉，明皎皎白的一法所印，躡大愛道遺蹤，鐵壁通線路，須彌跳鉞鋒，要真相廕，花影月重重。

聖壽開基天慶祐大師壽像贊

混沌畫眉，春山青兮春水綠，燈籠合掌，江月照兮松風吹，相逢不識，借問是誰，取人頭，取人腰，子湖之犬，噉劉鐵磨，得吾皮，得吾肉，少林之狐，誑尼總持，生涯只有三事，祔聖壽以固萬年基，收。

天慶大師，頃令工繪壽像，需贊語於老拙，拙辭曰：汝德大而吾才短矣，何不投江湖名宿，街其名，遺其德乎哉，尼曰：不無大手筆，蓋直指之才，單傳之器，難哉，請叙一二，以垂無窮足矣，一言銘肝，不及再辭，執觚贊其上云。永正十四仲春上浣日。

明憲宗珠庵主像

四海九州唯一翁，傳茶經外得新功。前丁後蔡春宵夢，吹醒桃花扇底風。

前左金吾額田耕雲笑夫居士像贊

紙上張公子，袖中邵堯夫。輔弼于漢室，優游于洛都。蚤侍右京兆，晚除左金吾。衰衰源流，恭惟同出自。草草居士，更有赤鬚胡。握住林際之寶劍，劈破天澤之衣。孟笑難道者，罵賈浮屠。綠蕪霜寒，或時獵兔臂。一棚鶻，烏帽塵暗，或時追犬鞭。十影駒，送夕陽。迎素月，開瓊筵。坐花衢，次孟津。而密謀，八百人不期會。臨淀河而戰死，三千卒為前驅。惜哉名父子，遺恨失吞吳。顏色猶依舊，莫作墨梅圖。永正十三霜季秋上澣日。

前賀州太守仁翁舜法禪定門畫像贊

繪月者不繪光，精神可掬。種樹者如種德，靈壽深根。卜菟裘於江左，賞牡丹於洛園。喜讀兵書，諸龍韜虎略。術勤知王庫，禦狗偷鼠竊。冤文武道未墜，典刑今尚存。竹椅蒲團坐禪，曾師燦可之迹。蓮漏香火念佛，晚候遠持之門。積善家餘慶在，有厥子有厥孫。

右立入氏前賀州太守仁翁舜法禪定門之肖像，孝子就老拙求贊，不及拒辭，信口亂道。

永正庚辰小春日。

德雲院前刑部通叟宗普大居士肖像贊

一王一姓，六十六州。高躡矢田前蹤，新賜劍履。故稱義家後裔，丕續箕裘。誠哉千兵易得，眷夫一人拔尤。桃李園中宴群臣，而醉月。梧桐名上處刑官，以司秋。退靈鷲席，罵釋。登呼鷹臺，依劉玉笛江樓。如今枕上無閒夢，錦繡閨里少日才華接貴遊。其和也。雷靄然如春之行，大地其量。

也。浩浩乎似海之納細流，活處投機。將謂丹霞居士，別戶相見。元來德雲比丘，還參得麼。收。

右德雲院殿前刑部通叟宗普大居士者，乃遠州太守勝益第三骨，而叔父一雲叟之猶子也。壯歲遊藝，據仁，可謂亂代英雄也。春秋三十八上，不幸而逝矣。不克無山崩梁壞之歎，仍孝子國慶，命工圖像，需贊，贊以祝遠大云。大永第四三月二十有六日。前正法

山大休叟書于龍安室。

牡丹花夢庵居士像

洛社耆英，恭惟本姓出久我也。天曆貴種，矧亦中院為先君乎。五濁現，烏曇鉢，三昧笑，賈浮圖。或時採藥草，窺仙窟。或時拜芝詔，朝帝都。諷古今一千首，而擬周詩。律合雅頌，講源氏六十卷。而配台教，味同醍醐。託餘情於花鳥，催歸興於蓴鱸。和歌連歌，感神感鬼。內典外典，學佛學儒。手裏團扇，千億放翁。飄飄風襟，月髓頭上長帽。七世坡老，蕭蕭雪鬢。霜鬢行李不俗，隱悟忘吾。偉哉如香孩兒，屬豬出其群。拔其萃，翊然似漆園叟化蝶。在則人亡，則書清也清也。還要真形模，廢夢非庵。庵非夢，牡丹花春一株。咄。

花園主大休叟燒香贊，以梗等清禪者之需。大永龍集戊子孟夏四奠。

一元院殿先天宗普居士像贊

溫公宋地之大醫王，仁德育民治國。真卿唐朝之一元老，才名輝古騰今。將謂蠶桃俗李，由來甘草人參。父子與家，領攝刺史。既逮累代，君臣重義。奉源京兆，屢借寸陰。衆星韓斗，久早傳霖。繼薛嵩業，而擅蹴鞠場。半梅半泥半雪，學雅經流。而達和歌道，一觴一咏一吟，雖華其詞語，不

芥于胸襟平蕪霜寒呼鷹登臺雁影陣陣長楸日落追犬鳴鏑馬蹄駸駸考政於禹謨舜典試武於齊鏘周鏗傳黃石一卷書以冠直履參碧巖百則話點鐵成金活喫瞿曇如鱸膾炙生吞彌勒似鵝湯燂言言也褒也貶也著著有縱有擒當機倒毘耶居士之牀默處雷走信手拈鹽官國師之扇意氣風凜乾坤內稱獨步宇宙間絕知音堪笑化鵬蒙莊扶搖萬里折垂天翼合成臥龍諸葛遺恨千載失吞吳心流水東去殘月西沈咳將相王侯豈無種枝葉葉皆檀林藥師寺國長公畫先考一元院殿先天宗普居士之像需贊信筆記厥大略云 享祿初元戊子菊月日正法山主大休叟

越州太守藤原朝臣松井雲江守慶居士壽像贊 此像贊在丹波州桑田郡金剛

山龍潭寺

木公榮冬斯郎能持晚節藤氏譬日其祖曾執朝權名喧四海德溢八埏奉右典既源家則指麾幕下諸將任前太守越國則旁求野外遺賢進退以禮忠孝兼全罹世之騷亂而蹤迷淡路遇時之嘉運而生還太田錦繡照閭里旌旗領山川加之慕洋嶼風衣孟三拜入龍潭室紙燈再然百八摩尼轉回佛祖一條白棒打定坤乾杜邈飄然孤僧早謝塵事李源元來信士未盡俗緣葛洪井畔秋老丹陽廓裏雲連咳續箕裘業子孫萬年 昔享祿三祀龍集庚寅夏五吉辰前妙心現居龍潭大休叟贊

平氏松田古巖宗松居士像贊

葛原之王子王孫引枝牽蔓松田之難兄難弟並帶同根傳文武道出忠孝門襄五員於鳴皮

浙潮八月發怒投靈均於魚腹湘水五日招魂腰間劍照霜雪手裏扇握乾坤噫 享祿辛卯臘月日

雲岫昌慶禪定門肖像贊

前河州太守庄所重信公平氏芥河之華族累代之武閥也去歲辛卯五月二十一日觸造化小兒而逝矣春秋四十七齡未及知命烏厚可惜哉公存日洞家僧諱之曰昌慶沒後余字之曰雲岫焉今茲也家嗣繪厥像需贊辭於圖上不克峻拒卒賦村偈一章以塞其請寔享祿五祀壬辰夏五初吉也

葛原奕葉正盛孫曾出玉門列武門積善餘慶猶不盡一張弓挂搏桑噫

石雲庵主太玄宗白居士壽像贊

後生有揚子雲嘲玄尙白本姓爲藤原氏惡紫奪朱烹雪敲冰茶煙半榻酌花醉月松醪一壺追慕蓮社十八賢大念佛小念佛坐破蒲團六七箇死工夫活工夫其右也拈日本扇其左也轉水晶珠俗而無髮僧而有髮非僧非俗是甚形模吾道一以貫之參乎參乎

嗣子石黑詮尙繪老父壽像需贊感厥孝志不克拒書以爲行實

越州太守源朝臣額田西河宗昭居士像贊

額田某圖其父宗昭壽像需贊詞于予曰某之祖父世家越之中暨國之騷屑入洛無幾做屋鳩嶺之麓而居有年矣罹丙丁之灾家譜燒失矣再入洛侍右京兆勝元公及公命藥師寺元長領攝州刺史令父宗昭輔佐之自爾以來被堅執銳百戰百勝其功亦大焉

予亦與宗昭有方外交，聊攜小偈，塞其請云。

合在麒麟殿閣中，佐賢太守立忠功，化身千百億春色，何事梅花畫放翁。

土岐樽月道珊居士壽像贊

文王是仁義釋迦，岐下栖鳳，儒童彼菩薩孔子，周末獲麟，將謂第一聖諦，直得百億化身，豎洞山五位旗，則氣劇魔壘，拋般陀八正替，則胸掃俗塵，藝兼文武，道合君臣，繡戶映花，或時講魯論，名光鄉黨，珠簾捲雪，或時詠和歌，德感鬼神，唐書載東夷之國，建茶試北焙之春，被夷吾於方袍，將錯就錯，畫放翁團扇，逼真不真，水尾濫觴，源流袞袞，竭堦上進履，家聲日日維新，譬之留侯，菊祝以蒙莊椿，映補袞調羹手，撥轉正法輪。

右常陽信太莊江戶崎城主，姓源，世稱土岐治賴，字樽月，諱道珊庵主，自繪壽像，遠寄需贊於予，予老矣，固辭不允，仍攜俚語，以為公之實錄。

三友院殿前右京兆松岳桓公大居士贊

川黨領袖，源家棟梁，具文武才，藍冰于多田滿仲，傳騎射妙，權輿于八幡太郎，東西馳馬，鳴鏑左右，追犬逼墻，宰相古得，再溫公雲山改觀，京兆今合，十韓愈星斗增光，或時會者英於洛社，或時起義兵於晉陽，移本朝風，則詠歌學難波之什，餘上已景，則賦詩飛曲水之觴，名喧四海，威振十方，照憲螢囊，研精覃思，窺藝術圃，翔空鳧鷖，蹴鞠練腿，擅遊戲場，以松以竹，以梅，勝之三友院，有蘭有蓮，有菊，擬之四愛堂，加之在聖同聖，在凡同凡，腳下一條紅線，逢佛殺佛，逢祖殺祖，掌內三尺金剛，燕寢水枕，森戟龍安，夜話連牀，人品高哉，光風霽月，意氣凜乎，烈日秋霜。

噴繪花者不繪其香。

天文龍集癸卯林鐘八贊 前妙心大休叟宗休書。

西月慶照信女壽像

紫羅帳裏繫衣珠，百陋恰如逢一姝，濃抹淡粧無限意，丹青只合畫西湖。

坂井備前守香林宗遠像

此郎勳閥敢誰論，從古忠臣出孝門，只有安劉一周勃，秋霜三尺定乾坤。

是雲宗拂像

高屋氏諱宗拂，字是雲，世為積德之門也，形雖處俗，頗塵表物也，天文庚子夏五朔一日，觸造化小兒，溘然逝矣，孝子不堪追悼，命畫師寫照，滿面霜凜如生也，一日紹介于一僧，求贊於肖像，吁，予之所感者孝也，其志可擲焉，叨題一偈云。

名高屋裏主人公，五十一年春一夢，打鼓看來都不會，雲雷吼裂太虛空。

蘭庭常秀像

山田氏蘭庭常秀道人，予入室參徒也，蓋如天衣下有秀鐵面，不幸而逝矣，嗣子彌太郎，命工圖其像，一日持來，需贊語于余，展之凜乎，餘勇如生，不克無感，仍作偈塞請云。

弓挽強兮箭用長，護吾法社作金湯，曹溪鏡裏本來面，花有清香月有光。

自贊

百億須彌條拄杖，三千刹界小袈裟。將無法付大龜氏，梅里下生春在花。

賦山偶付偷龜年。大永癸未林鐘初吉。正法當住大休叟。

這無明禿，愁顯幡腹，脩吭矮身，拈達磨華，將錯就錯，畫靈山月，逼真非真，昔帶掃自家雪，袈裟帶御園春，瞎漆桶，笑問問誰道，藜苴勤巴子，從來蓬髮休上人，咄。

享祿庚寅林鐘吉辰，爲元從座元花園宗休贊。

畫蛇添足竹篋子，種電尋根本面翁，若是當機行正令，韶陽臨濟落花風。右韶首座請。
我無定相，逐惡隨邪，著金伽梨，入佛界入魔界，用黑豆法，作主家，作賓家，瞎人天眼，暗撒塵沙，自逞威勢，當門一隻艾虎，誰觸毒氣，據室三尺筠蛇，續西源派脈，窮東海津涯，咳，扶起臨濟樹，春風又發花。

天文八稔龍集己亥三月初吉，松源十三世花園大休叟宗休，應玄津首座請，書于靈雲丈室。

三十年胡亂，元來掠虛頭，喚作馬則馬，喚作牛則牛，錯錯，要見靈雲麼，桃花逐水流。

太原座元繪子幻質求贊，信筆贊其上。天文龍集乙巳夏五。住花園大休叟書。

吾扶桑國佛日再噉，捉敗白拈臨濟，罵倒黑豆松源，咳，唯餘一喝，五逆雷奔。

因噉首座請大休叟自贊。天文乙巳夏五念八。此像贊在參州渥美郡長松山太平寺。

龍而頭上無角，蛇而眼裏有筋，朝吸盡西源水，暮吐出南浦雲，聞其名不如見，見其面不如聞，重一髮輕千斤，因拈來天下與人看，拄杖開花春十分。

胸中五逆不能藏，坐我阿鼻熱鐵牀，臨濟兒孫普天下，唯餘一喝要商量。

祖台首座繪子幻質求贊，作偈以塞其請云。天文丙午八月初吉。前妙心大休叟宗休書。

道號頌上

石庵 韶首座

坐斷雲根老衲衣，半巖春雨掩禪扉。銀山鐵壁迸開了，百鳥銜花別處飛。

月航 津首座

江水涵秋玉兔輝，孤帆高挂截流機。廣寒八萬四千戶，一葉舟中細載歸。

東庵 宗叡首座

吠瑠璃界一封疆，坐斷孤峯不下牀。佛日再叡明歷歷，眼頭高挂在扶桑。

天庵 祖台首座

月斧雲斤架法梁，把乾坤作一封疆。大機大用大人境，坐斷普賢三昧牀。

梅意 宗雲

萬里西來開達磨，門前湖水起波瀾。暗香疎影黃昏後，月在天心君自看。

義岳 忠

高標卓爾直超宗，塊視華山千萬重。勢薄層雲何所似，秋天一朵玉芙蓉。

友室 益

知心自古世間無，卜此芳鄰德不孤。入得還他梅與月，鴛鴦未了繡工夫。

蘭谷 金

雖同蕙弟罷參地，不許梅兄入室春。元是曹溪那一滴，流芳千載果何人。

月堂 清

秋風撲鼻桂花香，始到心空及第場。光境俱忘底時節，呵呵拍手下禪牀。

花庵 春

熊蜂鷺嶺一枝同，移入此門分外紅。只爲主人意安樂，太平無日不東風。

春溪

太古乾坤一氣浮，非冬非夏又非秋。綠楊芳草東西岸，牧得瀉山老牯牛。

南芳 金

打破曹溪明鏡臺，梅花面目絕塵埃。重離六畫分開後，四海薰風從此來。

天覺

得一以清得一寧，世尊錯是認明星。了然不動如如體，月在屋頭花在瓶。

太虛

豎蓋乾坤橫十方，法身邊事露堂堂。誰知撒手長空外，塞雁影沈秋水茫。

天先 性

蒼蒼何色蓋坤維，直得純清絕點時。不待羲皇春一劃，梅開太極已前枝。

澤翁 濡

天地由來積德門，主人大坐直當軒。雲夢八九胸中芥，龐老西江何足吞。

桂峯

東土二三聯奕葉，西天四七發芬芳。孤危峭絕難攀處，熊耳叢高秋色長。

陽甫

一氣生時天雷然，別春何必在梅邊。金烏飛上扶桑樹，達磨元來不會禪。

一翁

元來天地是同根，四海之中獨稱尊。行道威音空劫外，強遭王老喚兒孫。

照嶺 真

影杲杲時空寂寂，峭巍巍處坦蕩蕩。三千刹界光明藏，百億須彌日月長。

靈源 性

神龍豈是池中物，脫卻凡鱗登禹門。白浪滔天添意氣，由來水出自崑崙。

榮中 恩

少林毒種遍扶桑，天下一株之蔭涼。子葉孫枝繁茂處，秋風嫋桂久昌昌。

玄虛 聘

三要印開衆妙門，依然天地是同根。欲知佛老深談旨，黑漆昆侖空裏奔。

玉溪 音

蒼龍窟裡夜沈沈，波浪聲收萬壑深。明月清風無價寶，高山流水沒絃琴。

劫外

行道威音王以前，虛空拍手叫同年。欲知少室別傳旨，枯木開花時節緣。

悅巖

破顏尊者叫同參，宴坐空生費講談。禪味忘時真法喜，石屏雨花響巖巖。

見外 參

若見文字語言中，更向那邊立我宗。堪笑善財強尋覓，德雲不在妙高峰。

龜伯 哥

舞袖飄風老飲光，吹篴仲子絕宮商。餞行一句明朝吉，海上蓬萊日月長。

一是

萬法歸空絕點塵，知非四十九年春。當陽直指卽心佛，今日看來日下人。

鐵船 梵盈首座

打就渾鋼勢太頑，浪花捲雪倒銀山。古帆高挂後消息，載得海西風月還。

松屋 宗林監寺

棟梁材大幾經年，厨庫山門境致全。十里風聲聽愈好，三條椽下打安眠。

仰岳 祖泰尼

可望從來不可攀，一峯屹立插雲間。鉞鋒頭上跣跳去，塊視須彌百億山。

春憲 祖椿尼

不借東皇第一功，豁開戶牖百花紅。無端促敗心猿了，喚醒南華化蝶翁。

古巖 秀桂尼

歷盡阿僧祇劫長，嶮崖萬仞絕瞻望。空生莫作舊時看，花落紛紛春雨香。

一宗 秀統尼

東震二三傳派脈，西乾四七叫同流。天龍佛法無多子，振起玄風豎指頭。

龍川 秀濟尼

四海五湖同一如，掣雲騰霧上清虛。禹門激起桃花浪，回首諸方點額魚。

花屋 宗因尼

九衢車馬競芳塵，吾愛吾廬別置春。不借鳳樓修造手，桃紅李白美哉輪。

月溪 妙光尼

勝遊何必在南樓，綠淨春深氣似秋。獨許寒山開口笑，冰輪西落水東流。

江甫 秀清尼

流水濫觴波勢增，海東扶木日初昇。出門一笑無人會，達磨元來宋少陵。

梅窻 理清尼

有物先天名未安，誰穿戶牖被香瞞。蟻皇一劃華嚴易，小碧紗前和月攤。

心溪 宗田尼

佛祖元來傳不傳，琮瑤日夜響潺湲。意中消息耳中得，爲雨泉聲落檻前。

汝舟 祖川尼

運濟支那四百州，桅竿皆索截凡流。般人去後無良弼，空載蘆花明月秋。

春庭 訓

神光立雪二三尺，達磨拈花八九年。別有東君傳信息，黃鳥話盡玉塔前。

湖隱 賀

雲歸南浦水西源，朝市山林皆有煩。高臥安眠何處好，白鷗門外鶴乾坤。

春學 篤

燕子日長花發初，少年叢中惜三餘。欲知西祖西來意，先讀東丘東魯書。

褒英 名讚 一華的子 雪村孫。

春秋筆力勢雄哉，千萬人中稱俊才。將謂少林消息斷，雪村深處一華開。

旭峯 東

金鳥出海一飛輕，先照高山昇若英。拶到德雲相見處，黑昆侖放大光明。

直庵 順

捏聚乾坤豎毒拳，采椽不斲自天然。德山臨濟無門入，雪月風花一老禪。

梅室 春

不是西湖處士家，老禪方丈住天涯。猊牀三萬二千月，一夜工夫只爲花。

菊裔 勻

花持晚節不曾移，晉後風流隱逸姿。麩括三玄三要語，小筓猶在傲霜枝。

古帆 順

鐵船陸地起波來，空劫之前未挂時。把五須彌成一片，東西南北任風吹。

月浦 宗光

遠離海嶼出雲衢，推轉冰輪凜凜乎。影落波心般若體，蚌胎吐出夜明珠。

林叔 梵靖藏主、夢窻國師雲孫

恭以通仙同自出，相逢靈徹記何曾。一衣一鉢西湖月，分付梅花樹下僧。

安芳 榴

寥寥心地自平均，珍重歸家穩坐人。四海香風吹不起，開花結實漢園春。

梅湖 鶴藏主

疎影暗香到家句，隨波逐浪截流機。有僧若問花來處，春在孤山雪後枝。

玉海 善琛藏主

元自圓成磨不磷，珠還合浦物咸新。夜來榜着珊瑚樹，月白風清無價珍。

材庵 承國門下僧、諱曰輪

林無凡木一封疆，這裡可容獅子牀。不借作家宗匠手，百千日月挂雕梁。

春芳

溫然一氣自東來，花發破顏微笑時。諸佛番番出於世，梅蘭蓮菊不同時。

怡庵

花滿門闌喜色加，夜垣何比馬笄家。主人安樂活三昧，拾暮山雲閒煮茶。

喜春

不耐歡欣積善家，韶光九十日相加。一枝佛法無多子，先付破顏微笑花。

芳園 菊

小牡丹花茂以加，東籬秋色屬君家。少年叢裡回頭看，晉後風流猶在花。

柏庵 元梁

指示庭前那一株，九年面壁碧瞳胡。若論趙老雙華甲，太古莊椿在半途。

玉英 宗哲

晚成大器琢天球，千萬人中獨拔尤。色自粹溫何所似，黃花愛看晉風流。

喜雲 宗慶尼

曾經十地真菩薩，終始無心出岫來。持以贈君怡悅否，風吹一朵落天涯。

菊溪 宗芳

金莖一滴壽無疆，離落水邊猶傲霜。四海香風吹不盡，逢花問取幾重陽。

月岑 宗珠

指來不是話來非，鸞嶺曹溪共顯機。今夜出頭天外看，山河大地發光輝。

器伯

似玉名珪磨不磷六瑚八簋得其人祭神如在廟堂上北野梅花南洞蕪

柏翁 宗郝

庭前立雪歲寒姿古佛趙州酬得奇天地同根同甲子蒼髯叟亦萬年枝

春庵 正意首座

瓊屋皆山稱醉翁蒲團紙帳坐春風袈裟撩亂三杯酒與在簷花細雨中

西柏 壽兌

竺土大仙傳以心抽龜毛葉翠森森無端轉作東來意吾祖甘棠一樹陰

檀溪 宗香首座

摩利山中無雜樹枝枝葉葉起香風流傳海外真消息從此曹源一滴通

桃谷 周仁尼首座

洞中春色異人間路自武陵溪上還不爲秦皇洗塵垢飛花逐水日潺湲

覺林 妙等尼

佛之一字汚人口只麼嗽來蘆荀風公案現成猶未了二株嫵桂綠叢叢

鈍翁 宗銳

文武爐中百鍊來看佗鐵漢鑄成時太阿寶劍未爲利龐老機關猶是癡

稻屋 祖收

鐵牛耕破一心田秋水連門八九椽招拾法華遺穗去民村戶戶樂豐年

香室 嚴

五葉聯芳春滿堂證龜作鼈一燈光氍毹花落半巖雨撼動毘耶三萬牀

澄江 清

今千年不待黃河涇渭異流看若何鑿括元暉那一句風翻素練湧清波

蘭庭 秀

十蕙雖多輸一花幽芳繞砌小籬笆風流千古豈無種子葉孫枝滿謝家

玉淵 琳

衣裏寶珠輝大千入波驚起臥龍眠好和龐老西江水吸盡來看明月泉

大用 宗碩

劫外靈機忽現前威風凜凜動坤乾莫言佛法無多子賺過裴休黃檗禪

希道 宗弘

亡羊喊殺有多端首鼠瞿聃無兩端不識人人腳跟下一條活路透長安

松屋 名紹長 遠州人

深根固蒂萬年榮一木支來大厦成只有寒山較些子近聽愈好遠江聲

芳心 宗妙

一字元來佛不宣龍兒八歲稱華鮮月宮豈待三星繞維德維馨當體蓮

古峯 名勝雲

高從塵劫絕躋攀，塊視須彌百億山。不是今時那一色，秋天依舊碧孱顏。

龜溪 慧兆藏主

出空谷也入禪河，正眼流通迦葉波。雞足山中藏六後，一枝佛法不須多。

明室 珍

玉兔金烏不照臨，靈光輝古又騰今。從門入者非他物，僧寶元來滄海琛。

鳳嶺 榮儀首座，軒扁安巢。

岐山有鳥絕同曹，得處安巢嘯羽毛。不是丹楓碧梧上，孤嵐百尺一峯高。

一麟 瑞祥

衆角雖多獨出群，四靈呈瑞氣如雲。漢王殿閣留遺像，魯叟春秋修闕文。

開庵 興健首座

香殿擊竹豎拳機，鐵壁重重無路窺。和卻補陀巖畔月，偃溪流水入門來。

雲如 宗慧

隨風到處雖無帶，觸石生時似有根。臨濟大龍纔奮迅，忽爲法雷洒乾坤。

玉岫 珍

祕在形山無價珍，非金非石絕縹緲。東峯西嶺雲閒處，托出天邊月一輪。

覺林

草木山河淨法身，頭頭物物現全真。心花開發底時節，冷笑華嚴會上春。

瑞嶽

試問龜哥吉兆多，頽波砥柱立禪河。千年鳥跋現何色，其面如花娑竭羅。

希溪 善灌尼

不慕少林尼總持，庶幾當日老閑師。無端截斷衆流去，劈箭猶遲閃電機。

繼芳 性胤

甘蔗拈華春授手，黃梅和月曉傳衣。門門從是香風起，露漉路紅吹不飛。

無參 宗參

善財從此絕遊方，初發心登正覺場。不往西天與東土，玄沙元是謝三郎。

希雲

觸石無根出岫飛，浮空不帶逐風歸。放開線路與他看，輕似道人身上衣。

逸峯

五嶽雖高吾可攀，飛來一朵出雲間。當軒獨坐底時節，塊視須彌百億山。

悅林

破顏微笑老頭陀，拈華宗旨不須多。給孤園裡好春色，留作千年鳥鉢羅。

覺翁

高叫心空吸盡江，角巾毳衲鬢雙雙。大疑團破底時節，拍手呵呵笑老龐。

月巢 初首座，丹州人

圓滿本光國師見桃錄 卷之二

丹山有鳳現僧中，不接碧梧秋識風。占得桂花枝第一，搏霄高入廣寒宮。

南陽 長成律師傳南山律宗，稱泉涌門下碩德云。

傳道宣宗律藏開，把戈佛日再磨回。嶺頭春色屬梅後，四海薰風從此來。

雪庭 宗可

吾這裏無心可安，黑漫漫地白漫漫。神光縱得少林髓，輸卻梅花徹骨寒。

安岳 隆泰

得一清兮得一寧，嵩呼萬歲兩三聲。而今天下秦山上，不動干戈致太平。

密傳 宗嚴

祖師心印付將來，何待南天鐵塔開。會得真言成佛旨，眼頭高不到黃梅。

玉岫 宗琳

磨盡塵勞光自生，人人具足本圓成。形山一寶可無價，莫換秦王十五城。

雲屋 宗澤

鄧林一木得君支，將謂衝樓跨竈兒。為瑞為祥雨天下，須臾蓋覆四坤維。

瑞巖 宗祥

祥雲乍起覆乾坤，輕似天衣拂石根。亂墜空華休試我，銀山鐵壁入無門。

華仲 淨金

趙州甲子未為多，問路臺山勒破婆。鳥奏瓊簾百花裏，木人笑唱太平歌。

以清 維泉

大地元來淨法身，不知何處立纖塵。曇華現瑞底時節，河水千年一度新。

寶岳 法珍

衣珠一顆不磨圓，祕在形山歷幾年。端的出頭雲外看，夜光明月照青天。

大川 宗三

激起曹源那一滴，玄玄處立宗猷。銀河倒瀉須彌筆，白浪滔天學字流。

高節 壽筠

多福一叢凌歲寒，霜前雪後報平安。衝天意氣層雲上，渭子湘孫千萬竿。

虎林 正隆

典藏雲窻霧閣間，風生八極出南山。爪牙備羽猱成矣，臨濟兒孫露一斑。

補拙 勤

垢面蓬頭老懶禪，鳴鳩呼醒一春眠。垂願寒涕無心拭，手熟山中煨芋煙。

悅叟 玄怡

天開壽域八荒安，卻算堦堦幾若干。試聽西風一橫笛，新釀唱起萬年歡。

永年 玄甫

黃竹墟西青雀回，龜臺金母宴瑤池。春風坐了九千歲，海上蟠桃結實遲。

柏心 梵茂

看他華甲趙州翁，錯認西來雙碧瞳。休與龜蛇鬪其齒，三星夜夜繞蟾宮。

聖倫 慧昂

化彼真丹上大人，儒童菩薩是前身。不居仁里得名否，衆角雖多唯一麟。

壽岳 宗仙

龜齡鶴算白頭翁，不屑三呼萬歲嵩。遠看近聽聲愈好，長松脩竹祝無窮。

月桂 宗光

雲斤削玉輾冰輪，美譽芳聲載得新。折取廣寒枝第一，作詩遠寄與佳人。

大宗 昌乘藏主、龍淵派

龍淵深處老龍蹲，日本支那多少孫。一口平吞還吐出，烏頭毒氣溢乾坤。

松庵 宗藤藏主

山門境致人標榜，得棟梁材宗再興。近聽微風聲愈好，三間茅屋半間僧。

橘洲 宗金藏主

千江印月光明藏，古佛傳心一箇無。塔樣機前若相問，南村梅白北村蘆。

續芳 宗繼

誰把鸞膠理斷絃，九年弓自少林傳。寒梅破甲六花陣，看箭威音空劫前。

維馨 宗葩

東君春信到君家，從是群芳次第加。傳得通仙香影句，暗中摸索識梅花。

有節 理忠尼、醫王門下

摠持尼效少林響，分得九年皮髓親。若論宗門功第一，峻標清節上麒麟。

壽峯 宗丘

巍然突出衆山中，比老彭依係不同。鶴算龜齡休鬪齒，常春藤挂萬年松。

傳巖 永霖

義薄層雲大丈夫，聖朝雨露物皆濡。至今天下安磐石，在野遺賢入畫圖。

春芳 名桂、建仁寺沙彌

花發東皇第一機，根從蟾窟遠移來。少年能記狀元日，採取凌霄三月枝。

雪庭 名瑞、建仁寺沙彌

普通年後宋丁卯，巽二先驅膝六多。松柏歲寒猶可忍，梅花太瘦又如何。

鐵牛

鎔二輪圍鑄一頭，胡僧心印有誰酬。當機拗折黃金角，少室山前高叫牟。

松雲 長

固蒂深根億萬年，春空靄靄翠連天。隨風若作夜來雨，留箇一枝啼杜鵑。

月岑 宗圓、淨土宗

昨夜秋風動廣寒，桂花影映數峯殘。雲斤不借郢人手，削出青山玉一團。

清芳 淨土宗

帶水挖泥遠社蓮，昆侖鼻孔半邊穿。歸來莫認寥寥地，風送幽香落日前。

蘭畹 四十字數殿名宗芳

蕙草雖多茂，以加托根林。藪楚人家從來合，在朝廷上香滿春畦。只一花。

壽岳 宗延明石則兼公

莫以尼丘比老彭，金華仙子授長生。嵩呼三十六峯外，四海波平萬歲聲。

龍雲 堀豐後守名宗興

神物蜿蜒出石根，至今韓孟約猶存。一飛不借風雷力，浪激桃花登禹門。

悅叟 鶴原氏宗怡求

春滿門闌喜色多，老年花亦帶溫和。君家自有長生訣，鶴算龜齡不讓佗。

大業 宗繼

三千世界眼中穿，百二山河掌內收。若論此郎功第一，武門閔閔績箕裘。

大成 宗功備之甲族廣澤

家業興時日轉新，美哉奐也美哉輪。籬邊燕雀休相賀，三百周詩賦頌人。

義江 光忠禪門

濯足機前落便宜，急流勇退運閑黎。丈夫意氣層雲上，閒卻渡頭風月來。

松翁

根有茯苓經幾春，傳和扁術自願神。蒼髯豈敢染秦垢，萬嶽千峯一老身。

松屋

蒼髯更有棟梁姿，一木今支大厦來。十里風聲聽愈好，儒門知識戒禪師。

榮仲 泉隆

士林從古出英豪，雲擁新豐樹影高。三尺吹毛元不動，太平天下卯金刀。

太陽 宗旭信州知久氏

衛足葵花向日傾，致君堯舜抱丹誠。鵝湖山下神如在，陰德至今人誦名。

春芳

造化無私德有隣，東君雨露百花勻。春於梅與秋於菊，敢保張良似婦人。

芳室 宗葩尼

紅釋迦隨春雨過，紫彌勒待曉風吹。天華亂墜珠簾外，撼動獅牀三萬來。

喜雲 明怡大姊

十地初分十地終，無心出岫又隨風。贈君一朵須怡悅，春色光明兜率宮。

希周 宗鼎

留得蠡斯詩一篇，有文郁郁不曾遷。齊家治國似任似，能保蒼姬八百年。

花屋 周林信女

翰兔美哉桃李中，珠簾甲帳坐春風。家家爭富瞿曇老，多卻一枝微笑紅。

繼芳 祖胤大姊

鷺嶺一枝傳別春，燈花續燭瑞光新。二三四七相承後，更有尋芳逐臭人。

梅隱 祐芳信女

一枝春色謝人間，贏得水邊林下閒。試看孃生真面目，月移花影小孤山。

桂室 宗昌信女

根是西天胡種族，少林門下二株抽。輪香遜白梅兼月，清似姮娥宮裏秋。

見室 妙心信女

佛眼難窺一丈方，藏機密密露堂堂。桃花亂落曼陀雨，撼動毘耶三萬牀。

月岫 慈圓信女

宮裏姮娥獨倚欄，移春花影與人看。千山萬嶽雲收後，光照中峯玉一團。

慧雲 宗智信女

頓超十地未爲奇，參佛日禪無著尼。攀折徑山三月桂，拈成黑漆竹篔簹。

渭川 宗清信女

脩竹林深千畝秋，清流何敢混涇流。釣竿風穩禁池影，魚畏龍顏不上鉤。

天外 超

別傳向上禪，坐斷盡乾坤。出頭天外看，毘盧腳下邊。

花溪

微笑尊者廣長能仁，有水含月誰家不春。

燈溪

四七續燭二三同，流證龜作鼈。須彌點頭。

玉岫 梵圭

溫潤縝密，山色連城。藍田日暖，崑崗煙生。

潤屋 宗璣信女

恩光雨露新，晚節保其身。無盡藏開也，揚州家裏珍。

睡足 相國寺雲澤仁恕請

胸中物八九雲夢，眼底書三萬祿渠。雨過海棠春院靜，清風一枕黑甜餘。

話月齋

拾暮山雲束作薪，煮茶對榻主兼賓。曹溪話月士峯雪，一語應無落俗塵。

萬休齋

白鷗似我未忘吾，迷悟聖凡無二途。瓦解冰消甚時節，心閒朝市亦江湖。

半梅齋

梅因分色遜三白，雪爲不香輸一籌。劉項元來天下半，枝南枝北割鴻溝。

大笑齋 五峯請

籬邊斥鷃小鵬程，開口呵呵天地驚。到此寒山拱手立，柴門月色大江橫。

松鷗齋 江心

多汝書齋實合名青松社裏白鷗盟近聽愈好遠聽好十里清風撲鹿聲

愈好齋

齋主老蒼顏栽松愛境開微風聽得好天地一寒山

道號頌下

希雲號

定光精舍尾之古刹也。迺大覺門下一派也。其徒宗端藏局扣予室。朝參暮究孜孜不倦。志勤矣。一日來告云。某諱端。請和尚字之。以爲華衰。仍命以希雲焉。蓋古希顏者。顏徒。今日希白雲者。雲孫。予所取在茲耳。係一偈於厥上。祝遠大云。

非顏非曠是非龍。棒雨喝雷風亦從。金圈栗蓬鐵酸餡。甘棠故笏慕先宗。

明屋號

神高山龍寶禪寺和之望刹也。其主宗朝典藏。入吾門。挂錫有年。晨參暮請不怠。厥志可嘉。尙也。一日侍側之次。前席云。某有諱無字。請和尚圖之。仍以明屋稱之。并賦村偶一章。以祝遠大云。

心月孤圓大法輪。揚州不是自家珍。此中花竹有和氣。占斷風光作主人。

南華號

河陽一縣有雜僧。諱曰榮也。族逆卷氏也。自韶亂歲。投宜春法兄室。執師資禮焉。染衣之後。不幾而主盛和墳寺之席。不忽繩墨。緇禮肅如。一日通華姪之好。就予徵字。以南華命之。予雖不敏。且說之。夫南方離卦也。離言麗也。日月麗天。草木麗地。其德文明。而如華蟲。

之有文也華也草木欣欣向榮春秋腓威是南訛長養之功也蓋南華真經莊座主荒唐之說也遽然化蝶栩栩然入南華然而不近梅雖誇大椿八千之春秋不奈朝菌一日之榮焉予所不取也因記曹溪能大師唐龍朔中傳黃梅衣而建法幢南華之地斯時宗有南北曰南能曰北秀彼一時此一時王侯之所仰慕也宗門之榮莫大焉加之吾臨濟大師亦南華人也於檠嶠棒下痒徹骨髓者臨濟一人耳故檠囑曰吾宗到汝大興絲是觀之或八十生知識或百世師也榮也為二師華貴稱南華不亦宜乎哉他日回梅嶺春於河內布臨濟涼於天下必矣祝祝偈曰

日輪當午妙芬陀花果同時看若何欲識曹溪別傳旨一枝春色不須多

一庵

有一僧諱曰虔從肥之前州來迺永明門下徒也。不忘昔因一日扣予室徵字來意之所感字之曰一庵蓋有來由也。昔馬師住庵于虔上鬼神為築夜垣果出八十四人於江西派下不亦護法力乎虔也他時異日金鷄銜一粒供養十方僧者非公誰乎勉之書以祝遠大其偈曰

九州四海獨稱翁山鬼難窺密室中莫道夜垣非助我江西從此振宗風

汝雲號

神應主盟祖泰藏主迺龍淵之龍孫白雲之雲仍也姓新見氏備之甲族也一日扣予室徵字焉予告曰白雲汝祖也泰汝諱也以汝雲為稱可乎大凡雲之言運也山川之氣觸

石而起謂之雲舒則彌綸覆四海卷則消液入無形卷舒自在變化不可得而測也按公羊傳曰不崇朝而徧雨乎天下者泰山之雲也予所取在茲焉若據教家論之吾佛說四種雲喻四比丘一曰雷而不雨言其誦十二部經而不為人說也二曰雨而不雷言其顏貌端正好與善友相隨也三曰不雨不雷言其不具威儀不修諸善也四曰亦雨亦雷言其學問修習覺自覺他也絲是三草二木沾恩四生九類感德焉四種之中亦雨亦雷是龍淵之雲耶雨而不雷是泰山之雲耶抑亦菩薩十地名法雲也始覺之智歸入本覺之理而始本不二也是乃汝不二門也智行運動則起大智雲澍大法雨不是甘露門乎佛人也閣梨即雲水不二即甘露門也德澤云乎哉法需云乎哉他日不崇朝而雨天下者非汝雲而誰也哉勉旃作偈以祝遠大云

直起龍淵覆四坤盡扶桑國是仍孫忽為霖雨蘇枯槁不二廣開甘露門

雲華號

巢林庵頭祥公藏局俗藤氏也洞家名宿字之曰雲華系以一偈然而罹于世之騷亂而亡飛鳥失驚蛇以為遺憾頃寄楮皮於老拙求伽陀一章書以塞其請云

磐石託根膚寸新天呈瑞氣地回春春空一朵真鳥鉢不耐持來贈道人

梅江號

對陽宗信藏主者西源翁之小子也待余側殆一兩霜矣然而昇堂未入室一日告歸于舊梓蓋慈明省母之謂乎餞之摘梅江二字以為道稱夫梅之為梅占春於犧易劃先白

而不白，紅而不紅，分宗於龍朔年後，頓而不頓，漸而不漸，可謂百花魁也。嗚呼，道實不道，花說命闕文乎？不道實不道，花楚辭遺恨耳。牡丹無實，荔子非花，豈同日語乎？抑又江之爲江，濫觴于江西，瀾漫乎湖南，月在水，猶春在花，清香于花，令姿于水，掬之月，弄之花，春湖白鷗，自然宜哉。他時異日，漏泄西來意，流傳雪月花者，不是梅江乎哉？仍作小偈以祝云。

西天四七水傳器，東土二三花滿衣。畢竟非花又非水，暗香疎影野薔薇。永正六冬節後一日。

古礪號

昔有僧問大龍，如何是堅固法身。龍云：山花開似錦，礪水湛如藍。茲有一僧諱曰良堅，寄紙求號，雅稱之曰古礪。余所字，其在大龍舊話端耳。堅禪堅禪，二六時提撕看，古礪寒泉非他物，若是瞪目，爭得見底。偈云。

主人門外舊山河，風定湛然自不波。空劫以前今日事，落花流水早蹉過。

文仲號

竹隱軒主虎藏局，求道稱稱之曰文仲。仍唱貫華一章，以證其義云。

大器成時載道行，管窺錯認老書生。一朝跳出南山裏，凜凜威風動八紘。

龍光號

攝之下郡有古禪刹，曰醫王。廼天龍門下之末派也。周珍首座，主其席也。自幼學醫，得盧

扁術，換骨方，願神術，可謂今日醫王善逝也。近頃就予徵字，以龍光命之。昔宋司馬溫公天下宰相也，有僧避相公諱，光字，唱瑠璃皎佛，古今笑具也。仍作偈以爲左證。

扶桑樹萬八千東，醫國養民唯一翁。不觸淨瑠璃皎諱，人參甘草再溫公。

春韶號

令津首座迺水派下僧也。一日入室之次，就予徵字，字之曰春韶。仍攜偈語一篇，以塞其請云。

物逐陽和資始生，唐虞禮樂屬昇平。吾家一曲宮商外，洗盡閒塵流水聲。

藏龍號

魯史云：深山大澤者龍蛇之窟也。宗澤藏主，就予需道稱，字之曰藏龍。作偈以爲證云。多年神物耐泥蟠，豈向池中獨屈尊。若遇春雷開鱗戶，鱗蟲三百總兒孫。

東明號

東山下小阿師，諱曰昇如。就予索字，雅稱之曰東明也。仍製貫華一章，以祝遠大。

先照高山日近耶，仰之仁義老奢迦。出頭天外須看取，八十華嚴春在花。

芳才號

禪佐藏主號芳才，吾鄧林師兄之攸命也。寄紙求偈。

撰花簇錦好文章，覺範參寥不可當。轉正法輪調羹手，僧中今視有斯郎。大永五年孟春。

桃嶽號

智康藏主求道稱於予，命以桃嶽二字，蓋丹田之神認之桃康，義取于此耳。仍唱拙偈一章，以為左證云。

古來度湖仰神茶，直入丹田摧衆邪。不羨洞中春色燠，金輪峯外有斯花。昔享祿第四辛卯夷則吉辰，妙心住山大休老禪書。

直指號

吾山後版，鄧林一枝，諱曰謬也。俗甲族仁木也。就予需道稱，以直指命之，因攜偈一章，以證其義云。

心地平時繩墨正，法梁高架鄧林材。要成少室單傳器，先自斯門入得來。天文龍集壬寅三月如意珠日。

蘭圃號

駿陽有沙彌諱曰金，予字之曰蘭圃。賦禪詩一篇，以祝遠大云。

九畹移來深託芽，風流有種謝公家。春風競秀山林裏，十蕙一枝三四花。天文十七祀戊申夏五十又二。

桂峯號

慶昌藏主需號書桂峯二大字與之，偈云。

少林惡孽忽發天香，出頭雲外山色蒼蒼。

覺翁號

賢等老人寄楮皮見求道稱，命之以覺翁焉。蓋教中有等妙二覺，自十信位歷十地而至。等覺等覺一轉而入妙覺，謂之覺行圓滿也。佛者覺也，翁者老稱也。佛是西天老比丘也。覺云翁云字義炳然，若約吾宗一棒一喝之下，頓成正覺者，誰哉。四海一暮翁耳。其偈曰：迷悟元來無二途，黃塵烏帽白頭顱。眼高三世十方外，呼老瞿曇作我奴。

業仲號

河陽有丹下氏，崑山源公幕下之臣也。世有忠功，而宗因信男者，厥宗也。永正庚辰之春，為源公致命於戰場，可謂亂世英雄也。其徒寄紙需，因公之字，稱之曰業仲。仍賦山偈，以為左證。

道合君臣非小緣，名家父子一時權。能醫邦國功成後，日落葛洪丹井西。

雲江號

越太守藤氏松井宗信公者，源右典廐幕下三代之忠臣也。所謂武門干城，法社牆廩也。先師諱之曰守慶，老拙字之曰雲江。仍唱伽陀一章，以祝遠大云。

朝來出岫自無心，白鳥明邊春水深。到此老龐難下口，旱天為雨又為霖。

榮中號

多多良氏奈良元吉公者，源右京兆幕下之忠臣也。自弱冠奉主，而不廢晨夕官暇之日，于雪子燈讀父書，而遂得射騎之妙也。一弛一張，文武之道未墜地者乎。加之公昔入吾鄧林法兄之室，受衣安名曰宗繁也。所謂俗而真，真而俗也。今茲大永乙酉夏，以瓜葛于

法門之故，扣予龍安室，祝髮染衣，厥志勤矣。一日話之次，出楮皮，需立字之，命不可拒。字曰榮中，也因記。漢朱翁子，衣錦歸鄉，是翁子一時之榮耀也。宋蘇內翰，賜燭歸院，是內翰一場之富貴也。蓋公榮中于源君之命，而賜祿拜官，位至匠作也。一門之榮莫大焉。內翰富翁子榮，彼一時也。此一時也。予稱榮中不亦宜乎哉。禪偈一章，唱以祝遠大云。

東明號

細川右京兆幕下有一老臣，曰秀綱也。姓者源也。氏者中澤也。世任越州刺史也。公蚤嗽六藝之芳潤，而以繼箕裘之業焉。袞袞源流，藉藉家聲，不言而可知耳。先是公拜鄧林翁之衣孟，而自稱籌室先登。翁諱之曰宗晃，而後予字之曰東明也。夫公之爲人也，揭仲尼之日月於扶桑，而挹厥末光焉。與天地合其德，與日月合其明矣。晃晃焉就之如日，蓋明之爲明，以無私照爲明矣。然則誰不仰其德乎，誰不仰其明乎，予所命義在茲而已，公厥念之。

青帝司春居震方，道儒星月巨爭光。元來宇宙無雙日，赫赫威名照搏桑。 大永乙酉夏五吉辰。

大業號

寶泉寺殿前常州刺史全勳大居士，源家棟梁，細川砥柱也。居士曾扣龍安之室，受衣孟於義天師翁，翁諱之曰全勳，寔宗門之金湯也。居士已薨，而烏積兔久之，蓋源深則流遠。

有厥子也，有厥孫也，一日來告予云：吾全勳居士者，先龍安之所命也。然而記其諱，而不記其字之，是遺憾耳。請爲之字焉。厥辭銘肝弗克拒之，稱以大業也。因記昔竺乾猛將發人天百萬之兵，張三百餘陣，雜華爲先鋒，涅槃爲殿後，被堅執銳，攻魔壘，殆乎四十九白。於茲魔軍大敗，波旬瓜潰矣。遂捨邪歸正者，二千歲于今，其功不亦大乎。望之如雲，其業不亦盛乎。就之如日，於戲誰不仰哉。夫居士者天竺氏之將種也，言家系則有源有本，論行迹則有忠有義，與秋天爭高也。倘然稱大業亦宜也。仍唱一祇夜，以爲左證而已。

桃溪號

藤氏伴野尾州太守諱永勤，就予徵字，字之曰桃溪。蓋取靈雲見桃之義耳。仍賦貫華一篇，以爲左證云。

武陵一自失源頭，千古花流水不流。敢保靈雲擔板漢，隨波逐浪幾時休。

安邦號

樂師寺國長公者，梅宮奕葉，橘家棟梁也。幼而孤，敏而學，研精于騎射，覃思于倭歌，幾乎有父風。世仕京兆幕下，竭股肱之力，持忠貞之節，寔遠大之器也。一日官暇，扣予龍安室，而打話之次，近前曰：請師安名，予咄曰：歷劫無名，說甚安名，然而堅請不已。遂名之曰紹泰也。公信受而退矣。三四句之後，寄吳牋，需字，字曰安邦。夫安者止也，凡人之處，一世置安處則安，是故人情莫不欲安。吁，居累卵之危，而圖泰山之安，是復人世之常也。邦者古

謂封諸侯爲邦禮曰大曰邦小曰國二義既明矣蓋予所謂安邦不然昔漢時賈誼上治安策治安者何也乃治國安民之策也上古聖人以爲設教施政之大本竊以公之祖及子孫三代領津陽刺史爰用治安策而起蒼生保社稷者有年矣因記洛社耆英司馬光偶與樂師瑠璃光佛同諱兒童走卒誦之元祐中召作相先是民苦王呂新法久之光及執政柄議以復舊抑醫國活民之術如救焚溺爾程明道嘗曰君實之言如人參甘草厥無妄疾勿藥有喜之謂乎由此觀之昔時溫藥師相宋室而致君堯舜上今日藥師寺守津陽而置枕泰山安彼賢宰相此賢太守支桑雖異易地然件件且措吾宗別有安心藥公試嘗過看必到大安樂地祝祝

爲劉偏袒左邊肩國屬昇平四百年且喜商顏猶不老橘中一局漢山川 大永五禩季夏吉辰

輝岳號

攝之入江氏有一奇男兒幼而抱棟梁之材生而爲風流之種詠萬葉千載研精于雪學六韜三略覃思于筮箕裘之業將寒水矣一日就于老拙見需法諱并道稱焉乃授禪果爲之諱輝岳爲之字焉且告曰拙聞入江爲藤氏的裔厥家聲也輝騰古今昭昭乎就之如日巍巍乎仰之如山曰輝曰岳不亦宜乎哉作偈以祝遠大云

卓爾高標不可攀日輪推出搏桑間三千刹界光明藏百億須彌福壽山

模堂號

有馬郡主赤松氏有一賢女適攝之刺史橘國長公之萱堂也諱曰清範字曰模堂老拙爲之作偈以代字說云

百丈叢規今尙存三千禮樂一乾坤魯般到此絕繩墨月斧雲斤不見痕 天文龍集癸巳仲春日大休老衲書于花園見麼軒

心源號

菅家左金吾宗徹居士就子徵字不克固辭以心源命之蓋聞居士參瑞龍門下諸老宿鳥積兔久矣可謂槃礴下裴休藥嶠下李翱也人中鳥蔑希世之才也仍攜祇夜一篇以祝遠大云

龍淵派脈屬菅原聞說他東海的孫莫謂祖師無意旨黃河九曲出崑崙

秀峯號

駿州刺史源府君入室參玄之次求法諱名之曰宗哲字之曰秀峯按倒上秀者峯蓋義取于玆耳仍作偈以祝遠大云

富士蓬萊日本東山顏不老壽無窮虛空背上擡頭看百億須彌立下風

芥舟號

尾之賢太守武衛源公幕下有禿居士曰宗余姓藤氏織田累代武門動閥也或人表其德而號芥舟焉近頃介乎楮先生求一偈於予予聞之芥千金履萬乘而若雲夢者八九澤不芥蒂其胸焉寔光風霽月洒落之士也蓋所以號芥舟何也取之於莊子逍遙篇耶

且夫水之積也，不厚則負大舟也無力，覆杯水坳堂之上，則芥爲之舟，置杯則膠，水淺而舟大也。郭象曰：夫質小者所資不待大，則質大者所用不得小矣。故理有至分，物有定極，各足稱事，其濟一也。絲是觀之，一塵翳天，一芥覆地，居士生其兩間，仰瞻俯察，天地如杯水之浮芥，身爲之舟也。然而爲識浪不溺，淺深高低，適情逍遙矣。飄飄乎縱一葦之所如，樂至矣。厥德昭昭乎天地之間，如莊之日月，予言掩其明，豈不異郭霧乎。嗚呼，濟川之材，舍諸用，汝作舟，勉旃。

芥舟平地起，波時空裡遊。絲欲繫之，一夜風吹何處去。蠅螟負海入蚊眉。

春澤號

備之後州有甲族，姓藤氏，廣澤也。因食邑號安田，安田光忠雖予未見其面，遠寄書信，需諱號諱曰宗光，字曰春澤矣。蓋取之淵明春水滿四澤之句耳。祇夜一篇以祝遠大云。

水解雪消風不波，雲夢八九未爲多。天浮野水眼俱碧，一箇白鷗黃達磨。

月虎號

尾之甲族，織田又六郎信張，介子冷香軒主，求諱號於予。予竊聞此郎爲人威而不猛，如虎挾乙，爪牙具兮頭角全，匪狐假其威，羊象其皮之屬焉。諱之曰宗乙，字之曰月虎，可乎。軒主領之，抑虎之爲虎也。按大戴禮云：西有毛蟲三百六十，虎爲之長，生而三日，不食伏肉，有食牛之機，始入南山，隱霧七日，厥文炳然，蓋入虎穴，捋虎鬚，履尾者，非乙居士而誰也。昔長沙岑禪師翫月次，仰山指月云：人人盡有這箇，只是用不得。沙云：恰是便備備用。

那仰云：備試用看，沙一蹈蹈倒，仰山起云：師叔一似箇大蟲，後來人號爲岑大蟲，絲是觀之，曰月曰虎，不亦宜乎哉。氣類相感，則吼千峯之月，嘯萬嶽之風，凜乎餘勇至今斑斑在兒孫乙居士之謂乎，作偈以祝遠大云。

毛群三百六十長，兔子懷胎產大蟲。跳出南山雲霧裏，一聲吼破廣寒宮。

玉雲號

宗珪信女寄紙求號，雅之曰玉雲，因唱貫華一章，以證其義云。

崑山片片覆崔嵬，帝網重重鎖殿陔。朝逐風雖出荆岫，暮爲雨不到陽臺。

雲外號

和之山中有甲族，稱山田氏，武門閥閱，法社金湯，不忘靈山遺囑者乎。是故兒卒誦之，草木識其名矣。宋之再溫公耶，齊之諸田氏耶，可嘉尚也。復慕教外宗，日課碧巖集，手之口之不輟，近頃寄紙於予，徵字，或人諱之曰宗公，蓋公之爲義，天下無大小稱之曰公，不宜諱也。余改公作興之次，字之曰雲外也。按大戴禮云：東有鱗蟲三百六十，龍爲之長，然則公亦爲鱗蟲之長，而興雲降雨，非人中龍何也。其變化難得而識，孔云休云，不亦誣乎。仍作偈，以祝遠大云。

和國山河瑞氣濃，出風塵表露靈蹤。由來不是池中物，且待春雷起臥龍。天文十三龍集甲辰菊月中游日。

汝宗說

大雲山中有「一侍史諱曰派也，乃吾西源翁之舍飴也。一日扣予室求字焉，命之以汝宗二字也。侍史曰：其說可得聞乎？予曰：居吾語汝。夫建法幢立宗旨者，四七倡于西乾，二三傳于東震，而曹溪一滴自此分矣。波波浪浪，淼灩乎江西湖南之間，或五家或七宗，天下滔滔者皆是也。誰不歸吾宗，譬如無水不朝宗海也。雖然天下稱本色白拈者，臨濟一人而已。因記臨濟一日栽松次，黃檗問云：深山裏栽許多作甚麼？濟云：一與山門作境致，一與後人作標榜。道了將鏗頭打地三下，檗云：雖然如是，子已喫吾三十棒了也。濟又以鏗頭打地三下，作噓噓聲。檗云：吾宗到汝大興於世，一問一答，師資道合矣。侍史今爲厥孫定厥宗，夫子所字不在茲乎？他日若回南浦之春於花園，激西源之流於桑海，吾以汝爲臨濟正宗，勉旃。」

圓滿本光國師見桃錄卷之二終

圓滿本光國師見桃錄卷之三

遠孫比丘衆等重編

立地

釋迦如來文殊普賢二大士安座開光

本是天然老釋迦，金剛正眼絕塵沙。象旋獅擲大人境，一會靈山春在花筆點。左眼云：錯點右眼云：錯點頂門一隻云：果然果然。

三島江真光寺本尊彌陀如來開光

青山綠水無量壽，玉兔金烏雙眼睛。當處豁開安養界，傲霜黃菊一場榮。夫以末劫濁亂願海澄清，含積里俱三字之義，分上中下九品之名，枯木形段淵默雷聲，利濟四倒八邪，空盡諸有不捨十惡五逆，接取衆生，右脇大勢至，左邊正法明，作主作伴，如弟兄，凡聖同居，縮西方於十萬億，神仙靈境，移三島於咫尺，程人人入如來地，去箇箇蹈毗盧頂行，也奇怪也奇怪，白鼻崑崙賀太平，山僧別點出真光，看看寶樹寶臺七重影，檀門成日寺門成，收。

觀音點眼

梵釋照天雙眼睛，作湯池也。作金城，普門八字打開了，永護吾山正法明。

心安淨源居士誦法華千部供養語

薩訶世界南瞻部洲扶桑國攝津州居住，奉三寶弟子藤原朝臣親吉形雖處俗，心如浮圖氏，從幼歲日課法華，寸陰分陰，手之不釋，口之不輟，始乎一部，終乎千部，可謂在家菩薩也。其功大哉，其德至哉，以那由他舌說到塵劫，豈可盡乎？夫法華者，諸佛出世之本懷，衆生成佛之直路，是故諸經中最高第一，以五時配之，則日午打三更，以五味分之，則酥酪醍醐，妙之一字，三世佛說不盡，歷代祖提不起，展則拄天拄地，收則絕毫絕釐，妙之妙玄之玄，不可說不可說，不思議不思議，蓮之爲華，內虛而外直，出五濁水，心華開發，清之不濁，澄之不清，其色也黃絹幼婦，其香也八百鼻功德，當體蓮譬喻蓮，色卽空空卽色，然則離妙無蓮，離蓮無妙，開權顯實之花，本迹二門一時豁開，伏冀心安淨源居士憑這經王讀誦之功，不駕羊鹿牛，頓出火宅，叱起象兔馬，直超三乘，加之致華封於三祝，盛藤氏於萬世，梵釋龍天爲之證明，鬼主鬼官爲之合掌，雖然如是，山僧別有撥轉七軸底活手段，居士高著看經眼，翻轉八邪轍，作一乘大車，欲到真寶處，風流屬當家。

建石塔語

元來無縫鐵崑崙，塔樣分明誰敢論，石火光中高著眼，風飄荷葉露團團。

拈香

鼻祖忌

說禪說道是爭端，分肉分皮猶未寒，梁魏山河野狐窟，令人多少著疑團。廓然一箭已離絃，面壁挂弓八九年，天下今無落鴨手，等閒飛過竺乾西。野狐跳入太平州，破卻六宗誑俗流，熊耳峰高一痕月，空埋隻履不理愁。眇觀梁魏小山河，風捲浪花蘆葉過，大藏五千餘卷外，片岡別有一篇歌。梁魏山河亂若麻，果然賊不打貧家，有何面目西歸去，冷笑江湖鷗一沙。神光三拜不相當，五逆兒孫錯舉揚，若道西來無意旨，直須東海變成桑。隻履西歸隻履東，九年面壁楚人弓，今朝拾得爲香片，落葉吹殘昨夜風。從這野狐精首丘，叢林千古失宗猷，自家頻掃單傳葉，莫管梁王臺上秋。石上油麻生惡芽，西來萬里裏袈裟，真丹雖闕無餘地，移入扶桑開毒花。

達磨大師千年忌

千年滯貨祖師禪，賣弄何曾直半錢，觸著衲僧辛辣手，野狐涎亦作龍涎。

妙心開山忌拈香

舉香云，關山梅向臘天開，和雪一枝拈出來，只爲兒孫消五逆，臥龍奮迅起雲雷，大日本國山

城州平安城西京正法山妙心禪寺大永元年臘月十二日山門伏值開山師祖關山大和尚
瘞履之辰鳴鐘率衆就于微笑塔下嚴備香華燈燭菲薄禮奠同音諷演大佛頂萬行首楞嚴
神咒次住持比丘宗休割這崑崙耳聊作小香材上奉慈蔭以充涓埃餘薰必亘三際遍九垓
共惟大和尚活機電轉微笑春回凌滅正法眼藏賣弄本分鉗鎚嗣國師而謁兩朝帝王捲輪
冠無憂履愛風顛而罵四海英衲單傳器直指才御爐煙裏袈裟角方丈雨洒錦繡堆全依他
力長養聖胎異代同名屈百千林際於七步透關具眼空大小雲門於半杯坐來星彩收月華
散喝下地軸折天柱摧信州海棠花遲故園有憶吳宮野草綠老徑路無媒郊麟逃兮藪鳳竄
夜鶴怨兮曉猿哀再來何時且待祖塔變紅瑪瑙示寂斯日未見吾山露碧崔嵬蓋祖左者爲
呂而趨風底從醜酬讎則頭網八餅報恩則熱鐵數枚報恩是酬讎是更道更道快哉快哉以
香插爐云猶有傲霜一莖菜向牀腳下手栽培因

鄧林和尚入牌祖堂 大永二年十一月二十五日

拈牌云列聖叢無贗本碑諸方莫教海螺兒鼉山一夜同參話雪在梅花說向誰共惟前住當
山第十七世鄧林法兄大禪師通方作者見處過師蚤辭京兆幕府晚董百丈叢規塵塵刹刹
熾然說法巍巍堂堂肅如威儀祖月禪風效達磨氏學倭歌體怪巖奇石擬寒山子題梵語詩
每評百則公案痛罵八教閻梨望鸞鳳於雲間秦華峯仰彌高矣辨龍蛇於格外溜澗水嘗而
知之接上根中根下根群衲稱正法像法末法住持資主互換棒喝交馳御園春回艸色染成
藍樣翠先廬秋晚盧橋花開楓葉衰瞎拄杖正好著力爛枯柴檢束酬知若不入驢胎馬腹內

何其了鵲噪鴉鳴時錯錯且道世尊傳金襴外別將甚付大龜顧視云侍者點平胃散一盞來

興宗和尚入牌祖堂 天文四年乙未五月二十一日

這瞎驢堆容瞎漢百千臨濟一叢林後人標榜山門境卽是吾家大寶箴共惟前住當山第二
十三世興宗松公大禪師仰之佛日逢彼傳霖辛苦十年收汗馬於心地震驚百里起瑞龍於
蹄躩際吾宗大興之日感由來積德之陰上有蘇下有荅諸子抱密付之志始子梅終于棟斯
翁回已墜之風時現烏鉢地變黃金眞淨宗教類大珠橫說豎說虛堂兒孫在東海以心傳心
明月夜光多逢按劍高山流水只貴知音者裏還有祖師麼不道井底栽林檎喫

花園法皇二百年忌香語

曇華再現百花園稽首

法皇無上尊是報恩耶是酬德龍涎吐出鐵崑崙

龍泉景川和尚七年忌

扶桑國裏一禪翁舌振龍泉氣吐虹滿肚無明七年雨三千條罪落花風

特芳和尚十七年忌

知恩今日報恩易中毒當時用毒難將謂先師肉猶暖疎籬殘菊帶霜寒

特芳和尚三十三回忌香語 天文六年

滅吾正法瞎驢漢項上鐵枷三百斤一炷爐香阿鼻種業風吹作北山雲

賢甫宗喆首座七周忌拈香師時在河州

昔時何事結冤家，驀地掀翻奈落迦。我有本來香一瓣，和風吹送七梅花。今茲永正第九仲春二十日，伏值賢甫宗詰首座七周忌之辰，厥徒外記愉乎，告山僧曰：就洛之北桂蔭舊廬，某兄某弟，春色隨分，或拈花供佛，或折柳齋僧，嗚呼！以何爲涓埃報乎？願請師一偈，徃以隨例也。山野咄曰：一棒一喝，不是外記之報乎？無言無說，不是山野之偈乎？無垢稱曰：施汝者，不名福田。供養汝者，墮三惡道。外記外記，報恩耶？報讎耶？蔑以加焉。雖然，乞不輟，遂唱香語酬請者也。夫惟某名古道顏色，宗門爪牙，參洋嶼黃楊禪，則二十年喫辛苦，用松源黑豆法，則三千里見誦訛。志凌鴻鵠，眼定龍蛇，蓋首座說法如何，晝閱浮夜兜率，而先師公案未了，水黃河山太華，餘波雖及左右，殘夢難裛袈裟，春風樓下愛生前酒，水晶簾中煎睡後茶，加之罵倒七步臨濟，驚起一宿永嘉，歸去來歸去來，天共白雲曉，沒交涉沒交涉，泉衝石徑斜，此是賢甫首座無盡藏陀羅尼三昧，別要覆蔭後昆底句，諸人試看，頰桂長新芽，以香指真云，幸字腳邏沙石上種油麻，唧唧。江南釋宗休和南。

前往普門月心照公座元三十三年忌香語

按雜華人間有香，名曰象藏，因龍鬪生，若燒一丸，卽起大香雲，彌覆王都，於七日中，雨細香雨，舉香山僧亦有那一香，生鐵鑄成底鶻崙，得之未兆先，卽今鎚碎將來，輒於兜羅綿起，大慈雲于白花巖，則退猗蘭四十里之臭氣，樹小曼陀于金粟室，則奪蟾桂五百丈之芳鮮，上穿碧落，下徹黃泉，鶻崙卽象藏，象藏卽鶻崙，一回觸這香氣者，從三摩地入，得普門諸人還入得麼，別別，綠楊晝暗鷓鴣烟，大日本國攝州路慈雲山普門禪寺守塔比丘聖安，維時享祿三年龍集。

庚寅孟陬二十七日，山門茲迎前往當山月心照公座元禪師三十三白遠忌之辰，先庚七日，就函丈修諸般善利，彫刻當忌佛尊像者一軀，讀書經王妙典者如千部，修禮水月懺摩者一場，施設水陸淨供者一會，今當散筵營辦香花燈燭茶果珍饈之儀，供佛眼僧，仍集現前苾芻衆，異口同音，諷演白傘蓋無上神咒之次，借手於洛下退藏野衲宗休，焚這一瓣奉供養本師釋迦牟尼善逝，濡首徧吉二菩薩，今日教主香集世界菊光佛現座道場正法明如來，六道能化舅舅和尚，三世十方諸佛薩埵，乃祖大覺禪師三國傳燈列祖師，天主地神水族山靈一切含識等，伏冀覺靈沐這薰染，無黨無偏，冤親平等，證行同圓，夫惟月心座元禪師，蚤遊講肆，晚賦歸田，知識如優曇華，本朝始賜大覺之徽號，首座爲僧中月，季運幸得無明之正傳，其出興也世尊滅後，其行道也威音已前，開市厭喧，黃塵烏帽，伽黎勃窣，開房投老，青山素髮，孤榻蕭然，每日日課經坐，長夜夜抱佛眠，仰秀鐵面於圓通，戒乘俱急，推照白眉於方廣，名實兼全，或時著短蓑衣，而探早梅前村雪裏，或時拈生苕帚，而掃落葉夕陽溪邊，南方佛法如何，桃紅李白，薔薇紫西來祖意會麼，芒屨竹杖，布行纏分身散影，塵塵爾利爾，放光動地，煒煒焉煌煌焉，休休休，馬鳴龍樹千論未盡，錯錯錯，鹿野鶴林一字不宣，初發心成正覺，真如性絕，變遷蚯蚓，抹過東海，螻蛄吞卻坤乾，雖然，潛麼，要見向上牙爪，聽取祇夜一篇，山中無角老烏雞，高臥安眠三十年，忽化金毛活獅子，一聲吼裂率陀天，喝一喝。

大藏開基華屋宗榮尼首座三十三年忌香語

這老婆於我太賒，多年香瓣裏袈裟，舉香不如插向寶爐去，供養芙蓉八月花，大日本國河州

路茨田郡多福山大藏禪寺住持苾芻尼宗玖。維時享祿二載八月十冀。伏值當寺中興華屋宗榮尼首座三十三白遠諱之辰。適就于函丈。修飾梵筵。菊光佛彫刻者一軀。僧寂筆授經王印書者若干。西湖遊式所製圓通妙懺修者一座。三摩耶形造立者一基。作善件件品目。維那寫讀之。不勞重舉。度備香華燈燭茶果珍饈之化儀。設供佛暇僧大會。仍拜屈現前清淨衆。清淨尼。諷演大佛頂光聚悉怛多般怛羅無上神咒之次。借手於花園休上座。兜樓一瓣。燕向寶爐。奉供養本師釋迦牟尼善逝。濡首徧吉左輔右弼。當來補處慈氏尊。西方無量壽佛。世音勢至二脇士。六道能化願王佛。當忌至尊香集。世界能滿虛空藏菩薩。三世歷代乃佛乃祖。或天或鬼。一切含識等。郁乎微黃泉。則清於沈水。靄靄然穿碧落。則濃似紅霞。伏願覺靈憑斯薰力。不歷五百由旬險道。至一乘寶所。頓出四倒八苦火宅。駕三種寶車。娑婆卽是華藏。寂光豈離伽耶。則箇夫惟華屋宗榮尼首座榮輝閭里。富潤屋家。逆行順行。入鍼鋒世界。翹足佛境。魔境。坐蒲團庵內結跏。其德也。燕金有價。其名也。趙璧無瑕。雲北嶺。梅南枝。再興曹溪宗。而瞞八十生大鑑祖。朝西天。暮東土。重續兜率夢。而稱第二位小釋迦。截斷腳下紅線。脫卻項上鐵枷。清風起兮。忽然忽然。投韓送葉。殘暑去兮。端的端的。捲箔煎茶。萬機休罷。喪盡生涯。三十年前。轉凡成聖。轉聖成凡。證涅槃於雙樹。示五蘊漏質。三十年後。離教無禪。離禪無教。開大藏於少林。傳四卷楞伽。踏翻解脫毒海。淘汰無明塵沙。時節因緣。廣寒之桂。半輪圓。半輪缺。當陽直指。多福之竹。一莖曲。一莖斜。黑漫漫地。強納些些。以香指云。老牯牛。汝來也。爲甚麼沒鼻巴。不犯他苗稼。不受他木叉。左旋右轉。牽犁拽把。叱。今日臺山大齋會。香嚴童子叫無遮。

大藏住持明室宗玖尼首座三十三回忌預修供養語

剎那三十有三霜。始不動尊。終菊光。欲識老婆心切處。炎天梅藥一爐香。薩訶世界南瞻部洲。大日本國河州路茨田郡大藏禪寺住持明室宗玖尼首座。預修三十三回忌之冥福。仍彫刻當忌尊虛空藏菩薩像一軀。修禮圓通妙懺一座。供佛齋僧。盡善矣。天文五年丙申六月初吉。命宗休小比丘。唱香語。以供養始終焉。其功德不可說。三寶證明。諸天洞鑑。願乘此香雲。永歸本有故鄉。夫惟某名。輒頑手段。鐵作心腸。預知世壽有限。頓了諸行無常。菩薩作誓言。我代衆生墮地獄。諸佛不妄語。汝使九族生天堂。五濁曇華現瑞。二株媚桂聯芳。度大愛道於靈山會中。戒乘俱急。接尼總持於少林門下。皮髓分張。打八九年面壁。開三百餘會場。借水獻花。昨日供養。今日供養。淘沙去米。佛法商量。世法商量。無著放開線路。普化踏倒飯牀。施者受者。晴漢不免。因齋贊揚。插香云。人皆苦炎熱。吾愛夏日長。

駿陽藤氏庵原世順良朝庵主四十年忌拈香語

無明爲父大哉。乾檢束酬恩四十年。業債重重。士峯雪拈成。沈水一爐烟。于茲有駿州僧宗孚者。天文甲辰仲春二十四日。伏值先考庵原氏世順良朝庵主四十年遠忌。得得來。西京花園。就于衡梅禪院。設齋筵。蓋報椿府罔極恩也。仍集六和衆。諷經一上之次。借手於休上座。焚這決願香。奉供養三世佛六代祖。乃至日域大小神祇。一切含識等。所冀頓脫凡骨。特地登仙去。夫惟庵主。閩國好駿。江湖橫鎗。剃髮染衣。僧非僧。俗非俗。出群拔萃。聖續聖。賢續賢。將謂川黨。頓語魯直。元來丘徒。短命顏淵。長歌短歌。擬唐詩。則香象渡河。金翅劈海。大家小篆。臨晉帖。則

怒猊扶石渴驥奔泉，春樹暮雲千里繾綣。風花雪月萬古流傳，或時客路西遊問津。老生涯得漫種，或時故國東歸掩室。順現業感夙緣，乃翁與驢屑而失本貫。此郎營菟裘而卜終焉，加之清淨法身堅固法身，螺甲割崑崙之耳，分段生死變易生死。龍光射斗牛之躡，理窟勃窣意氣凜然。時其至哉，烏鉢曇華偶值一佛出世，道尙存矣。燈籠露柱高叫九族生天，入涅槃兮奢迦後，成正覺兮威音前。桃李不言，待三會春於率陀宮裏。芭蕉無耳，聞五逆雷於濟水那邊。力因希咄咄妙難思，玄玄玄，要識端的麼，不可以言宣。舉香看看歸來坐虛室，夕陽在我西。

無礙妙心禪尼香語

舉香妙妙妙，妙妙非思量。心心心，不可得。此是孃生本來香，十月勝花丹楓色。夫以無礙妙心禪尼，內懷慈仁，外少緣飾。忽爾示雙趺於棺榔側，竺土仙，日日涅槃，依然證三昧於寶鏡前。曹家女，時時拂拭，何處不風流。大地絕消息，雖然恁麼，到向上圓極龍門，別有公案一則，代他兒孫報恩酬德去。閻浮樹下笑呵呵，舜若多神面皮黑，插香露。

文苑理總大姊香語

永正第四三月侍史某啓，老拙云，正當三十日者，祖母文苑理總大姊小祥之辰，於戲，吾無卓錫之地，以何報老婆心切之恩乎。老拙云，淨名居士不道乎，其施汝者，不名福田，供養汝者，墮三惡道。其義如何，汝只將這箇如法報恩去。縱有從來習氣，五無間業，盡成解脫大海，豈不快乎哉。侍史不覺點頭一笑，仍作祇夜一篇，以代香語云。
八十婆婆養子緣，莫聽鶯語作啼鴉。此中無限傷春意，錦上添花又一年。

松巖大姊一周忌香語

雲山南源首座告休云，臘旦者，吾先妣松巖大姊小祥忌，然而炷無香奠無茶，以何酬恩。乳乎，休咄云，無香無茶，已酬了也。首座揖云，謝供養。休云，蒼天蒼天，若非南源不子子，非松巖不母母，慈明銀盆陸州蒲鞵，不可當焉。別有香語，一回拈出去。
端的酬恩有其難，黃金義也鐵心肝。黑崑崙畫蛾眉出，雪裏芭蕉冬牡丹。

德雲院殿前刑部通叟普公大禪定門盡七日香語

舉香，本來香屬本來人，鼻孔依然挂上唇。七七光陰消底物，薔薇露重一枝春。薩訶世界南瞻部洲，大日本國山城州平安城居住，奉三寶弟子孝男土佐法師，大永三年孟夏十有五日，家門伏值先考德雲院殿前刑部通叟普公大禪定門盡七之辰，每忌就私第莊嚴道場，延請緇倫，經乎晝禪乎夜，燈乎夕，香乎晨，勤修諸般白業，白業何乎，大乘妙典，頓寫漸寫，印寫各若干部。水陸妙供，兩會圓通，懺儀二座，夫法華者，有當體蓮華，有譬喻蓮華，異而不異，均而不均。在此方則纔是七軸，在西方則布一由旬，長者門外駕三種之車，信樂衣裏繫無價之珍寶。處在近，維德有隣，夫水陸勝會者，過去青提濫觴於帳，滅四倒八苦業火，救三有九界沈淪。梁武設金山會，以愍塗炭之民，今日施主亦復如是。上報先考罔極之恩義，下資群生無量之苦辛。其餘波及普天之下，率土之濱，夫圓通懺儀者，慈雲懺主所修撰也，抑觀大士之應化，無刹不臻。小白花大白花，亂墜紛繽，借柳枝獻水鋪草座，爲茵弘誓海好問津。特彫刻當忌尊醫王善逝聖像一軀，夫藥師者，乃是東方滿月世界教主，廣嚴城中醫王也。昔發十二大願，而示不死還

年妙藥是故寶號一經耳則衆病悉除身心安樂作麼生是安樂處請放下身心看無佛病之可蘇無祖病之可療更不假一粒還丹轉凡成聖轉聖成凡千年桃核討甚舊時仁預於今日散筵營辦伊蒲淨膳以擬采蘋仍命現前苾芻衆同音諷演白傘蓋無上神呪之次借手龍安小比丘宗休焚此爛枯薪供養三世十方薄伽世尊當忌醫王善逝現座道場無量壽佛微塵刹土諸賢聖等所萃殊勳奉爲神儀資嚴報土願憑此開薰力頓出解脫毒海速乘無上法輪共惟大禪定門運籌帷幄列位縉紳學晉帖而縈蛇蚓詠和歌而感鬼神封弟剪桐拜冕旒於清和天子賜姓食采續箕裘於滿仲朝臣源深流遠其命維新德雲相見別峰驅雜華之春試遊轡遂磨不來此土和普通之雪賣假銀鐵笛千古恨燈花十年親喚醒這野狐精楊柳綠暗參得他村獼猴黃梅月新恁麼不恁麼全真全俗不恁麼恁麼全俗全真飛花開二十五圓通則直印香嚴本寂徐薰證八百功德則忽了金仙前因正知見力入蘊入細大丈夫心不縑不磷到這裏說什麼自受用他受用論什麼理法身智法身淨裸裸地無寸土清寥寥地絕纖塵雖然與麼覆蔭後昆底一句卽今如何指陳草木山河增瑞氣虛空產出玉麒麟

東漸寺殿光翁亘公大禪定門七年忌拈香語

舉香這七梅花始太極長無根得之於心則忽作栴檀樹失之於旨則便變蒺藜園前釋迦不前日日成道後彌勒不後處處稱尊龜毛抽葉而布三千世界兔角開花而魁二十四番花光老畫不成孤芳皎潔林逋仙吟未了暗香黃昏昨夜三更和卻邯鄲道上夢今朝九日拾得羅浮山中村去卻一拈得七以作返魂我欲供養佛祖佛祖與我生冤不若插向寶爐下供養光

翁大禪定門且道寶爐下是什麼元來一箇鐵崑崙鐵崑崙跨跳上三十三天築著帝釋鼻孔山僧打一棒百雜碎兩傾盆薩訶世界南瞻部洲日東城州平安城居住大功德主源朝臣虎增明年甲申春王正月初九伏值先考東漸寺殿贈從四位下前房州太守光翁亘公大禪定門七周忌之辰預於今茲大永三天臘月今日供佛齋僧陳菓茗慎終追遠羞蘋蘩先庚七日設道場於本寺晨夕香莊嚴華莊嚴晝夜經三昧禪三昧其志敦矣就中彫刻當忌東方無動佛尊像一軀薩芸妙芬陀利頓漸印讀如干茲總管府君右京兆特抽丹悃本門壽量親書者一品一品中該權大乘實大乘淺深莫測一毫端現本壽量跡壽量短長難論多少談玄說妙十分酬德報恩圓通懺儀一座水陸妙供一會諸經來由諸佛事迹不遑枚舉住持事繁今臨散筵鳩六和苾芻衆諷演萬行楞嚴咒之次借手龍安休上座焚這小兜樓奉供養三世覺皇十方薩埵西天東土列祖師天界地界諸神仙日域大小神祇冥府十殿王等伏冀檀越憑這開薰力直踏毘盧頂上行莫隨他腳跟共惟大禪定門威雄霜冷談笑春溫聖續聖賢續賢拜四位乎北闕兄爲兄弟爲弟接長老乎東軒梧桐名上鸞翔鳳舞藕絲窳裏鯤化鵬鷲胸中數萬甲兵掃除熙寧元豐餘黨門下三千賓客扶起文德清和末孫蓋雖王侯將相無種而如江河淮濟有源畫堂晝閑愛雲愛僧青山下榻朱欄日轉酌花酌鳥石坳爲樽不翅金湯法社矧復黼黻諫垣觸其諱者王老庭前天地同根之陸大夫空華何勞把捉具其機者馬祖庵畔萬法不侶之龐居士江水豈足平吞將謂小睡語大睡語已是禪狀元儒狀元玉鐙金鞭跨臨濟之大龍不得皮履直覆夢投子之俊鷹以原君臣道合宇宙名噴或時開知見戶牖薰知見香

記同參夜雨句、或時入解脫國土、著解脫服、甘杜多風露殞、進退學前佛模範、殺活奪外道赤幡、聽曉鶯於武侯祠堂、出騎漢巴、長留八陣、殞詠群鵝於房公池館、致君堯舜、再回大雅、轅喜氣雪消冰解、號令電卷雷奔、何物恁麼來、雲在嶺頭、間不徹、何物恁麼去、月穿潭底、水無痕、鏝湯爐炭、一吹吹滅、銀山鐵壁、一踢踢翻、洒洒地落落地、離窠白、絕籠樊、者箇時節、印甚香、嚴本寂管甚闊、羅平反、雖然潛麼、來年更有新條在、如何覆蔭後、昆去諸仁者、試聽山僧重說、偈言、吹毛不動定乾坤、生氣凜然今尚存、真照無邊大人相、扶桑樹上挂朝暉、喝一喝。

德雲院殿小祥忌香語

三月正當春一回、一回花落又花開、欲知鼻孔指南旨、拈卻門前下馬臺、薩訶世界南瞻部洲、豐草原山、城州平安城居住、大功德主源五郎、大永四年三月二十六日、家門伏值先考德雲院殿前刑部通叟普公大禪定門小祥忌辰、仍攀供佛齋僧之舊例、先期就私第、莊嚴梵筵、一香一燈、不廢晨夕、維誦維禪、不舍晝夜、勤修善因、資助冥福者七日、特當忌尊無邊光佛慈容彫刻者一軀、水陸無遮勝會施設者一場、今當散忌營辦淨饌、延請緇侶、諷演首楞嚴神咒之次、命龍安小比丘宗休、炷這一瓣香、奉供養本師釋迦牟尼善逝、濡首徧吉二菩薩、現座道場無量壽佛、觀音勢至二脇士、三世十方諸大薩埵、西來東土諸大祖師、天仙地神、日域諸神、冥府鬼主、鬼官、三有九界之群生等、伏冀神儀憑這知見力、脫無數劫來生死淪溺、昇四十九重摩尼殿、陔桃花色、民雖同傳、翁之號慈氏、華嚴法界、何異德雲之接善財、共惟大禪定門、荆岫美璞、鄧林奇材、致孝乎北堂、諼草動與乎東閣、官梅圮上傳書、進黃石一隻履、江南定策、付書

第兩三杯、典刑存矣、晚節難哉、兵衛畫戟、燕寢清香、朱簾暮捲、歌臺暖響、舞殿冷袖、急管畫儀、紅顏昨日、丹心寒灰、托道根於心地、初蘇端明、慕香山居士、散天花於丈室內、維摩詰稱金粟如來、千載回英靈之氣、四海仰王佐之才、日午打更、增上慢人、鷲嶺退席、上已餘景、積行菩薩龍門、曝顯、甚已說今說、當說、管甚火災水災風災、在聖同聖、在凡同凡、誰家無明月、逢佛殺佛、逢祖殺祖、何處有塵埃、休休、乾坤窄、星辰黑、莫莫、虛空消、鐵山摧、與麼時節、金剛王氣凜凜、昆侖兒笑哈哈、此是通叟三十八年、橫拈倒用、底間事、山僧別有一道咒、保祐後胤、長養聖胎、去、唵、蘇嚕、唵、蘇嚕、兎角龜毛、眼裏栽。

珠溪宗輝禪定尼三十三年忌香語

一片孝心、心字香、消來三十有餘霜、分明呈露、娘生面、秋日花開、紅海棠、大日本國山城州平安城居住、奉三寶弟子孝男源政真、大永五年九月二十有三日、家門伏值先妣某三十三白、違忌之辰、先期就第、莊嚴梵筵、一華一香、供佛齋僧、七晝七夜、誦經習定、諸般良因、修之勤之、仍命工彫刻、當忌尊虛空藏慈容一軀、七軸蓮經、頓寫漸寫、印寫若干部、圓通懺儀、水陸妙供、各一會、今當散忌、營辦淨饌、拜屈緇郎、諷演白傘蓋神咒之次、借手於龍安小比丘宗休、焚此小兜樓、奉供養本師釋迦牟尼善逝、當忌虛空藏菩薩、當來補處慈氏尊、西方無量壽佛、濡首徧吉二大士、觀音持地兩薩埵、三世十方諸賢聖、西天東土列祖師、天衆地神、冥主冥官、一切含識等、伏希淑靈憑這薰力、速登覺場、夫惟珠溪宗輝禪定尼、雲路翡翠、丹山鳳凰、斷機曾學、孟軻親善、隣維寶、截髮或効、陶侃母、夙債難償、施仁澤於林野、寄生涯於洞房、追遠慎終、左花

右竹昭穆列廟，出群拔萃，東蘭西蕙，兄弟聯芳，金屋粧成，門闌喜色，畫屏影冷，銀燭秋光，入室受衣，秦國太慕，洋嶼關空，鑽夢普賢，女約馬郎，破微塵，出經卷，假四大作禪牀，加之論，其密用則法身五分，依佛竺土仙說，香譜按其家系，則正位一色，彷彿曹山，祖打商量，精神可掬，文彩已彰，心即是佛，佛即是心，燒葉爐中無宿火，寂而常照，照而常寂，折枝鏡裏憶新粧，端的報恩報德，畢竟非存非亡，是故三十三年前，逆順縱橫，變天堂作地獄，也得三十三年後，隱顯自在，變地獄作天堂，不妨事事無礙，法界刹刹，本有故鄉，金雞啄破鐵卵，石虎吞卻木羊，正與麼時，淑靈從光耀土起，現八吉祥，而唱甚深般若，曰：昔有護國珠名仁王，是乃覆蔭後昆，底要訣，即今如何承當去，大唐國裏打鼓，新羅人舞袖長。

見室妙性禪定尼二七日忌拈香

金香爐下鐵崑崙，擊碎將來直報恩，指點轉身那一路，淡烟翠竹繞江村，薩訶世界南瞻部洲，大日本國河州茨田郡中振鄉，今月二十有九日，伏值見室妙性禪定尼二七日忌之辰，吾徒團也來告老拙云：見室平生有博愛之仁，而於某如一子，某也於見室如阿母，厥德難報，厥恩難忘，以故設菲薄之奠，仍供佛齋僧之次，借手於老拙，焚一片妙兜樓，以伸供養，伏希禪尼憑這箇薰力，頓超九十億劫生死，速到無上正等覺園，夫惟見室妙性禪定尼，標格雪潔，襟懷春溫，藉藉家聲，梅是兄，馨是弟，昭昭淑德，蘭之子，蕙之孫，項上三百鐵枷，脫卻人天果福，腳下一條紅線，截斷佛祖命根，赤洒洒沒窠臼，淨裸裸絕籠樊，到這裏，全無彌陀可念，更無能仁稱尊，雖然恁麼地，如上許多陳葛藤，猶是生死岸頭事，別有向上圓極法門，如何覆蔭後昆，去，插香。

暮樓鐘鼓月黃昏，喝一喝。

清泰院殿常春宗榮大禪定尼一周忌香語

舉香，這常春木不知朝菌之晦朔，何屬著草之陰陽，開華靈鳥巖前，則邪氣妖氛，穿破諸聖鼻孔，託根野狐窟裏，則毒芽惡孽，爛殺列祖肝腸，薰於螺甲沈水，毒似烏頭砒霜，得枝者貴枝，多羅八萬藏錯標，月得葉者貴葉，好堅四十圍猶帶霜，葱葱鬱鬱，久久昌昌，信手拈出聊酬小祥，看看凝爲岐陽九月微雪，散作濟北一株蔭涼，咄，香嚴童子來也，聽對淑靈重唱祕章，女中堯舜，仰萱堂寵雨恩烟，解脫香捲起珠簾，高著眼，青山不改舊時粧，大日本國云云，大功德主三寶受戒弟子源朝臣六郎，享祿二年太歲己丑九月二十九日，先妣清泰院殿常春宗榮大禪定尼小祥忌之辰也，預就于般舟三味道場，集十員緇侶，修諸般白業者七晝夜，彫造大勢至菩薩尊像一軀，醍醐味經王，頓漸印讀若干部，圓通妙懺一座，水陸淨供一會，茲有一件奇事，大孝男源府君，從經王二十八品內，抽提婆一品，手自磨寫焉，紅心裏，紅心裏，一乘無價珠，繫以祕在，好手手中好手，五百塵點墨，磨何消亡，妙義不可說，功德不可量，諸仁未信，問取阿娘，自餘善利忌佛事迹，真詮祕咒之功驗，不遑縷陳，還他央庠底座主，今日正當散忌，虔備須彌香華，海水燈燭，鬼鳩殺佛跳牆，以伸廣大供養，仍延請赤鬚白足，圓頂方袍之輩，異口同音，誦演大佛頂光聚心佛所說無上神咒之次，命妙心小比丘宗休，焚此畢力迦，奉供養三世歷代，乃佛乃祖，上界下地，或天或鬼，一切含識等，伏願淑靈憑這箇薰力，不借慧海慈航，提誘諸趣，苦類同登心空場，共惟清泰院殿常春宗榮大禪定尼，天曆末裔，具平餘芳，芳聲美譽，坤軸式

載淡粧濃抹湖鏡不藏創祠院號清泰都譬如章提希觀七重寶樹賜溫泉爲膏沐邑恰似太真妃起一門諸楊龍舒居士記樂邦文類龜臺金母祝家運延長山河始終剪桐葉封小弟風流蘊藉愛蓮花稱六郎蓋源深則流遠矧時至而理彰今歸碧落之天搗藥失嫦娥於后羿昔遊赤松之地詠梅比婦人於張良群臣獻策決勝千里二豎作祟戕化他方長夜漫漫蕙帳猿鶴且驚且怨涼颼颼金籠蟋蟀堪悲堪傷政德治國雖同任姒壽夭在天弗異彭殤其來也放開線路其去也把定封疆難難出佛界入魔界難冷笑摩登伽誑慶喜易易髮女相成男相易熱瞞妙德尊度勝光不逢盤根錯節爭辨鈍鐵利鋒百億分身菖蒲現釋師子五逆消滅芭蕉觸香象王箇箇圓成實性塵塵本有家鄉雖然如此保祐後昆那一句只麼舉揚去臥龍龍奮迅丹鳳亦翱翔

逆卷前雲州太守春谷永源禪定門盡七日忌香語

吾有本來香一瓣無陰陽地長無根非烟非火又非木將此深心報佛恩大日本國河內州茨田郡居住奉三寶戒弟子孝男源朝臣宗綱天文五年六月初二日伏值先考前雲州太守春谷永源禪定門盡七日忌之辰今日預就于盛和精舍莊嚴梵筵營辦伊蒲淨饌供佛齋僧蓋酬椿府罔極之恩也當忌醫王善逝尊像彫刻者一軀七軸妙蓮漸寫者二部孝男宗綱所自書之本門壽量一品水陸妙供施設者一會三摩耶形造立者一基仍集六和慈藹衆慈尼異口同音諷演白傘蓋神咒之次命靈雲小比丘宗休焚斯小兜樓以奉供養三世十方諸佛西天東土列祖天衆地神冥主冥官三有九界苦類依草附木精魂等伏願尊靈憑這箇薰

力頓超生死大海永歸自性本源共惟某名威烈霜冷笑談春溫譬之於姚黃魏紫則且富且貴仰之於召棠萊柏則如亡如存建阿育塔開給孤園積善餘慶必及兒孫名翼搏空九萬里風北溟鯤化夢魂驚曉五十三年南柯蟻屯久苦青苗新法每憂稼穡艱難文王仁義釋迦現卑小丈六相維摩再生金粟入真俗不二門瞬息星移斗轉默處電卷雷奔淨裸裸絕承當合佛界魔宮生擒活捉赤洒洒沒窠臼和鶴樓鵲洲拳倒踢驢直印香嚴本寂豈待瑛羅平反故家喬木覆蔭後昆舉香看看何料平生臂鷹手黃金鑄出鐵崑崙

芳室妙薰禪定尼七周忌香語

稱千佛母老摩耶未足酬恩前釋迦薰徹黃泉穿碧落一爐沈水七梅花大日本國河州路茨田郡高瀨村富春院守塔宗仙天文六年龍集丁酉三月十二日伏值先妣芳室妙薰禪定尼七周忌之辰就于靈雲禪院虔備香華燈燭茶菓珍味營辦伊蒲淨饌以供佛齋僧之次命小比丘宗休焚斯爛枯柴奉供養三世十方諸佛西竺東震列祖鬼畜人天一切群迷等伏願淑靈憑這箇妙薰力提誘諸趣苦類俱到真如海涯夫惟某名蟠桃結實紫蘭茁芽雖感蘇內翰間富貴不奈靈照女無賴查超越群機佛界魔界衆生界誘引諸子羊車鹿車大牛車腳下斷紅線頂上脫鐵枷休休休修多羅教標月咄咄咄金剛眼睛撒沙薰風徐來珠簾半捲瑠璃滑紅雨亂落宮扇始開翡翠斜法無二法是正是邪香嚴本寂誰定誦訛插香看看東海赤梢鯉吞卻南山鼉鼻蛇

壽陽宗祝信女誦法華千部供養拈香語

古來錯被法華轉，轉得文文句句新。大藏五千餘卷外，爲君拈出一枝春。散說不錄，夫以誦經功德主，壽陽宗祝信女，昔退法席，今乘願輪，聽復講於十六王子，立化城於三百由旬，當體蓮警喻蓮，天台一夏談妙，無憂樹菩提樹，瞿曇九劫超倫，向鉞鋒翹足，飲醍醐沾唇，至聖命脈，列祖大機，悟之者得解脫，諸佛本懷，衆生直道，迷之者受沈淪，鷲子受靈山記，龍兒獻滄海珠，正宗流通銀世界，普賢示長男相，方便濟度金沙灘，觀音現婦女身，誦經聲洋洋乎盈耳，權鏡光熒熒然効顰，出門三種寶車，慧以多譏，書空七軸文字，棘木不真，或時踢倒寶所，或時把定要津，雪嶺草香生蘇味，熟蘇味兜率花發，此岸人彼岸人，圓頓速疾，開迹顯本，漸次修行，結果收因，雖然與麼，言前的旨如何指陳，插香，燕向爐中，果何物，白灰撥出玉麒麟。

壽陽宗祝信女逆修三十三白忌香語

咄箇幻人修幻緣，從初七到三十三年，爐香鑄出崑崙鐵，散作江南白鳥烟，薩訶世界，南瞻部洲，大日本國，河州路茨田郡功德主，奉三寶戒弟子宗祝，天文八祀龍集己亥歲，早懼當來苦報，逆修現在善因，始于初七忌，終三十三白忌，捨淨財，借手靈雲小比丘宗休，供佛齋僧之次，拈小兜樓一片，以奉供養三世十方諸如來諸薩埵，西天東土歷代諸祖師，天衆地神，日域六十六州大小神祇，鬼主鬼官，六趣四生，一切群類等，伏冀憑這妙薰力，上透青霄，下徹黃泉，加之現得安寧，後生親史，天記旂，夫惟預修功德主，壽陽宗祝信女，捨邪歸正，顯實開權，其與留功名於身後，不如修冥福於生前，百陋一殊，學壽陽公主之梅花，而呈含章面，三從五障，債秦國夫人之竹篋，債而慕洋嶼禪，藥爐經卷活計，荆釵布裙家傳，戒香定香，解脫香，莊嚴報土。

見濁命濁煩惱濁，污染心田，真如自性，清淨本然，晝降閻浮，夜歸率陀，廣寒宮裏攀桂，朝入伽藍，暮成正覺，無垢世界坐蓮，奴呼龜臺金母，婢視龍女華鮮，畫不成描，不就妙又妙，玄又玄，雖然恁麼，吾家別有長壽曲，把鸞膠續斷絃，去以香插爐云，欲見法身無相相，門前不改舊山川。

義峰宗卓禪定門十三回忌香語

曾從華屋落泉臺，露結爲霜秋幾回，回斡春風天八月，返魂香屬一枝梅，大日本國攝津路三島江村居住，奉三寶戒弟子功德主大江長能，天文十二年八月十有九日，家門伏值前左金吾義峰宗卓禪定門十三白忌辰，先甲三日，就于私第，莊嚴梵筵，一花一燈，一香一茶，供佛齋僧，修諸般白業，就中當忌尊大日覺王像彫刻者一軀，山頂經漸寫者一部，圓通妙懺修禮者一座，此外作善品目，載在僧官舉唱之中，今臨散筵，營辨伊蒲塞淨膳，南僧諷經之次，命靈雲休上座，焚這決願香，奉供養當忌尊大日覺王，三世十方諸佛，西天東土列祖師，天界地界水界大小明靈，日域大小神祇，冥府鬼主鬼官，三界二十五有，苦衆生等，伏希憑這開薰力，超五百由旬嶮難惡道，登四十二重摩尼殿，陔共惟禪定門道根熟矣，晚節難哉，任右京兆尹，則爭百八珠於大顛，露柱歌燈籠舞，任左衛門尉，則奪一條棒於德嶠，虛空消鐵山摧，雖有大乘之器，罕逢直指之才，淵明風流，黃菊猶存，今作故物，田真兄弟，紫荆復茂，昔用賢材，蝴蝶空縈，殘夢蟋蟀，暗助餘哀，十劫波前，坐智勝佛道場，盡是時人窠窟，一炷煙中，印香嚴童本寂，寧受世俗塵埃，須彌穿鼻孔，去舜若劈面皮，來社燕秋鴻，雲淡兮，渭北春樹，暮甲鷗乙鷺，天碧兮，江南野水，隈圓通境，漸入解脫門，頓開千佛廣額，拋下屠刀，豈待涅槃，拈拾五逆達多，授與記莢，莫

貪法華付財舉香這箇磨而不磷涅而不緇潤之以雨鼓之以雷全依他力長養聖胎看看摩訶般若波羅蜜兔角龜毛眼裏栽咄

心源宗清禪定門二十五年忌香語

地獄天堂夢蝶牀覺來二十五年光香消金鴨何飛去扭住鐵崑崙鼻梁大日本國山城州洛陽居住功德主孝女妙泉天文甲辰二月十有五日伏值先考心源宗清禪定門二十五遠忌之辰就于靈雲精舍資嚴法筵備香華燈燭茶菓珍饈以伸供養大乘妙典頓寫一部圓通懺摩一座水陸供一會仍集慈菴衆諷演首楞嚴神咒之次命休上座焚這妙兜棲奉供養當忌尊虛空藏菩薩三世十方諸佛西天東土諸祖日域大小諸神六趣四生一切群類等仰冀憑者箇薰力速乘解脫航夫惟禪定門器之瑚璉材也櫟樟起於南陽廬者孔明臥龍奮迅吸以西江水底龐老丹鳳翱翔不翅進出師表直得登選佛場高義薄層雲如松下見陶令聲價動寰宇似花中有孟嘗將謂魯多君子元來晉無文章踴倒五陰山則定策於涅槃後陣打破三界獄則掃迹於本覺故鄉恁麼不恁麼活潑潑沒拘束不恁麼恁麼淨裸裸絕承當雖然如是保祐後昆一句若何商量舉香海國乾坤潤蓬萊日月長

月江宗光禪定門小祥忌香語

舉香晚梅二月折殘枝信手今朝拈出來風笛一聲花落盡三千世界暗香吹扶桑國山城州洛陽居住功德主宗清信女天文甲辰初秋十三日伏值月江宗光禪定門小祥忌辰預於今日飾梵筵集清衆諷演白傘蓋之次借手於休上座焚這小柴片奉供養諸佛諸祖諸衆

生等所希頓超苦海速到彼岸夫惟某名一棚俊鶻千里烏騅宋先生曾作日本歌今尙存矣融大臣始賜源氏姓氏具瞻之不翅斥鹵桑田變矧復夕陽花塢遲降生死魔則指麾竺乾猛將殺煩惱賊則鼻笑棘門戲兒家業學書學劍虛名如斗如箕槁木死灰或時呵莊座主稱羅漢聞桂悟道或時逼黃詩祖陷泥犁吾無隱汝君說向誰南海沈檀燕卻一爐其功德不可說不可說西方法華頓寫七軸其妙理也太奇也太奇山露此郎面目天感阿母慈悲若認聲色有甚了期這裏無面目又無慈悲舉香看看金鳥飛出陽谷鐵馬跳上須彌

宗璣禪定門一周忌香語

落葉兩三片拈作本來香八百鼻功德遍界不曾藏

臨濟寺殿用山玄公大禪定門十三回忌陸座於駿州大龍山臨濟寺修之

大龍再現大人身舉香乘這香雲忽脫鱗吞卻十三華藏海吐成臨濟百花香
垂語 祖師因甚西來蕉葉聽雷展佛法因甚東漸葵花向日傾小玉小玉只要檀郎認得聲參有僧(梅室座元)出衆問云正法輪轉隨芳草逐落花大施門開入檀林出荆棘更示密旨願應來機師云天鑑無私進云洛陽牡丹新吐藥師云大似春意進云大功德主源府君今月十七日伏值臨濟寺殿用山玄公大禪定門十三回忌景拜屈大和尚陸座說法未審說什麼法師云今日好晴僧云記得鎮州府主王常侍請臨濟慧照禪師陸座即云此日以常侍堅請那隱綱宗如何是不隱底綱宗師云吾宗無語句又無一法與人進云大和尚今日受吾源府君請爲臨濟寺殿陸座謂之賓主互換乎師云戲海猛龍摩霄俊鶴進云與麼則觀彼久遠猶如

今日師云、日月垂秦樹、乾坤繞漢宮、進云、三尺吹毛定寰宇、師云、阿刺刺、進云、四叢圍繞、問世優曇、謹謝答話、師云、月從雪後皆奇夜、天到梅邊有別春。

提綱、元亨利貞始於一氣、常樂我淨本乎一心、心法無形、蕩蕩乎充塞宇宙、面前有物、昭昭爾輝、騰古今、乾馬坤牛、猶不覆載、坎鳥離兔、何敢照臨、絲是毘盧先天、善財後天、空裏結紐、靈山指月、曹溪話月、海底摸鍼、六白冷坐勞佇思、百城煙水費參尋、爾來効少林、鑿石女吹無孔笛、識靖節趣、木人奏沒絃琴、露柱歌燈籠舞、山花笑野鳥吟、未逢妙旨、全絕知音、正與麼時、拈杖、牀角有拄杖子、不入他保社、忍俊不禁、慈路出來、吧吧地、道能殺能活、能縱能擒、遠法師因甚、不過虎溪、被山僧拶著、目瞪口呆、雨打池蓮、十緇八素、無繩自縛、風吹岸柳、六凡四生、點鐵成金、畢竟非空非色、元來無陽無陰、正好打破葛藤窟、剷除荆棘林、卓一下、若不登樓、莫爭知滄海深。

散說、大日本國駿州路居住、大功德主源朝臣義元、天文十七年三月十七日、伏值先君臨濟寺殿用山玄公大禪定門十三白遠忌之辰、就于本寺莊嚴道場、先甲七日、命十員緇侶、晨香夕燈、晝經夜禪、修諸般白業、以伸供養、當忌尊大日如來像彫刻者一軀、圓通懺摩修禮者一座、水陸妙供施設者一會、法華經王頓漸書寫者如干、大功德主本門壽量自書者一品、今當散筵、營辦伊蒲塞淨膳、謹集清淨衆、諷演白傘蓋無上神咒之次、拜請雲居天上之三秀堂頭和尚、燒鷓鴣發鯨吼、副命野桃花下之靈雲比丘宗休、乘塵拂作驢嘶、因檀命也、共以大禪定門人中杞梓、名上梧桐、水尾之流、賜源姓、承多田滿仲、淺間之雪、詠和歌獻普廣相公、此郎

武門閥閱、其先亂世英雄、襄仁義裳、升吾堂兮入吾室、續箕裘業、讀父書兮有父風、領取駿州太守、割據鴻溝、以東魯直、齟齬碧瞳、現鳥跋千年之瑞馬、溫瑠璃皎佛、比牡丹一日之紅、屈膝王侯、貴介誦名、走卒兒童、貧不諂、富不奢、一揚二益、三京四汴、近者來遠者服、南蠻北狄、東夷西戎、坐宣幕下、遊羿殼中、滕王蛺蝶穿花、依稀相似、張顛驚蛇入草、彷彿不同、心正則筆正、畫工者詩工、春陰十萬營、透細柳圈、雲夢八九澤、吞栗棘蓬、胸襟洒洒落落、佳氣鬱鬱葱葱、加之連聲叫、兄鼉山昔時成道、他方戢化、雄峯同日示終、隻履塵地、雙劍飛空、活鱖沒拘束、淨裸裸絕羅籠、此是大禪定門從前間絡索、茲有四事、筆供養、一一揚舉去、其第一云、卽身大日法中王、朝照扶桑、暮落棠、不信出頭天外看、人人腳下一靈光、是謂阿字之筆供養乎、其第二云、過去如來正法明、耳根清淨、眼根清、楊枝洒水、兩三點、饒舌黃鶯、懺悔聲、是謂音聲之筆供養乎、其第三云、大地廣開甘露門、和風供上插黃旛、冤親平等、曲終後、倒十恒河、一口吞、是謂大盆小盆之筆供養乎、其第四云、虛空是紙、月毛錐、無字經、王錯寫來、可笑秀能分頓漸、南枝春早、北枝遲、是謂頓書漸書之筆供養乎、更有那一事之筆供養、供養三世佛、三世佛敢不受、供養六代祖、六代祖敢不受、供養三十三天衆仙、衆仙亦不受、供養六十六州諸神、諸神亦不受、未審大禪定門、卻受麼、別別金剛眼睛、在源公筆頭上、收拂叉手、謹謝供養。

自序、宗休、楞櫟遺韻、蒲柳衰容、取笑傍人、凌千里、蠅附驥、越位流輩、登三級、魚化龍、豈合大士講經之內證、叨攀世尊、陸座之前蹤、枉賜恕宥、莫罪愚忝、忸怩忸怩。

檀謝、陸座之次、共惟、大功德主、海壇馬子、砥柱鳳雛、薔薇古洞、留春、蚤慕、謝傅、梅花門戶、掩

雪晚訪林逋，奈彼蒼生盼首拜。他白足赤鬚，一卷兵書，盡美矣。盡美矣。半部論語，執御乎。執射乎。必稱八州都督，況乘三世相樞，法門英檀，如匿王受佛敕，在家菩薩，似大帝護。吾徒願保華甲，仰祝蘿圖。

總謝。又惟四來高賓，一會海衆，諸位禪師，文經武緯，諸尊官，得得來也。貫休三千指醉花，堂堂去也。雙徑五百衆繞樹，仰之高於御前山，譬之清於僧中月。若罄褒讚，恐瀆尊聽，各乞昭亮拈提。記得僧問雲門，不起一念時，卻有過也否。門云，須彌山子細點檢，兩箇胡獠探水月，休上座亦管中窺豹，得其一斑，百億迷盧一念間，等閒踢倒入東關。呵呵，拍手初相見，富士彌高吾用山，久立珍重。

斑秀才一周忌香語

命一庵衆爲斑秀才諷經，山僧舉一香云，這箇是人人具足，本來圓成底，喚作什麼。衆下語，山僧咄云，不是，遂偈而充小祥之供云。

風前柳惹去年恨，雨後花摧今日腸。非柳非花果，何恨本來鼻孔本來香。

秉炬

月巢初公座元下火

龜哥報道八月吉，吾首座行腳了畢，可惜一朵玉芙蓉，秋風吹作紅爐雪。夫惟新圓寂，月巢座元，籌室先登，風塵表物，折臂學醫，願神得術，二株煖桂，卜地則覆蔭後昆，一杯紅杏，酌春則追慕前喆。弗翅發德香，矧復保初節，保晚節，或時繫真珠於衣裏，在凡同凡，或時按寶劍於眉間，逢佛殺佛，顛頂儻侗，眼睛烏律，加之挂鉢，搥拄杖，鑽之彌堅，仰之彌高，透金圈吞栗蓬，涅言不生，槃言不滅，咄咄，籠絡馬面，夜叉，玄玄，鞭笞牛頭，獄卒，畢竟如何。萬法歸一，一亦莫守，首座還委，悉麼，拋火把，摩訶般若波羅蜜，甚深般若波羅蜜，喝一喝。

季友契公首座下火 二月六日

涅槃活路，瞎驢邊先老，瞿曇著一鞭，七十六年，率陀夢，春禽聲裏，夕陽邊，夫惟某名，胸吞雲澤，姓出芥川，全機不覆藏，或時飄案石頭，參同契，內外無瑕翳，或時覘破圓鑑，九帶禪，這箇消息，從那裏傳加之，在聖同聖，在凡同凡，秋菊春蘭，寧其易地，逢佛殺佛，逢祖殺祖，清風明月，元是同天，步步踏斷，毘盧頂，明明透脫，威音前，色即是空，說什麼，鑊湯爐炭，空即是色，論甚麼，清淨本然，契首座契首座，行腳事且置，如何是汝生緣，倘復未會，試聽山僧敷宣，拋火把，舜若多神，叫希有，火蛇吐出盡三千。

玉照寶公首座下火

形山一寶鐵團圓，竊直回光返照看。鍊出千秋西嶺雪，丙丁童子面門寒。夫惟某名，林間蘆菊，夜裏梅檀開。文武爐，爆徑山一粒烏喙，破生死窟，拈佛日三尺黑蛇，過與禪板，倒卻利竿，淨裸裸絕承當，破戒比丘不墮地獄，赤洒洒沒拘束，清淨行者不入涅槃，向上轉去，莫涉多端，會麼？拋火把，妙處欲言不及，月移花影上欄干，喝一喝。

潛龍看公首座下火

昨夜潛龍起窟蟠，青天霹靂惡波瀾。無端吞卻乾坤去，吐作十三紅牡丹。

慧曇都寺下火

雙林樹下老瞿曇，生死無根胡亂談。八十餘年春一夢，巖花落地雨毵毵。

松壽茂公藏主秉炬

扶起吾臨濟正宗，清陰繁茂一株松。夜來不借風雷力，吞卻乾坤化大龍。夫惟某名，賴頑手段，廓落心胸，急管畫催，賞花於宜春苑下，珠簾暮捲，翫月於大雲山中，一生消何物，自由任渠儂。加之四十一年，溫而厲，恭而安，鍵鑰掌大藏小藏，三祇百劫，呼不回，留不住，柳棟入千峯萬峯，且道藏主畢竟落在何處，拋火把，生死涅槃猶昨夢，城樓殘角寺樓鐘。

娛岳歡公藏主下火

蹈躡歡喜地，打破涅槃城。轉身那一句，月白又風清。夫惟某名，峻機電卷，淵默雷轟，知見即無明，看過安楞嚴句讀，世間相常住，惹得言法華虛名，流水廣長舌，大地活眼睛，父母未生已前，

只恁麼，落花三片兩片，百年壽盡已後，只恁麼，脩竹一莖兩莖，藏主藏主，會便會，莫涉多程，雖然如是，別有向上關楔子，且待山僧施呈去，拋火把，勝熱婆羅門拍手，驚倒烏有老先生。

雲峯宗潘藏主秉炬

古今天地一蘆蘆，生死涅槃總是虛。劈破華山千萬朵，任他潘閻倒騎驢。藏主藏主，歸歟歸歟，若未知真歸處，枯腸盡底說向渠去，莫認殘鶯成杜宇，江城五月月昇初。

不昧宗光藏主下火 少林派

萬里無雲三十棒，千江印月一靈光。少林別有春消息，火裏梅花遍界香。夫惟不昧宗光藏主，釋門釋種，法社法梁，四十七年前，在僧房逢著，蕊冬花發，四十七年後，入禪林，扶起蔭涼樹，僵或時伽耶寂光穩坐地，或時兜率閻浮遊戲場，鑽之堅仰之高，金剛眼睛烏律律，描不成畫不就，本來面目露堂堂，踢翻生死海，打破菩提坊，雖然恁麼，這裏非停住處，且向那邊商量，拋火把，演若何曾認影，善財不行南方，喝一喝。

宗柔上座下火 大永壬午仲冬十四日

剛勝柔兮柔勝剛，剛柔總不屬陰陽。一場富貴一場夢，覺後牡丹冬日香。宗柔宗柔，一切善惡，都莫思量，汝若涉思量，有天堂有地獄，非思量處，無地獄無天堂，何物恁麼來，何物恁麼去，畢竟是非存，畢竟是非亡，木馬嘶雪，華鯨吼霜，還會麼，擲炬安禪，未必須山水，滅卻心頭火，自涼喝一喝。

無性能聖淨人下火

夫以真如法界無性爲性，實際理地不來而來，是故三世了達能仁鶴樹示滅，七地積行菩薩龍門曝顯，或時鐘樓上念讚，或時僧堂前挂牌，一夢一場，電轉星飛，究明已事，六十六年霜辛雪苦，長養聖胎，蕭寺秋風，曳弊皮履而步月，林丘斜日，擊塗毒鼓而轟雷，火首金剛怒發，睛燈籠笑哈哈，正與麼時，能聖淨人燒作一堆灰，灰身滅已，何處安排，倘復未委悉，山僧爲渠舉哀，拋火把，振轉廓然無聖位，山河大地絕纖埃，卽今若要冷相看，打破曹溪明鏡臺，喝一喝。

能久淨人下火 永明院

久遠劫來只這是，金烏玉兔不曾移，如今枕上無閒夢，大小梅花一任吹，夫以某名，護惜常住，天鑑無私，密付傳衣，瞞卻嶺南村獠，獠禮拜卷席，曳回百丈野鳴兒，機輪轉處魔外難窺，不風流處也風流，銀山鐵壁百雜碎，有意氣時添意氣，鑊湯爐炭清涼池，臘月三十日，眼光落地時，還會麼，說什麼會不會，還知麼，論什麼知不知，雖然恁麼，更有錢行一句，如何指麾，拋炬，永明門前湖水漫，慧日峯頭夕陽遲，咄咄。

月窟玄清庵主秉炬

清寥寥地絕纖塵，活路通時急轉身，七十餘年吟未了，風花雪月本來人，夫惟月窟玄清庵主，幻生幻滅，全假全真，續歌於山邊赤人，則風流有種，賜姓於水尾天子，則意氣絕倫，有時松下磨喝道，有時梅邊置別春，加之庵主毒拳，趙州強辨，深淺宗師，玄妙洞山，誤分君臣，窮而堅老，而壯，涅不縑磨不磷，與麼時節，諸人試看，月窟庵主，向火焰裏轉大法輪，擲火把，白灰撥出紅麒麟，喝一喝。

觀禪人下火

夢幻空華如是觀，轉身活路太無端，山僧別有送行句，十日黃花不折殘。

道空禪人下火

倒籬筋斗太虛空，生死涅槃路不通，別有送行那一句，梅花依舊笑春風。

大藏寺主宗玖尼首座下火

大藏五千餘卷經，涅槃生死說叮嚀，南方佛法無多子，火自紅兮柴自青，夫惟大藏寺主宗玖尼，竹持晚節，菊制頽齡，雙放雙收，具劉鐵磨手段，三歸三聚，存大愛道典，刑咄法身，喝正覺，罵雨師，叱雷霆，蝶舞海棠風，佛界魔宮半醉裏，雞聲茅店月，地獄天堂一旅亭，了了了時，不慕諸聖，玄玄玄處，不重己靈，石女打破業鏡，木人踢倒淨瓶，大姊若要知，向上事，截斷耳根，諦聽諦聽，聽拋火把，築著帝釋鼻孔去，輕羅小扇撲流螢，喝一喝。

密中祥堅禪尼下火

大地都盧堅密身，本然清淨絕縹緲，紅爐一點寒巖雪，熱鐵花開四月春，夫惟某名，袈裟勃窣，標格精神，愛牡丹於吉祥寺前，如夢相似，期法華於兜率天上，厥命維新，生死涅槃，放開線路，迷悟凡聖，把定要津，加之婆子勘破，恁麼便去，倩女離魂，那箇是真，長天兮疎雨濛濛，漆桶光歷歷，大野兮涼颼颼，燈籠笑閭閻，快活自在撥轉機輪，此是祥堅禪尼六十二年，受用不盡，底閒絡索，別有向上圓極法門，聽山僧指陳拋炬，鴛鴦繡出任君看，莫把金鍼度與人。

妙意禪尼下火

都盧大地涅槃門，線路通時絕意根。繡出鴛鴦君自看，元來無縫鐵崑崙。夫惟妙意禪尼，出生入死，顧子思孫，南天台北五臺，驀直轉去，婆子勘破，晝閣浮夜兜率，那箇真底，倩女離魂，彌陀佛乾屎橛，正法眼破沙盆，洒洒落落，何處不稱尊，拋火把喝一喝，欲知諸佛出身處，月穿潭底水無痕。

古帆性順禪尼下火

不涉順緣兼逆緣，春閨夢裏百年遷。說生說死都來錯，依舊斜陽在我西。夫惟古帆性順禪尼，性地平等，心月孤圓，默處藏雷，毘耶杜口，退散花天女，智海無底，文殊說法，度獻珠華，鮮涅而不緇，鑽之彌堅，清淨法身，漱奇石，枕流水，成等正覺，喝白雲棒，青天與麼時節，論什麼七回八凸，說甚麼五蓋十纏，淨裸裸赤洒洒，妙又妙，玄又玄，莫認者箇，轉過那邊，向上有事，爲汝敷宣去，擲火把，臨濟命根元不斷，一條紅線手中牽。

芳心禪尼下火

芳心芳心，過去心不可得，現在心不可得，未來心不可得，祇箇不可得心，不可得中，只麼得去，本來無東西，何處有南北，若欲識真歸處，看取山僧一句，移花兼蝶，到達磨道，不識，咄一咄。

了善禪尼下火

了善了善，諸惡莫作，衆善奉行，鉞鋒頭上，鬪筋斗，衆善莫作，諸惡奉行，吹毛匣裏發冷光，畢竟說什麼諸惡，論什麼衆善，正與麼時，變成男子，卽往南方，以何爲驗，拋火把，火裏蓮華，逼界香，喝一喝。

妙善禪尼下火

妙善妙善，呼喚不回，燈籠昨夜跳上天台，快活快活，奇哉奇哉，出生入死，放去收來，月白風清，鑊湯爐炭，吹教滅，電卷雷走，劍樹刀山，喝便摧，大地無寸土，何處惹塵埃，拋火把，喝一喝。

芳荃和露碎秋風，我說因緣諸法空，無所從來無所去，透天活路爲君通。

石雲庵主太玄宗白居士下火

不住洞然明白境，太虛空外轉機輪。天堂地獄鐵爐步，火裏梅花陶鑄春。夫惟石雲庵主，晉後徵士，周餘黎民，一杯兩杯春風，消桃暗李，明麤俗，二升三升野水，愛草頭木脚底人，遊目於閒雲幽石，混跡於紫陌紅塵，或時登龐憩亭，酬衆籬價，或時入遠公社，修香火因，念西方界合掌，向北斗裏藏身，截鐵斬釘，昔非生，今非滅，鍊金鍛玉，涅不緇，磨不磷，玄玄玄，罵佛呵祖，咄咄咄，絕比超倫，金剛王光燦爛，昆侖奴黑鱗，雖然恁麼，保祐後昆，那一句，休上座爲爾指陳，拋火把，提不起，拈不出，山風溪月自家珍。

玉浦宗琳居士下火

湘中曾產這琳琅，烈焰堆頭忽現光。今日一鎚鎚碎看，薔薇雨過送微涼。夫惟玉浦宗琳居士，心如金石，材得棟梁，全機難藏三尺劍，清四海孤帆未挂，一葉舟載大唐，南其貧北其富，昔不生今不亡，五十四年前，逆行順行，以天堂作地獄，五十四年後，左轉右轉，以地獄作天堂，加之扣洋嶼祖翁禪，觸著玩蛇毒，示維摩居士病，掀倒獅子牀，默雷破柱，威風掬霜，活觸觸無拘束。

淨裸裸絕承當，此是宗琳居士尋常受用底，別有新調，何落宮商，舉火把，開麼，木人高奏還鄉曲，百億須彌舞袖長，喝一喝。

前越州太守西河梵照居士下火

吹毛照雪勢凜然，生死元來絕兩邊，倒跨西河獅子，一聲吼破率陀天，共惟前越州太守，稱名下士，參教外禪，兄弟與田真家，紫荊花發，父子侍源君府，碧梧枝連，三玄戈甲，齊行照用，五位槍旗，回互正偏，錯錯猶就錯，玄玄莫認玄，端的底會耶，不會這箇事，傳耶不傳，向上那一句，聽山僧敷宣，拋火把，鐵蛇鑽不入，木馬走如煙。

壽岳宗永信男下火

百年三萬六千日，空合空時空不空，無所從來無所去，舉頭西畔夕陽紅，夫惟壽岳宗永信男，見桃花參靈雲勤老，入蓮社慕廬山遠公，生也寒雲抱幽石，死也明月拂清風，轉身一路，吾爲他通，拋火把，上無攀仰，下絕己躬。

義峯宗卓禪定門下火

卓然忠義薄層雲，一掃魔宮百萬軍，無所從來無所去，舉頭西嶺又斜曛，夫惟新物故義峯宗，卓禪定門，武門閔闔蓋代功勳，青苗法新，厭熙豐未爭黨，丹心灰冷，願唐虞上致君，付百年榮於蟻垤，失千里材於馬群，加之意氣堂堂，殺佛殺祖，趙王好劍，威風凜凜，轉凡轉聖，郢匠運斤，匪管滅濟北宗旨，矧復靜江南楚氛，如幻卽空，芭蕉樹無堅實，當位卽妙，薔薇林絕餘勳，和卻龐老江水吸盡，靠倒摩詰雨華繽紛，真俗不二，邪正不分，雖然恁麼，要到大休歇田地，寒斷耳

根，汝試問，拋火把，夜來何處火，燒出古人墳，喝一喝。

月心安生禪定門下火

生死涅槃大脫空，踢翻佛界與魔宮，歸歟臘月三十日，火裏蓮華帶雪紅，共惟月心安生禪定門，風流太守，亂代英雄，因法社金湯，弗忘鷲嶺付屬，受正傳衣鉢，久慕龍安祖風，其父資始，是子慎終，自性本源清之，不激，濁之不濁，平生事業，入則有孝，出則有忠，黃巢過後，還收得劍扶桑，那畔高挂弓，到這裏說什麼真諦俗諦，論什麼有功無功，羅籠不住，電光閃通，雖然與麼，有頑石未點頭，以前那一著，卽今呈示生公去，拋炬看看，夜來金烏出海東。

德雲院殿通叟宗普大禪定門下火

功名四海一英雄，今日看來春夢中，末後牢關留不住，馬蹄去逐落花風，共惟德雲院殿襟胸洒落，機智玲瓏，參得南昌禪兄，倒拈無孔笛，追討西岡凶賊，高挂一張弓，克文克武，有孝有忠，煩惱菩提笑，黃庭堅墮泥犁獄，真如解脫，欺白居易歸兜率宮，忽離邪正途，轍頓出生死羅籠，心觀通鼻觀通，蟾桂吹三月雪，佛見盡法見盡，牡丹著閏年紅，了了無可了，空空空，不屬空，雖然溷麼，向上宗乘事，作麼生研窮，拋火把，崑崙夜裏走，驚起丙丁童。

春谷永源禪定門秉炬 逆卷氏

了卻無生一大緣，本源自性不曾遷，臘人鍊出安居雪，熱鐵花開火裏蓮，夫惟某名，常光寂爾，和氣溫然，文經武緯，以才名稱，詞華言葉，使和歌連，綠蕪吹霜，或時臂鷹牽犬，而愛原野，青萍漂水，或時撈蝦撿蜆，而臨深淵，觀世間相，參教外禪，截生死流，寶劍出匣，破群魔境，聖箭離弦，

有餘涅槃，無餘涅槃，起波瀾於平地，棒下正覺，喝下正覺，轟霹靂於旱天，成佛豈待靈運後，行道已在威音前，呼喚不回，泥牛戰入海，羅籠不住，木馬走如煙，逆順縱橫，卷舒自在，仰之彌高，鑽之彌堅，雖然，恁麼，保祐後昆，底一道神咒，丙丁童子如何敷宣去，拋火把，揭諦波羅僧，揭諦，夕陽長在海棠西，喝一喝。

清源院殿了然廓公大禪定門秉炬 大永乙酉仲冬九日

少年四海稱英雄，今代麒麟第一功，不待太虛空落地，倒鞭鐵馬月明中，共惟新捐館清源院，殿了然廓公大禪定門，疾蹄未試，名猷高冲，其源也濫觴乎水尾，其府也惣管乎日東，張無盡決，末後事於龍安，連牀夜話，機相合，鄭了然呈本來面於洋嶼，入室暮請毒毒以攻，丈夫出處雖異，大人境界維同，去年探梅定策江南，身染黃瘴，今歲折柳惜別洛北，聲哭蒼穹，騎象脫鶴崙袴，追犬押兔角弓，煩惱菩提，掃花坐涼，汲井消醉，真如實相，尋根種電，求影栽風，此錯彼錯，錯錯錯，是空非空，空空空，白拈金剛王意氣冷，青林丙丁童子面門紅，從前閒絡索，還佗廓公，卽今清源那一滴，如何爲君通，拋火把，色色元來只仍舊，曉霜染出滿山楓，喝一喝。

龜策宗壽禪定門下火

幻生幻滅本來空，二十餘年春夢中，鐵馬等閒著鞭去，須彌百億落花風，夫惟龜策宗壽禪定門，摩霄俊鶴，亂世英雄，續入江家業，奉細川源公，殺盡佛魔，淬青萍三尺，及學得文武，挂扶桑一張弓，淨裸裸絕承當，玄沙破阿鼻獄，赤洒洒沒窠臼，白傅歸兜率宮，塵塵解脫，法法圓融，雖然，恁麼，向上那一句，端的如何通，拋火把，尺二眉毛燒卻了，丙丁童子面通紅，喝一喝。

溫室淨球禪定門下火

天球不琢本來圓，一段靈光輝大千，七十二年間受用，和風吹落火中蓮，夫以某名，功名已遂，德齒兼全，忠孝狀元，父爲父，子爲子，騎射要術，妙之妙，玄之玄，僉曰稼穡民種，足稱箕裘家傳，倒提三尺吹毛，眼空四海，高唱六字密號，舌挂梵天，蓋雖淵明辭遠公社，遂得韓愈參大顛禪，是故在聖不增，小樹小皮裏，在凡不減，大樹大皮纏，突出威音外，何墮法身邊，與麼時節，生死涅槃，芭蕉葉上無愁雨，菩提煩惱夜合花，前日又西，燈籠跳入露柱，虛空走駕鐵船，快活自在，意氣凜然，這箇是淨球禪門，眞履實踐之處，別有向上一竅，山僧急著霹靂鞭，火把打地，叱泥牛耕破瑠璃地，木馬飲乾明月泉。

妙法寺殿前豐州太守義海超公大禪定門秉炬

一超直入涅槃城，鐵馬金鞭致太平，滴盡袈裟無限淚，感花驚鳥兩三聲，夫惟新捐館妙法寺殿，葛原枝蔓芥河茂英，某祖昔軍東關，名下無虛士，此郎今屯西塞，胸中有甲兵，將謂化蝶莊子，何事臥龍孔明，丹心一寸灰，葵花影隨日轉，吹毛三尺劍，珊瑚枝和月，樓塵塵解脫，箇箇圓成，畢竟如何，非空非假，元來只寧，無滅無生，青混沌穿鼻孔，火金剛怒眼睛，前件是妙法寺殿，三十七年眞履實踐處，枯腸盡底傾，欲重說秘密神咒，保護香孩兒營，拋火把，力因希咄咄，虎逢山色長威聲。

宗得禪定門下火

生也不可，得何物恁麼來，死也不可，得何物恁麼去，宗得宗得，四大分離，向何處去，若復未會，

且聽山僧恁麼舉，月落元來不離天。花外敲殘鐘數杵，喝一喝。

柏堂常盛禪定門下火

打破涅槃明鏡臺，清寥寥地絕纖埃。無消息處有消息，佛法南方一點梅。夫惟常盛禪定門，進退以禮，短長掄材，在國家全盛日，了人間殘夢纔。是故扣衲雲禪號，柏堂雪消山骨露。慕惠遠師，修蓮社，池成月自來。情泯識盡，形枯心灰。朝三千暮三千，喝轟棒打，春六十秋六十。葉飛花開，忽常眼光落地，直得意氣走雷。常盛常盛，恁麼去，恁麼去。呼不回，呼不回。何不回麼，喝，更聽山僧舉。哀，拋火把，臘月扇子打跏跳，燈籠沿壁上天台。

德叟全勝禪定門下火

百勝百戰一英雄，收得從前汗馬功。汗馬功成追不及，涅槃城破落花風。夫以全勝禪定門，胸次礪隄，心內玲瓏。受衣安名，蚤參見相國王和尚，秉炬說法，晚逢著松源岳叢翁。罵芭蕉，罵外雨，指牡丹庭前紅，吞三世諸佛，不屑龐居士。吸江口，尚乳臭，降百萬魔軍。會輕馬，伏波破虜，代異名同，不怕地獄。何愛天宮，捏目生花，生也錯，死也錯。將錯就錯，都來錯。吹毛照雪，人已空。法已空，以空遣空，畢竟空。燈籠跳入露柱，石女仰哭蒼穹。雖然恁麼，保祐後昆。底活句，如何爲他通。拋火把，丙丁童子來求火，夜半金烏出海東。

天屋淨幸禪定門下火

不幸顏淵三十四年，轉身一路，臘雪連天。夫以某名，天下奇士，區中良賢。三十四年前，以不生爲生義，寒雲抱幽石。三十四年後，以不死爲死義，火裏汲清泉。快活自在，頓離塵緣。鐵雞追不

及，木馬奔如煙，淨幸淨幸。末後一句，錯果然。拋炬，呈露梅花真面目，夜來月在屋頭邊。

南叟宗參禪定門下火

佛法元來無可參，善財何事強尋南。知非四十餘年後，錦是山花水是藍。夫以某名，久參禪旨，不打俗談。四十餘年前，罵佛呵祖。四十餘年後，育女生男，破生死陣。試周宋鐸，依佛雪裏芭蕉樹，彷彿火中優鉢曇。到這裏，說什無明煩惱，論什澗愧林慙。劍樹刀山，喝則碎，鏝湯爐炭，吹則堪。黑漫漫，白漫漫。前三三，後三三，更有真歸處。即今不甘，拋炬，當頭霜夜月，任運落激潭。

禪寶禪定門下火

這箇一寶祕，形山乾坤大地載不起。百雜碎矣，鐵團圓。火裏牡丹新吐蕊，禪寶禪門，還識這箇一寶麼。吾無隱爾，本來圓成。豈假直指，是故在凡不滅。涅槃會上，廣額兒拋屠刀。在聖不增，普通年中，赤鬚胡，失隻履。大藏小藏，逼塞虛空。有利無利，不離行市。木人唱歌，石女側耳。快哉快哉，已矣已矣。禪寶禪寶，從生到死，只是是，拋炬，不是不是。露春風桃李，一以貫之。曾子曰：唯唯。

蘭庭常秀禪定門下火

苗而不秀，一庭蘭。初節易移，晚節難生。鐵崑崙空裏走，青天白日黑漫漫。夫惟蘭庭常秀禪定門，黃金出鑛，白玉點盤。霹靂當空，學兔角弓於石鞏。清風拂月，還犀牛扇於鹽官。超真俗諦，絕佛祖瞞。觀面提持，梨花溶溶，柳絮淡淡。皆證圓覺，菱角尖尖，荷葉團團。鼇山頻叫，成道鶴林。假示涅槃，轉身一路。莫涉多端，拋火把。五月紅爐落梅雪，丙丁童子面門寒。喝一喝。

金溪久玉居士下火

黃金擊碎玉團圓，鏡未拈先著隻看。看看歸來無一事，遠山雨過夕陽殘。

蘭谷宗秀禪門下火

春蘭秋菊秀聯芳，長惡芽根七十霜。今日爲他添意氣，掀翻地獄與天堂。

趙千禪門下火

大千世界壞成空，從此泥洹一路通。花落花開是常事，杜鵑誤恨五更風。

月江宗光禪定門下火

一刀兩段太虛空，閃電光中絕已躬。到得歸來無別事，荷花照水夕陽紅。

悟岳宗徹禪門下火

本來自性本來無，大徹還他大丈夫。三尺吹毛不會動，月明挂在碧珊瑚。

宗祐禪門下火

鴻山靈祐一頭牛，脫卻鼻繩高叫牟。石火電光追不及，乾坤無處覓蹤由。

某甲下火

百年壽盡底時節，卽是金剛不壞身。蹈倒丙丁童子看，野花啼鳥一般春。

禪珍下火 拍鼓藝士

須彌槌擊虛空鼓，白日青天吼若雷。翻作無生那一曲，木人火裏舞三臺。

高仲宗功禪門下火

用盡從前汗馬功，平來佛界與魔宮。凱歌一曲還鄉路，雨過芙蓉朵朵紅。

宗玉禪定門下火

一顆白玉價直三千，不磨不琢元自天然。

古雲慈心大姊下火

剎那三萬六千日，放下身心君自看。觸著紅爐雪一點，丙丁童子面門寒。夫以古雲慈心大姊，不來相而來，鐵壁迸開雲片片，不見相而見，黑山輾出月團團。地獄天堂開家具，生死涅槃不相干。向上轉去，莫涉多端，正與麼時，畢竟如何得平安去。拋火把，十洲春盡花凋殘。

梅屋理常大姊下火

堅固法身常住相，旋嵐倒嶽不曾遷。馨香遍界從斯起，紅白花開火裏蓮。夫惟梅屋理常大姊，領旨言外，撒手那邊，活捉生擒，無著敲洋嶼室，戒皮定肉，總持參少林禪，脫千萬劫羈鎖，了大事因緣，淨裸裸絕承當，泥牛耕破瑠璃地，赤洒洒沒拘束，木馬飲乾明月泉，向上一路佛祖不傳，雖然恁麼，別有真歸處，試聽山僧敷宣，拋火把，露堂堂活鱖鱖，鍼眼魚跳上天。

春溪智雲大姊下火

六十九年忘世紛，珠簾玉案醉醺醺。轉身自在沒窠臼，喝散率陀青色雲。夫惟春溪智雲大姊，始終貞節，末後慇懃，則天萬乘之尊，大雲山中稱真彌勒，摩耶千佛之母，毘藍園裏產老迦文，元來不干生死，歷劫何論功勳，處處真處處真，前臺花發後臺見，剎剎爾剎剎爾，上界鐘清下界聞，聞麼，十方薄伽梵，一路涅槃門，露。

瀉山理祐大姊下火

百歲一場春夢婆，聲前薦得竟如何。豁開諸佛出身路，生鐵崑崙雲外過。夫以某名，身觀鳥有，口誦貝多，電光無根，透牢關句於末後，空華結實，滅阿鼻業於剎那，休休，涅槃鏡不重照，咄咄，吹毛劍急須磨，正與麼時，大姊還開麼，拋炬，丙丁童子念摩訶，靈。

雲峯宗秀禪定尼下炬

孤峯高秀勢崔嵬，六月火雲吹雪來。若欲知無寒暑處，炎天不白一枝梅。夫惟雲峯宗秀禪定尼，識得自性，長養聖胎，月白風清，有佛處留不住，山長水遠，無佛處喚不回，打破曹溪鏡，大地絕纖埃，別有還鄉那一曲，拋火把，崑崙騎象舞三臺，咄一咄。

桃岳慈緣禪定尼下火

一夢三生石上緣，風花二十有餘年。欲傾無限傷春意，小玉聲中月落西。夫惟桃岳慈緣禪定尼，負丈夫氣，瞞新婦，禪摩耶產，竺土仙無風起波，鹽官接檀林后，隔山見煙，兔子懷胎望月，犀牛蹄跳上天，生死即涅槃，毛端吞巨海，涅槃即生死，火裏汲清泉，與麼時節，龍女獻珠，鄉關萬里，閻老喫棒，朝打三千，混沌眉掃兩，崑崙鼻失半邊，雖然恁地，覆蔭後昆底一句，試聽山僧敷宣，拋火把，楊柳絲絲收不盡，和煙染出玉欄前，喝一喝。

月溪妙光禪定尼下火

靈光不昧古來今，龍女寶珠滄海深。照破南方無垢界，曉天殘月落西岑。夫惟月溪妙光禪定尼，當臺明鏡，出鑿精金，有物先天，非男相非女相，尋根種電，傳佛心傳祖心，當陽直指，鉢水投鉢，加之，出三界火宅中，不駕羊鹿，徹三種滲漏底，何隔商參，洒洒地落落地，豁開自己胸襟，雖

然恁麼，向上一著如何參尋，拋火把，石女舞成長壽曲，三千里外絕知音，喝一喝。

桂巖宗林禪定尼下火

瞞卻少林尼總持，鐵鋒頭上轉身來。不塗紅粉娘生面，露白芙蓉八月枝。夫以某名，秀而不實，逝者如斯，夢幻空花，卅四歲工夫，綿密二六時，繡口錦心，嫌遠錄公著九帶集，檀郎玉女，笑動蕊萼，參小豔詩，截斷生死，不挂寸絲，甚希有甚希有，也太奇也太奇，自性圓成，荷葉團團，似鏡全機，頰脫菱角尖尖，如錐，恁麼看取，莫涉多岐，別要知向上事麼，聽火把子重說之，拋炬，黑漆崑崙夜裏走，紅爐放出鐵烏龜。

月江永秋信女下火 懷孕而亡

露柱懷胎果何物，黃金鑄出鐵牛機。秋風吹入無生國，地獄天堂一葉飛。夫以某名，結鴛鴦社，擁翡翠幃，不許晚參，老婆戴楊岐笠，已過夜半，石女裁黃梅衣，具大人相，還丈夫威，菩提因菩提果，明明歷歷，法身用法身體，堂堂巍巍，江月照松風吹，標格瀟灑，酒暮鐘聲，秋樹色彷彿依稀，把住則乾坤震裂，觸著則崑崙光輝，是故鬼官冥主，倒退三千里，加之，文殊普賢，貶向二鐵圍，到這裏說什麼，幻生幻滅，論什麼真是真非，雖然恁麼地，高山流水，知音者稀，永秋信女還會麼，若未會，試看山僧指揮，拋炬，江上晚來堪畫處，漁人披得一蓑歸，咄。

榮中常盛信女下火

人間盛事夢中花，白日青天莫眼花。無限春風吹不入，一枝混沌未開花。夫以某名，心存貞節，富闢雜華，汲洞水流，黑漆桶裏盛墨汁，奪林際境，瑠璃階上布赤沙，打無生話，欺靈照女，具活

手段笑慈明婆，奇哉奇哉，圓覺梅一枝兩枝，早會麼會麼，真如竹三莖四莖，斜這箇時節，丙丁
童吐舌，虛空神咬牙，若動寸步，萬里天涯，拋炬看看，一把骨頭挑去後，不知明月落誰家，咄一
咄。

受溪理稟大姊下火

一氣生時所稟異，百年滅後本來空，空非空也，色非色，礪水如藍花自紅。

朝光妙信女下火

萬事人間如槿花，朝榮暮辱本來空，無端拈出還鄉錦，七月青楓半葉紅。

了一大姊下火

了一一切了，大地黑漫漫，滅卻心頭火，依舊孟春寒。

宗照童女下火

離涅槃生死，絕煩惱菩提，舉頭有殘照，元是住居西，咄咄。

掩 曠

攝州普門住持明巖永公座元掩土 正月四日

花前拂袖別春風，行腳今年八十翁，撥轉趙州關棧子，涅槃路自普門通，夫惟明巖永公座元，
後學甘露，先宗巨業，幽谷蘭芳，遙列金地，派下舊房松偃，閒愛慈雲山中，接客作漢，稱主人公，
一段風光，說是日說非日，三應侍者，喚大空喚小空，依稀相似，彷彿不同，加之行亦禪，坐亦禪，
胡孫入布袋，生也錯，死也錯，石馬出紗籠，到這裏論什麼，欲界色界，管什麼，佛宮魔宮，倚天長
劍，不勞磨礪，此是明巖座元活機，雄以鏤子打地一下，山僧別架龜毛箭，拌兔角弓去，拋鏤子，
鏤頭邊事直看取，正月木犀吹雪濃。

宗泉大德掩土

七星光冷一龍泉，魔壘平來叫凱旋，末後牢關留不住，須彌跳上率陀天，夫惟宗泉大德常觀，
阿字，獨坐法筵，清淨行者，不入涅槃，翡翠蹈翻荷葉雨，破戒比丘，不墮地獄，鷲鷲衝破竹林煙，
印心於金胎界，轉身於鏤頭邊，如何是轉身處，生無生，滅不滅，是不是，然不然，有真歸那一句，
聽取山僧布宣，舉頭殘照在，元是住居西。

顯德院文伯祐豐法印掩土

十方一路涅槃門，舉足機前忽踢翻，試看龍圖龜易外，曉來欲雪早梅村，夫以顯德院文伯祐

豐法印古器墨洗。天球粹溫。輪祠蒸膏。養鬼神官設尸祝。高會祖禰。排昭穆。德及兒孫。守百王。百代廟。詠八雲。八重垣。黃石授書。伏兵於莽草之野。青海傳箭。挂弓於扶桑之暎。弗翅漱六藝。芳潤。況復窮萬物根源。加之具龐老機關。則西江水。合四海禪流。吸盡出思。大團續。則南嶽峯。和三世諸佛。平吞來時無口。葉落歸根。雖然。恁麼更有向上一竅。山僧贈行以言。鐵子劃一劃。呼呼黃金鑄出鐵崑崙。

紹歡上座掩土

掣電一歡五十年。本來真相不曾遷。等閒歸去長空外。莫聽黃鸝作杜鵑。夫以某名。全機顯脫。本體如然。不居菩薩初地。超越威音以前。恁麼不恁麼。展則充塞六合。不恁麼恁麼。收則捏聚大千。生死即涅槃。紅蕉敗雨。無明即佛性。綠竹含煙。了了玄玄。試看崑崙駕鐵船。打棺水流元入海。月落不離天。

太年妙椿掩土 般若房

毘嵐昨夜倒莊椿。一夢人生七十春。桃李若言吾即問。誰能北斗裏藏身。

見宗上座掩土

正宗滅向瞎驢邊。得意春風著鐵鞭。莫認涅槃真妙相。梅梢月白屋頭天。

永高上座掩土

鐵山萬仞太高生。一脚機前踢倒行。別有真歸條活路。綠陰月暗杜鵑聲。

雪巖瑞書記掩土

喚起瑞巖公主人。杜鵑枝上數聲頻。分明喚得歸那處。一閨花開四月春。

菊仙宗英藏主掩土

宗門騰茂富英聲。二十四年都旅程。本有家鄉好歸去。雲埋老樹杜鵑鳴。

前住繼孝高岫壽尊尼藏主掩土

元是吾宗妙總持。少林皮髓忽分離。珠簾玉案綠陰雨。杜宇一聲歸去來。夫惟前住繼孝高岫壽尊尼。慕蓮華色。作菖菝尼。錦繡光照閭里。袈裟影映禁池。未忘先宗。蚤入西源室。而受戒屢修隣好。晚扣東海門。而投機。具大丈夫志氣。罵新婦子。禪師。瞿曇。示般涅槃於雙林。新盡火滅。文殊度夏安居於三處。舟行岸移。莖草上現梵剎。鉞鋒頭走須彌。夢幻空華。雪裏芭蕉。摩詰畫。錢湯爐炭。炎天梅藥。簡齋詩。不住玄玄處。莫認了了時。咄。鐵子劃地。活埋了也。滿地菸蓼。

永昌開基寶聚榮珍大姊掩土

七十四年般涅槃。鏤頭邊打冷相看。虛空骨碎夜來雪。埋沒梅花玉一團。

春庵妙榮禪定尼掩土

一榮春夢老婆心。六十五年同刹那。隻履前村西畔路。等閒踏碎雪花過。夫惟春庵妙榮禪定尼。斷機孟母。泣竹湘娥。工夫密密綿綿。倒把金鍼。繡佛胸襟。洒洒落落。高挂明鏡。降魔。室內示病。杯中非蛇。或時入大雲山。而翻大雲經。如則天后稱慈氏。或時慕淨土宗。而學淨土教。似草提希唱彌陀。塵塵解脫。處處安樂窩。生死無根。梅瘦占春少。真如不變。庭寬得月多。明白裏留不住。窮玄處也須呵。妙榮妙榮鏤頭邊事。任君會。後昆興家端的如何。拋鐵。喬木依然今尚。

在風吹石臼念摩訶喝一喝。

前武庫德叟宗澤禪定門掩土 淡路島田氏

澤廣藏山也太奇大機大用現前時舉鑊鑊頭未舉活埋了一片落梧爲雨吹夫以某名胸開武庫策定雄基繼業於小笠原則箭過新羅國託迹於淡山巖則弓挂扶桑枝才名可惜逝者如斯菩提涅槃是什麼繫驢轅真如解脫更莫認亡羊岐石火不及閃電猶遲鑊子打地一下叱倒騎鐵馬上須彌。

香林紹覺禪定門掩土

掀翻大覺涅槃場凜凜威風不可當和太虛空埋卻了一犁雨過暑花香夫惟香林紹覺禪定門腳踏實地氣壓諸方二十四年前好勇則鴻門詆樊噲盾三十四年後示病則獅窟臥維摩牀直截斷生死縛倒提起金剛王離教無禪昨日拾法華遺穗離禪無教今朝傳煨桂餘芳密密密不通凡聖玄玄玄把定封疆木人叫屈石女回腸這箇且措更有還鄉那一曲來吾與汝商量去鑊子打地一下扶桑國擊大唐鼓百億須彌舞袖長咄一咄。

二品前亞相天覺雄公大禪定門掩土

高山流水沒絃琴莫作宮商角徵音試聽無生那一曲秋風拂月落松陰其惟二品前亞相天覺雄公大禪定門樂花禮葉談藪詞林書納諫言五雲上仰堯天之日才補袞職九野外酒傅岩之霖在家菩薩無相現相儒門知識以心傳心生死即涅槃攪長河而成酥酪涅槃即生死變大地而作黃金石虎頻哮吼木馬走駸駸會麼喚不回兮留不住萬岳千峰無處尋喝一喝。

無住善住禪定門掩土

生死元來無住處慳迦羅眼絕纖埃一犁春雨吹晴過滿地落花埋綠苔夫惟無住善住禪定門掉文武鞅負棟梁材五十三年前西京牡丹惟富惟貴五十三年後南柯槐樹且樂且哀假合四大分散涅槃四柱忽摧靈山會上說圓頓速疾之法少林門下用單傳直指之才牢關破時留不住機輪轉處喚不回雖然潛麼別有向上那一竅百尺竿頭進步來拋毬子水底木人吹鐵笛雲中石女舞三臺喝一喝。

輝岳杲公禪定門掩土

名高亂代一英雄匹馬單槍立戰功兜率泥犁春夢裏等閒吹醒落花風夫惟輝岳杲公禪定門精神矍鑠機智玲瓏病維摩臥毘耶花散室內死諸葛走仲達星隕營中埋骨雖朽黃壤植胸猶哭蒼穹竺乾猛將說五千兵書掃蕩佛界魔界林際厮兒施三玄戈甲逗到人空法空不墮涅槃窠窟忽出無明羅籠與麼時節江月照分江風吹塵塵解脫春山青兮春水綠法法圓融赤條條透過金剛圈浮髑髏吞卻栗棘蓬此是杲公禪定門三十三年受用底閒事保祐後昆那一句卽今爲君通毬子打地毬子口吧吧地說夕陽長在我西紅喝一喝。

玉室道玖禪定門掩土

無滅無生真涅槃都盧大地黑漫漫彌陀不在西方界放下身心君自看道玖道玖怎麼會取莫受佗瞞三界火宅不樂不安是故接大乘根達磨壙中遺下隻履翻多羅藏迦葉門前倒卻刹竿燈籠跳入露柱虛空裂走磨盤機關脫落底時節枯木龍吟消未乾錯錯山僧別有好消

息萬古一江風月寒。

久芳宗椿禪定門掩土

大椿一萬六千秋都付南華夢裏遊。野外鳥啼人不見。槿花半照夕陽收。夫惟久芳宗椿禪定門。十手所指。一人拔尤。源公幕下。決勝運籌。真門俗門。蓋如蠻觸爭蝸角。佛界魔界。而似漢楚割鴻溝。吹毛三尺定太平州。與麼時節。旋嵐倒嶽。夜壑藏舟。說生說死。錯錯談玄。談妙。休休。活埋了也。拋鑊子。雖然如是。向上事如何。爲他酬人。從橋上過。橋流水不流。喝一喝。

基成宗立禪定門掩土

坐脫立亡得自由。虛空迸裂萬機休。送行一句吹毛劍。朶朶芙蓉榜著秋。夫惟基成宗立禪定門。洛陽年少。江左風流。金粟如來。現毘耶城。丈室示病。白蓮道人。卜眉山地。二子拔尤。繼箕裘。業而以寄。末命結香火社。而莫愧前修。釋迦富彌勒。慳花間作夢。碧胡蝶。德山棒臨濟。喝柳下談禪。黃栗留笑呵。小果於方等。瞞接大乘於神州。文武庫內八寶八珍。非金非玉。生死海中一出。一入。不車不舟。已無煩惱之可斷。寧有菩提之可求。諸方尋常活下火。這裏祇還鈍鑊頭。擲下鐵子。別別。還鄉古曲。如何唱酬。吹少林無孔笛。驚走陝府鐵牛。

東昇宗旭禪定門掩土

曉旭出雲桑海東。佳城埋玉響玲瓏。轉身自在通霄路。步步踏翻兜率宮。夫惟東昇宗旭禪定門。吳牛喘月。燕馬追風。古世音耶。莘野伊尹。僉曰耕叟。今韓愈也。廬陵歐陽。自號醉翁。四海收賢輔。九州先農功。六十餘年之先。淨躲躲。離涅槃窠窟。六十餘年之後。赤洒洒。脫生死羅籠。恣

麼不恁麼。靈雲老未徹在。不恁麼恁麼。龐居士叫心空。向上還有事。卽今爲君通。拋鋤。一口吸盡西江水。洛陽牡丹新吐紅。

桂雲昌公禪定門掩土 三宅氏

匹馬單槍。雙鑊輕。當陽打破涅槃城。爲君指點轉身路。梅雨和風送晚晴。

椿翁棟久居士掩土

久遠劫來不亘生滅。五十九年只得一槪。椿翁椿翁。得底那箇一槪。世傳家聲。茲保晚節。示維摩居士病。移牀臥雲。慕能因法師風。捲簾哦雪花。落夢醒春鐘。響絕。只憑這一槪。心地收汗馬。論甚麼功無功。袖裏藏青蛇。管甚麼徹未徹。只憑箇一槪。箇一槪。觸向上惡。錯錯。點鐵成金。點金成鐵。百了千當。七回八凸。這箇且置。甘蔗氏四十九年一字不說。久椿翁五十九年只得一槪。何優何劣。山僧今朝信手拗折。是同是別。拋鑊。別別。珊瑚枝枝。榜著月。

法雲宗護禪定門掩土

平生致命護官家。五十六年無賴查。色卽是空空卽色。活埋雪內牡丹花。夫以某名。勇以無撓。富而不奢。具閃電機。拜慈雲大禪佛。消甘露滅。拂瑞泉破裂。裝水底木人。類絕叫溪邊石女。暗驚嗟。生死涅槃。如鈍鳥栖蘆葦。鏊湯爐炭。似香象觸芭蕉。到這裏說甚麼。三祇百劫。論甚麼萬別千差。更有未後好消息。試聽鐵子著些些。拋鐵。萬里長空一聲鴈。夜來和月落平沙。

清芳宗源禪定門掩土

一踢踢翻生死源。一拳拳倒涅槃門。虛空落地底時節。驚起西山雲外奔。夫惟清芳宗源禪定

門世緣終淺，晚節難存，富貴一場，會聚蚊於金谷，如幻三昧，迷胡蝶於漆園，無位真人，是什麼乾屎橛，正法眼藏，較什麼破沙盆，淨裸裸赤洒洒，明皎皎暗昏昏，別有真履實踐處，聽土掘子說，偈言：拋鐵，扶過斷橋水，伴歸無月村，喝一喝。

常智禪定門掩土

智劍常磨三尺霜，佛魔何敢犯鋒芒，涅槃城破後消息，松竹滿山送晚涼，夫以某名，扣臥龍室，馳群馬場，久服鹽車，懸羊賣狗肉，親喫鐵棒，打鴨驚鴛鴦，不滅不生，芭蕉無愁雨，有忠有孝，葵花傾太陽，石女俄洒淚，木人頻斷腸，六十六歲殘夢猶香，直得脫卻萬劫鎖，掀翻四大牀，雖然如是，這裏別有轉身路，試聽鐵子舉揚，打地一下云：陰陽不到處，一片好風光。

虛岳宗空童子掩土

空元非色色非空，白玉樓成黃壤中，啼鳥一聲春夢斷，天堂地獄落花風，夫惟虛岳宗空童子，學字有法，讀書無功，命也匪天，顏子先尼父，苗而不秀，如童鳥於楊雄，分甘念母，吐血驚翁，一十三年前，無生死處，示生死，一十三年後，出圓通，又入圓通，淨裸裸沒拘束，赤洒洒絕羅籠，宗空宗空，別有真歸那一句，作廢生研窮，去拋鏝，昨夜金鳥飛入海，曉天依舊一輪紅，喝一喝。

宗珠童子掩土

老蚌胎中產出珠，鐵鎚擊碎絕形模，寒衣不裹殘宵夢，小朶梅西落月孤，宗珠童子，慕地歸去，莫涉佗途，倘未然，善財何敢勞，再見佛法南方一點無，喝一喝。

宗田禪定門水葬

掀翻五無間，耕破一心田，泥牛走入海，木馬躍上天，正與廢時，宗田禪定門，還會麼，縱然一夜風吹去，只在蘆花淺水邊。

小鳥斃掩土

脫卻卵生與胎生，羅籠不住得飛行，和問佛祖活埋了，綠水青山噓一聲。

圓滿本光國師見桃錄卷之三 終

圓滿本光國師見桃錄卷之四

遠孫比丘衆等重編

預請の秉炬

西隱秦公座元預求百年後秉炬語

透過百二十秦關，無所從來那處還。石火光追不及，等閑陽倒鐵圍山。共惟西隱秦公座元，形容枯槁，手段顛頑，制大龍於滄海，接靈鷲於塵寰。或時向孤峯頂盤結草庵，口吞三世佛，或時開一心田，剷除荆棘，業滅五無間。到這裏用甚麼德山棒，臨濟喝，管什麼釋迦富，彌勒慳。雖然如是，別要聽向上一曲子麼。丙丁童子高擊節，虛空唱起菩薩蠻，咄。

東陽院頭月岑珠公首座下火 預請

一顆明珠本自圓，徑雲深處出龍淵。鐵鎚擊碎後消息，臘月花開火裏蓮。夫惟東陽院殿月岑珠公首座，有權有實，無黨無偏。學東陽清規，則綿蕪野外；參南方佛法，則擒住風顛。首座行道，威音已前，生死即涅槃。水流元入海，涅槃即生死。月落不離天，正與麼時，說什麼聲聞果。緣覺果，論什麼如來禪。祖師禪，若未然，聽火把子敷宣。拋火把，此是長生真秘訣。冰桃結實歲三千。

喝一喝。

賢仲啓聚首座預請百年後秉炬語

地獄天堂一聚塵，塵塵解脫本來人。好和西嶺千秋雪，鐵鑄梅花火裏春。夫惟賢仲啓聚首座，截流香象，衝浪錦鱗。利自利他，膝下黃金，用之無盡。殺佛殺祖，眉間寶劍，磨而不磷。打破涅槃明鏡，脫卻生死苦輪。箇箇立在轉處，密密把定要津。舜若多神面皮黑，燈籠開口笑。閻閻雖然恁麼，向上一路如何指陳。拋火把，溪聲廣長舌，山色清淨身。咄一咄。

鳳林超公書記下火 預請

泥洹一路轉身時，石火光猶鈍遲。地獄天堂昨宵夢，風驚花落杜鵑枝。夫惟鳳林超公記室禪師，濁世烏跣，叢林白眉。懸肘後符，而雖避禍；讀禪本草，而未得醫。佛日慧日，頓破癡暗。大藏小藏，僅拭瘡痕。積翠強設三關，屋頭山色豈非清淨。永明誤唱六字，門前湖水即是寶池。凡聖不留朕迹，自他何隔毫釐。露髀赤條條，全無菩提之可證。清寥寥，白的的，寧有生死之應。離脚下踏著實地，機前陽倒須彌。緊要時節，向上鉗鎚子，如何提持去。拋火把，紅爐放出鐵烏龜，喝一喝。

秀岳梵才書記下火 預請

此是宗門直指才，當機踢倒涅槃臺。無陰陽地春風轉，火裏優曇朶朶開。夫惟秀岳梵才書記，居翰墨任，負棟梁材。提撕多福話頭，三年受用。只栽竹漏泄少室祖意，一日工夫半爲梅生也。石火光中，留不住，死也閃電機裏，喚不回。觸向上鉗鎚下，虛空消鐵山摧。到這裏，何物恁麼去。

何物恁麼來，書記還會麼，拋火把，燈籠沿壁上天台。

大初最公藏主下火 預請

最初一句，末後牢關，直透過看，綠水青山，夫以大初最公藏主，道肥貌瘦，年老心閒，掌大小藏，鑰列東西序班，方袍藟菖，圓頂梅檀，位超十地已上，前輩芍藥，後生茉莉，時丁二佛中間，因則用因果，果則用果，愚而不愚，頑而不頑，破草鞵三文兩文，雲無心出岫，折拄杖七尺八尺，鳥倦飛知還，此是藏主平生著力底，若復向上轉，文殊普賢失其境界，德山臨濟，猶隔塵寰，到這裏說妙罪過，罪過道禪，慙慙撒手，長空外，可望不可攀，雖然恁麼，虎斑易見，誰窺人斑，拋火把，聞麼，雪峯南趙州北，還鄉曲菩薩蠻，咄一咄。

掬月軒主德良藏主預請秉炬語

良男矣，七佛之師，倒跨金毛獅子兒，忽解轉身底時節，一聲吼裂五須彌，夫惟掬月軒主，不重先聖，何拘舊規，仙山五色瑞雲，鍊不老藥，寶泉一滴甘露，酒破戒卮，應變自在，殺活臨時，三千里界袈裟，橫拽豎拽，十二街頭尺八，順吹逆吹，拄杖作舞，燈籠開眉，如來禪祖師禪，掬水月在手，煩惱濁衆生濁，弄花香滿衣，畢竟是何物，端的不相知，此是藏主平日作略，更有格外玄機，試看山僧提持，拋火把，咄咄咄，萬般爐中鐵蒺藜。

慶實藏主百年後下火

實相真如體本然，百年三萬六千遷，無端觸著棒頭去，東海鯉魚跳上天，實藏主實藏主，涅槃不生，翡翠踏躑躅，荷葉雨，實藏主實藏主，繁言不滅，杜鵑啼破竹林煙，拋火把，向上一路，佛祖不

傳，咄一咄。

明谷叻公侍者預請秉炬語

此郎廿五白雲端，倒跨驢兒活路寬，吹起少林無孔笛，還鄉一曲萬年歡，夫惟明谷叻公侍者，青燈燒盡黃卷讀殘，南山有一條鼈鼻蛇，擒縱與奪，西川出八角烏頭子，甘苦辛酸，其參如來禪，易蓋會祖師意難，即佛即心，何待彌勒五月之降誕，非生非滅，疾入瞿曇雙樹之涅槃，鐵圍團團百雜碎，百雜碎鐵圍團團，虛空翻筋斗，日月轉朱欄，拋火把，會麼，叻侍者叻侍者，倒卻門前刹竿，喝一喝。

賀屋玄慶禪人下火 預請

金襴傳外事如何，慶喜問端，瞞葉波，向刹竿頭轉身去，踏翻教海與禪河，慶禪人還會麼，若道會得，達磨不會禪，梅瘦占春少，若道不會，瞿曇已成道，庭寬得月多，會不會都來是錯，滅不滅畢竟非佗，淨裸裸絕承當，空空空時真也不立，赤洒洒沒窠臼，玄玄玄處妙也須呵，水自竹邊出，風從花裏過，喝一喝，石女舞成長壽曲，木人唱起太平歌。

三翁德惠庵主下火 預請

竺乾猛將陣堂堂，惠劍光寒三尺霜，生死涅槃秋一夢，火中菡萏覺猶香，惠庵主惠庵主，恁麼承當，倘復未承當，頻呼小玉，只要檀郎，稜語魯直坐，帷帳中，或時燕寢螺甲，沈水隨身兜率，裏袈裟角，或時魚行酒肆，姪坊看麼，山色清淨，聞麼，溪聲廣長，驀直轉去，莫涉思量，不通凡聖，把定封疆，雖然如是，欲到向上田地，山僧爲舉揚，擲火把，昆侖奴齊怒發，推倒門外金剛。

柏庭祖永尼首座下火 預請

永劫無明淨法身，法身覺了卻生塵。到頭霜夜前溪月，龍女寶珠磨不磷。夫惟柏庭祖永尼，市中卜隱屋裏藏。春傳松源餘波於海東外，施蘭溪剩馥於河內民。蓋以吾首座到靈樹，而勝尼長老住聖因，有餘涅槃，無餘涅槃。花間作夢，雙胡蝶。大善知識，小善知識。棒頭敲出玉麒麟，不立迷悟。把定要津，恁麼時節，說什麼阿鼻依正，論什麼苦海沈淪。生涯洒洒落落，心地歷歷明明。此是祖永大姊，斷送三萬日，使得十二辰底，別要會西來意。待柏樹子成佛，向汝指陳。舉火把，虛空翻筋斗，燈籠笑闍闍，拋火把，團。

久庵桂公尼首座下火 預請

少林煥桂久昌昌，蓋覆真丹與搏桑。昨夜毘嵐忽吹倒，百年一夢醒猶香。夫以久庵桂公尼，精神可掬，意氣難當。末後牢關，是放開是捏聚。本來面目，非濃抹非淡樵。截斷生死，拋金剛王。塵塵無垢世界，步步涅槃會場。青山綠水，體露真常。此是大姊開受用，若要向上轉去，別聽山僧舉揚。拋火把，黃金鑄出崑崙鐵，火裏龜毛數尺長。咄一咄。

宗銀尼首座下火 預請

天堂地獄假銀城，遊戲神通傀儡棚。春夢一場頻喚起，曉鶯枝上出花聲。夫惟寶生尼寺住持宗銀尼首座，大姊晚節難保，坤德利貞。少林門下總持得肉，法華會上菩薩求名。一枝佛法的百草，祖意明明，無山不帶雲。人人具足，有水皆含月。箇箇圓成，須彌燈王佛入。鍼孔勝熱婆羅門，出火坑，會麼。拋火把，莫認自己清淨，直踏毘盧頂行。喝一喝。

檀溪宗香尼首座下火 預請

法身堅固本來香，郁郁乎薰徹十方。試滅卻心頭火，看鑊湯爐炭自清涼。夫惟檀溪宗香尼，溫面軟語，石心鐵腸。散花天，勘破維摩默默，平杓水，賺過末山娘。無明即明，燒梅檀木而奪翁蘭之臭氣。諸相非相，貪桃李實而忌梅花孤芳。出生入死，不存窠臼。戒皮定肉，一任分張。正與麼時，拶倒丙丁童子，棒殺閻羅大王。丈夫作略，誰肯抵當。雖然恁麼，更有真歸處。聽取山僧舉揚。拋火把，玉樓巢翡翠，金殿鎖鴛鴦。咄一咄。

桃谷周仁尼首座下火 預請

千年桃核舊時仁，觸惡鉗鎚絕點塵。欲到靈雲不疑地，花開空劫以前春。夫惟桃谷周仁尼，預懼未來苦果，頓了佛性三因。臨靈山法華會中，則壓倒無垢勝光佛。觸洋嶼龜竹篋下，則冷笑秦國大夫人。或時南方界跋化，或時北斗裏藏身。赤洒洒斷紅絲線，活酸酸碎鐵磨輪。雖然灑灑，千聖不傳處，要到大休歇地。麼。試聽火把子指陳。拋火把，雲破月來花弄影。寒山拍手笑闍闍，喝一喝。

玉英祥瑤尼首座下火 預請

大乘法器魯瓊瑤，本有圓成君自看。未下一鎚鎚碎了，青山月上影團團。夫惟玉英祥瑤尼，似竹有節，如環無端。春入嶺梅村，猶獠盧能。打破明鏡，雪埋庭柏。野狐精達磨，蓋卻空棺。悉有佛性，不受佗瞞。淨裸裸絕承當，說甚真如解脫。赤洒洒沒窠臼，論什麼菩提涅槃。雖然恁麼，向上還有事。吐露心肝去，拋火把，石女雲中作舞，木人奏萬年歡。咄一咄。

桃雲宗悟尼首座下火 預請

不分迷悟絕凡聖百歲光陰春夢中春夢醒來無一事桃花依舊面皮紅夫惟桃雲宗悟尼心鏡清淨戒珠玲瓏瞥轉一氣具劉鐵磨作略掃除五障躡橋墨彌遺蹤智行運動理事圓融文殊無二文殊胸中吉祥宅彌勒有半彌勒天上兜率宮了了時霞穿碧落玄玄處月拂清風會麼石火莫及電光罔通拋火把喝一喝

花屋宗因尼首座下火 預請

這野狐精不昧因大雄峯下解醜身無端蹈倒涅槃窟鐵樹花開火裏春夫惟花屋宗因尼透金剛圈轉鐵磨輪掃除濁世秕糠馬祖篋箕跳不出祕在形山一寶龍女明珠磨不磷幻生幻滅放開線路不去不來截斷紅塵更有送行句聽山僧指陳拋火把夜深一片虛樞月寫出梅花面目真露

春芳宗椿尼首座下火 預請

莊椿一萬六千歲昨夜毘嵐吹倒來試聽無上真曲調花開胡蝶舞三臺夫惟春芳宗椿尼形如枯木心似死灰透過兜率三關則葵花無眼隨日轉觸著臨濟一喝則芭蕉無耳聞雷開鑊湯爐炭一時滅劍樹刀山一時摧是甚麼時節看看燈籠露柱笑哈哈錯錯

雲仲心祥尼首座下火 預請

劈破率陀天上雲臨行一朵好呈君龍華三會夢中說殘漏聲沈曉色分祥首座祥首座夢中說還聽取麼三世諸佛亦說夢前臺花發後臺見六代祖師亦說夢上界鐘清下界聞山僧亦

說夢漆園胡蝶若箇分影末後慙慙槐國螻蟻多少作群生死涅槃猶昨夢脫卻鐵枷三百斤淨裸裸沒拘束赤洒洒絕功勳與麼時節阿鼻獄卻成夢宅丙丁童子笑問問喝一喝

希溪善灌尼首座下火 預請

迅機截斷灌溪流末後牢關去不留但看百年三萬日槿花半照夕陽收夫惟希溪善灌尼狀繡佛晉瞞鐵磨劉博究毘尼學西天苾芻草帶累先聖劈東福多子榴是則總持得肉非則演若失頭玄玄處又須呵不入涅槃清淨行者了了時無可了不墮地獄破戒比丘五逆消滅萬機罷休拋火把會麼向上那一路何處覓蹤由喝一喝

前住明禪玉宗琳尼藏主預請百年後乘炬語

百歲光陰瞬息中五蘊非有又非空鐵鋒頭上轉身路歸便可歸兜率宮夫惟宗琳尼截斷衆流瞞偃跛腳扶起正法慕岳贖翁一雙胡蝶上葵花堅固法身有長有短兩箇黃鸝啼翠柳真如自性無始無終赤洒洒沒拘束淨裸裸絕羅籠與麼時節向上那一句如何爲君通拋火把看看丙丁童子面門紅喝一喝

一宗秀統尼藏主下火 預請

釋門正統苾芻尼冷笑少林尼總持夜半有人負將去鐵鋒頭上五須彌夫惟一宗秀統尼預示鶴林滅度相不待龍華下生時掃除眼裏花則劍樹刀山卽真如界滅卻心頭火則鑊湯爐炭變清涼池到這裏說甚麼五障論什麼三祇機輪轉處閃電猶遲尼藏主還會麼拋火把欲問花來處東君亦不知喝一喝

寶山珍尼藏主下火 預請

祕在寶山滄海珍靈光一點不緇磷無端和卻紅爐雪百鍊將來色轉新夫惟寶山珍尼藏主坐斷末山頂推轉鐵磨輪清淨本然十方三界尊面常照寂爾萬象之中獨露身頭頭顯露物物全真不通線路把定要津雖然怎麼更有向上宗乘事試聽山僧指陳拋火把白灰撥出玉麒麟喝一喝

月心宗珠尼藏主下火 預請

衣裏明珠不琢磨一鎚鎚碎看如何大千俱壞底時節放下全身與火蛇夫惟月心宗珠尼舌轟霹靂辯瀉懸河一路涅槃門有水含月十方薄伽梵無風起波藏身北斗託夢南柯箇箇圓成說甚麼現在佛過去佛人人具足論什麼煩惱魔生死魔了了時沒交涉玄玄處處早蹉過雖然如是末後一句還會得麼拋火把石女舞成長壽曲木人唱起太平歌

悅巖宗忻尼藏主下火 預請

一陽陽驪生死海一拳拳倒涅槃堂棚頭傀儡百年夢牽得無絲玉線長夫惟悅巖宗忻尼釘背鐵舌錦心繡腸娑婆即是華藏伽耶豈非寂光杜鵑啼破落花村赤洒洒沒拘束翡翠踏翻荷葉雨淨裸裸絕承當雖然怎麼向上宗乘一著試聽山僧舉揚拋火把安禪未必須山水滅卻心頭火自涼喝一喝

揔持開基頓庵宗圓尼大姊下火 預請

少林門下揔持尼元自圓成了頓機再見何勞百年後殘花啼落杜鵑枝夫惟揔持開基頓庵

宗圓大姊短世風驚雨過刹那物換星移鵲噪鴉鳴要檀郎喚小玉牛擗馬踏拽鐵磨到大瀉機輪轉處閃電猶遲淨裸裸赤洒洒說甚兜率泥犁也奇快也奇快昨夜有力者醴雞負須彌去拋火把啖

速緣妙淨禪尼百年後下火語

鍊出舍那清淨身紅爐焰裏絕纖塵放開線路通消息雨過青山色轉新夫惟速緣妙淨禪尼預懼苦果蚤修良因婆子燒庵正好趕出倩女離魂那箇是真生也樹呈風體態死也波弄月精神溷之不濁磨而不磷雖然怎麼要到向上田地試聽山僧指陳拋火把咄咄咄冷灰撥出玉麒麟

琴溪妙泉禪尼下火 預請

先天有物徹黃泉自性彌陀易地然無所從來無所去舉頭殘照住居西夫惟琴溪妙泉禪尼迷雲盡心月圓人向靜中忙勘破臺山婆子路從平處嶮瞞卻趙州老禪掉廣長舌八十餘年白滴滴清寥寥蹈倒涅槃一路淨裸裸赤洒洒截斷生死兩邊到這裏說甚五障論甚十纏雖然怎麼向上卻有事聽山僧敷宣拋火把木人石女叫希有臘月花開火裏蓮喝一喝

月清明圓禪尼下火 預請

一輪心月本來圓明鏡非臺輝碧天無孔鐵鎚鎚碎了江南野水白鷗前夫惟月清明圓禪尼眉宇秀發和氣霽然三世妙德尊稱智母五障娑竭女號華鮮捨邪歸正顯實開權加之清淨行者不入涅槃翡翠踏翻荷葉雨破戒比丘不墮地獄鷲鷲衝破竹林烟莫就錯錯錯須呵玄

玄玄禪尼還會麼。拋火把。向上一路千聖不傳。咄一咄。

春榮慶壽尼大姊下火 預請

閻浮壽盡百年移。蹈倒泥洹活路來。一點塵埃何處著。火蛇吞卻五須彌。夫惟春榮慶壽尼大姊。水中乳味。泥裏摩尼。或底繞路說禪。喚木塔作老婆子。或底當陽直指。瞞林際稱小厮兒。其人如金如玉。磨不磷涅不緇。生也春風桃李花開日。死也秋雨梧桐葉落時。淨裸裸割定肉。赤洒洒脫戒皮。萬機休罷。佛祖不知。向上轉去。莫涉多岐。與麼時節。大姊還會麼。拋火把。會不會都來錯。江月照松風吹。

雲林宗怡尼大姊下火 預請

直把雲林作鶴林。紅爐煉出紫磨金。無端入得如來地。一段靈光照古今。怡大姊怡大姊。從門入者匪自家珍。心即是佛。佛即是心。心外求佛。海底摸鍼。清淨行者。不入涅槃。聽雨寒更盡。破戒比丘。不墮地獄。開門落葉深。別有向上那一竅。大姊向何處參尋。拋火把。石女舞成長壽曲。高山流水絕知音。喝一喝。

芳室見春尼大姊下火 預請

一場春夢百年榮。地獄天堂客路程。到得歸來無別事。杜鵑啼落月三更。夫惟芳室見春大姊。栴檀圓頂。桂籍芳名。親聞鶴樹終談。能持苾芻尼戒律。不待龍華初會。自作桃花色。衆生豈假修證。本來圓成。權大乘實大乘。火熱水冷。棒正覺喝。正覺。電卷雷轟。說甚麼真如佛性。論甚麼聖解凡情。石女舞長壽。木人歌太平。雖然與麼。別有少林那一曲。莫唱陽關第四聲。拋火把。須

彌座下烏龜子。直踏毘盧頂上行。喝一喝。

古柏宗庭大姊下火 預請

庭前喫盡黃金草。這老牯牛無鼻巴。忽到瀉山拗折角。化成火裏牡丹花。夫惟古柏宗庭大姊。出三界獄。離五蘊家。說死說生。彷彿炎天梅藥。如夢如幻。依稀雪裏蕉芭。截斷腳下紅線。脫卻頂上鐵枷。吾宗無語句。不須口吧吧。拋火把。犀因。翫月紋生角。象被驚雷花入牙。喝一喝。

慈德庵春溪明榮大姊下火 預請

榮耀如花。花似夢。夢中三萬六千春。靈光不昧。涅槃月影。在浮雲淺處。新夫惟某名。以慈爲宅。維德有隣。預怖當來苦果。茲修現在勝因。有時轉七軸蓮。教壞八歲龍女。有時拈一莖草。熱瞞丈六金身。卽心卽佛。全假全真。常啼誤東請。善財強南詢。鐵壁銀山。不通凡聖。愛河欲海。把定要津。正與麼時。生死去來。本無住處。地獄天堂。豈立纖塵。赤條條空索索。口吧吧笑閻閻。此是明榮大姊平生如幻三昧底。卽今向火焰裏轉大法輪。諸人還看麼。倘或未委悉。試聽山僧指陳。拋火把。白灰拂出紅麒麟。錯錯錯。

太虛理圓大姊下火 預請

本是圓成那一佛。靈光不昧古來今。忽然寂滅現前處。雨洗殘紅新綠深。夫以太虛理圓大姊。外少緣飾。內持戒禁。三萬六千日前。繡工夫。爲梅香魂入夢。三萬六千日後。開受用。栽竹塵事無心。打破彌猴鏡。拋擲翡翠簪。加之總持扣。少室投機。強分皮髓。德雲在別峯。相見何勞參贊。放開線路。官不容針。生魔死魔。去粘解縛。男相女相。點鐵成金。到這裏說甚麼。七凹八凸。論什

變四大五陰，別有轉身句。試聽火把子發獅子音，拋火把，末山頂日杲杲，鐵磨輪風凜凜，喝一喝。

玉江道琳禪定門下火 預請

不待虛空落地時，活機前蹈倒阿毘，黃頭碧眼無間夢，蘿月松風一任吹。夫惟玉江道琳禪定門，珊瑚有價，琳琅無疵，隨緣真如，不變真如，雪裏芭蕉，摩詰畫，分段生死，變易生死，炎天梅蕊，簡齋詩展，則徧十法界，收則吞五須彌，與麼時節，說什麼人空法空，淨裸裸天無四壁，論什麼真諦俗諦，赤洒洒地絕八維，泥洹一路，莫涉多岐，拋火把，看看紅爐放出鐵鳥龜，喝一喝。

越州太守雲江守慶居士下火 預請

掃蕩魔軍百萬兵，七花八裂涅槃城，凱歌一曲忽歸去，屋後松風愈好聲，共惟越州太守雲江守慶居士，義井汲古，心地研精，厥勇也，蚤學六韜，如張子房從黃石，厥節也，不仕二主，似司馬氏於淵明，紅塵劍三尺，白髮雪千莖，此郎就予求號，吾師爲他安名，再修龍潭舊房，萬年作計，假示鶴林滅度，三日先庚，平生梗頑手段，通身金剛眼睛，在聖同聖，在凡同凡，青山無限好，逢佛殺佛，逢祖殺祖，黃河徹底清，空空畢竟空，何物恁麼死，錯錯錯都來錯，何物恁麼生，喝，更有向上那一著，試聽取山僧施呈，拋火把，須彌倒，誇鐵馬，踢翻丙丁童行。

神野氏雙月慧晃居士下火 預請

不生不滅涅槃門，門外青山月一痕，舜若多神驚吐舌，火蛇吞卻鐵崑崙，夫惟神野氏雙月慧晃居士，承南嶽祖，稱東海孫，道家蓬萊，縮弱水三萬里，神野種草，詠出雲八重垣，靠倒維摩居

士，罵呵大覺世尊，放行則虎穴魔宮，一喝喝散，把住則鶴樓鵲洲，一踢踢翻，淨裸裸赤洒洒，離窠臼，絕籠樊，更有向上宗乘事，吾不惜齒牙餘論，拋火把，開慶，杜鵑啼破落花村，錯錯。

宗靖居士百年後下火

火把打圓相，第一達磨陶靖節，不修蓮社，不參禪，人人本有圓成佛，秋菊春蘭易地然，夫惟宗靖居士，騎射兩得，文武兼全，竺土黃面老，說一卷兵書，連籌決勝，林際白拈賊，施三玄戈甲，執銳被堅，意氣奔雷霆，眼睛輝坤乾，世緣淺兮道根深，黃太史稱五祖，天魔降兮波旬伏，韓京兆參大顛，超菩薩第十地，入居士不二門，有餘涅槃，無餘涅槃，作活計於鬼窟，半字知識，滿字知識，試妙手於龍泉，鐵團圓百雜碎，華甲子萬斯年，別有轉身處，山僧欲重宣，拋火把，倒鞭鐵馬，春風裏，抹過須彌最上巔，喝一喝。

玉麟宗仁居士下火 預請

能仁元是大醫王，壽域萬年開八荒，試看五千貝多葉，願神換骨一靈方，夫惟玉麟宗仁居士，烏豆啄吻，狼毒肝腸，佐使君臣，諸本草經於佛日，焙乾生熟，學炮炙論於洪堂，點四味平胃散，名一念相應湯，能除邪氣，忽治顛狂，面染瘴煙，瞞木瓜之呆風子，力拯民社，欺人蔘之司馬光，或時用八火，而煉般若波羅蜜，或時除三熱，而抹知見解脫香，瀉實補虛，味和脾胃，沈空滯寂，病入膏肓，幻生幻滅，無病著艾，持齋持律，禁物絕糧，能殺能活，任吾愚老，患叟患盲，還他謝郎，菩提果熟，安心藥良，雖然與麼，至聖命脈，不屬陰陽，仁居士仁居士，冬來事如何商量，拋火把，疎山作略將軍令，依舊京師出大黃。

心源宗徹居士下火 預請

西江吸盡徹心源，靠倒龐蘊居士門。到得歸來底時節，杜鵑啼過落花村。夫惟心源宗徹居士，武門閭閻，法社藩垣，此郎託迹於蓬島，其先賜姓於菅原，振丈夫威雄，則溟鵬展九萬里名翼，參大善知識，則野狐離五百生精魂。碧岩集昔燒卻黃石書，今尙存有餘涅槃。無餘涅槃，水枯雪盡，棒下正覺，喝下正覺，電卷雷奔，不求諸聖，解脫豈借閻王平反。淨裸裸赤洒洒，明杲杲昏昏，更有真般若，無說又無言。會麼，拋炬入得火光三昧看，黃金鑄出鐵崑崙，喝一喝。

前豐州太守和智氏太成宗功居士下火 預請

此郎今代一英雄，未上麒麟先識功。無所從來無所去，夕陽長在我西紅。夫惟前豐州太守，具棟梁質，抱葵藿忠，威振十方，譬如漢隆準公起於沛邑，名喧四海，恰似宋執拗夫出于元豐。忽遇家國興盛，永誓山河始終，或時截生死流，提臨濟三尺劍，或時築威音梁，揮石鞏一張弓。箭鋒相拄，毒氣以攻，白的的兮清寥寥，不隔娑婆華藏，淨裸裸兮赤洒洒，莫管地獄天宮，千佛一數，廣額兒拋刀子，萬法不侶龐居士。叫心空，有末後句，更爲君通，拋火把，泥牛吼月，木馬嘶風，喝一喝。

江州建部左典，既鐵船宗堅居士下火 預請

法身堅固鐵團圓，觸著吾鉗鎚下看。百雜碎兮百雜碎，涼風吹月上欄干。其惟某名，折衝筆陣，拜將詩壇，騰茂飛英，置朝廷上，則三槐九棘，深根固蒂，在山林中，則十蕙一蘭，將謂江州白司馬，由來宛陵梅都官，天女散花惟新，毘耶老居士，假示病，宗師落草且爾，瑞岩主人，公何受嘯，喝一喝。

或時能武能文，雲門紅旗風偃，或時殺佛殺祖，林際金剛霜寒，踢翻泥洹一路，莫涉生死兩端，雖然與麼，更有頤神妙術，爲君報平安去，拋火把，倒把一枝笛，吹起萬年歡，喝一喝。

寂知宗空居士預請百年後乘炬語

向太虛空駕鐵船，須彌頂上浪滔天。大唐載得歸來看，紅海棠開秋日西。夫惟寂知宗空居士，才華銷俗，釣築收賢，法法圓融，裴相國傳心於黃檗，塵塵解脫，陶醉漢皺眉於白蓮，將謂先天地有物，元來離淨土，無禪，或時峭峻孤危，禪板蒲團，用不得，或時遊戲三昧，舞衫歌扇，舊因緣，雖羨回也，稱儒門知識，卻笑軼乎，作人間謫仙，楓葉落兮，荻花乾，萬機休則全歸，方寸松風吹，今蘿月照，一念起則早隔大千，拗折涅槃四柱，莫涉生死兩邊，錯錯都是錯，玄玄須呵玄，雖然與麼，更有宗乘向上事，試聽山僧敷宣，拋火把，雨中看杲日，火裏酌清泉。

義翁宗高居士下火 預請

日照高山逼界明，一人無復暗中行。網珠垂範雜華藏，開眼看來乾闥城。夫惟義翁宗高居士，韜光鑿彩，覃思研精，邪正難分，天魔外道，了八萬劫因果不昧，野狐精魅，脫五百生，撞着崑崙鼻孔，突出金剛眼睛，兜率權設三關，學開華嶽連天色，瞿曇不說一字，放出黃河徹底清，轉身自在，受用縱橫，欲識端的，莫涉多程，雖然與麼，更有末後句，聽山僧施呈，拋火把，滄浪之水濁兮，可以濯吾足，滄浪之水清兮，可以濯吾纓，喝一喝。

天真宗守信男預請乘炬語

真如自性守天真，元是金剛不壞身。一夢百年三萬日，花開桃李火中春。夫惟天真宗守信男，

預懼苦果，逆修良因，起居動靜，六時念佛，禪詞蒸嘗，四序賽神，唐朝白文殊，參鳥窠師，蒲牢夜吼，宋家黃達磨，見晦堂老，桂花露勻，證涅槃，不住涅槃，清風拂殺明月，示生死不染，生死溪水，截斷紅塵，不通凡聖，把定要津，木人高奏長壽曲，燈籠開口笑，問問雖然，恁麼更有向上宗乘，試聽取山僧指陳，擲火把，色色只仍舊，青山雨後新，喝一喝。

寶隣宗善信男預請百年後秉炬語

善惡都來莫思量，阿爺面目露堂堂，百年壽盡後消息，火裏蓮華遍界香，夫惟某名，維時丁大法之季運，其家保積善之餘慶，揖釋迦於東土，念彌陀於西方，打破涅槃城，直觸梅陽竹篋子，截斷生死縛，倒提林際金剛王，淨裸裸赤洒洒，離窠白絕承當，雖然恁麼，若要向上轉去，試聽真正舉揚，擲火把，三足金烏飛入海，曉天依舊照扶桑，喝一喝。

春岳宗英信男下火 預請

蝸牛角上一英雄，心地收來汗馬功，吹作紅爐煇中雪，刀山劍樹落花風，夫惟某名，才兼文武，節克始終，豎五位槍旗，其先昔傳洞山顯訣，用三玄戈甲，此老今與臨濟正宗，架龜毛箭，張兔角弓，或時殺佛殺祖，寶劍光寒，塵塵解脫，或時鍊凡鍊聖，金鎚影動物物圓融，出涅槃窠窟，脫生死羅籠，本來圓成，麻矢直蓬，矢曲當陽，直指李花白桃花紅，恁麼不恁麼，一口吸盡西江水，不恁麼恁麼，一棒打破太虛空，雖然如是，保祐後昆底一句，試問取丙丁童子去，拋火把，面陳王霸龍庭上，手拔乾坤虎口中。

泰岳宗韓信男百年後秉炬語

一韓摧佛佛何摧，端的捨邪歸正來，劫火洞然毫末盡，泰山依舊碧崔嵬，夫惟泰岳宗韓信男，繼箕裘業，負棟梁材，截生死流，風塵三尺劍，學文武道，丹心一寸灰，法爾如然，鶴脰長鳴，脰短無常，迅速牛頭沒馬頭回，掀翻阿鼻獄，陽倒涅槃臺，赤洒洒離窠白，清寥寥絕纖埃，雖然與麼，保祐後昆底活句，元亨利貞德大哉，拋火把，倒把少林無孔笛，和風吹落一枝梅，咄一咄。

春澤宗光禪定門下火 預請

靈臺不昧發靈光，映徹乾坤絕覆藏，喚醒閻浮百年夢，曉鐘月落一聲霜，夫惟春澤宗光禪定門，備陽華族，藤家棟梁，全假全真，晦堂接黃太史，而示月中桂子，如夢如幻，南泉召陸大夫，而指庭前花王，穿鼻換眼，倒腹傾腸，無明即明，鑊湯爐炭，真如地諸相非相，劍樹刀山古道場，赤洒洒全沒窠白，淨裸裸何守封疆，燈籠吞盡露柱，泥人搗倒金剛，雖然恁麼，向上宗乘事，只要重商量，拋火把，安禪未必須，山水滅卻身心火，自涼。

義江光忠信男下火 預請

白髮丹心賦畝忠，金湯法社立全功，呵呵拍手好歸去，失腳蹈翻都率宮，夫惟義江光忠信男，在家菩薩，亂世英雄，苦樂逆順，道在其中，生死涅槃，芭蕉葉上無愁雨，擒縱與奪，電光影中斬春風，不入佛界魔界，頓了人空法空，淨裸裸赤洒洒，離窠白絕羅籠，此是光忠禪定門行履處，猶有梅花路未通，拋火把，門外金剛白汗出，丙丁童子面皮紅，喝一喝。

但州太守大用宗碩信男下火 預請

百年一枕黑甜餘，索索涼風秋入墟，大用現前無軌則，龍泉射斗犯清虛，共惟但州太守大用

宗碩信男世緣雖淺俗氣未除是故香至季子求大乘器於赤縣東暗失隻履竺乾猛將構涅槃城於金河側徒說兵書依稀用松源黑豆法彷彿畫鞞川雪芭苴無滅無生證得火光三昧即空即假會盡物我一如恁麼轉去莫敢躡踏拋火把吞卻乾坤鐵眼魚喝一喝

覺林宗圓信男下火 預請

光吞萬象月孤圓心外求心錯果然生死涅槃無別路等閒踢倒率陀天夫惟覺林宗圓信男時節因緣莫待柏樹成佛當陽直指頻掃落葉單傳正覺喝下寂滅現前說甚七顛八倒論甚五蓋十纏雖然恁麼保祐後昆底活句試聽火把子敷宣拋火把舉頭殘照在元是住居西喝一喝

續芳宗繼信男下火 預請

武門閻閻繼箕裘亂世英雄獨拔尤生死涅槃是常事一刀兩段截凡流夫惟續芳宗繼信男調羹補袞跨窺衝樓真如隨緣二乘聲聞沈空寂邪見即正五逆調達結冤讎燈籠開口露柱點頭更有末後句汝聽取我焉度拋火把碧眼黃頭會不得野梅風定暗香浮咄

荆叟宗玉信男下火 預請

玉本圓成絕緇磷求之轉遠不求藥形山信手劈開了萬里無雲月一輪夫惟荆叟宗玉信男承村上帝稱源朝臣法社金湯跨臨濟大龍拗折頭角武門梁棟觸洋嶼黑魃脫卻凡鱗殺佛殺祖全俗全真了了時干甚溪聲廣長舌妙妙妙處莫認山色清淨身畢竟從門入者不是家珍教我如何說無物堪比倫拋火把錯春草池塘夢昨花今日塵錯錯

希道宗弘信男下火 預請

截斷生死寶劍光寒閃電擊石不移多端夫惟某名文韜武略義膽忠肝輔佐人主立孤爲難京師復舊置世泰安魯直穿鼻認著蟾桂王老說夢指示牡丹露電泡影作如是觀預修冥福懼報應殫是故五逆達多頓出地獄千佛廣額直證涅槃鬼畜人天同歸一致迷悟凡聖全無兩般須彌崩倒大海枯乾希道希道一期願後如何相看秋風索索葉落歸根開慶木人把笛奏萬年歡咄一咄

道本禪門下火 預請

人人本有圓成佛輝古騰今放大光觸惡鉗鎚出爐鑪黃金色上更添黃道本禪門耳邊看麼山色清淨眼處聽麼溪聲廣長打破虛空春色芭蕉拄杖子截斷生死提林際金剛王正與麼時節說甚麼無明煩惱論甚麼地獄天堂赤洒洒無窠臼淨裸裸絕承當別有宗乘向上事來吾與汝商量拋火把烏啼人不見花落木猶香喝一喝

石窓秀堅大姊預請秉炬

堅固法身無變遷鉞鋒頭上定坤乾打開末後牢關子月落金雞一拍天夫惟石窓秀堅大姊欺河陽新婦子瞞濟北老風顛金沙灘頭約馬郎上菩提樹上無明樹靈山會上接龍女說當體蓮說譬喻蓮休休百年壽盡後妙妙妙一漚未發先或時放去收來泥牛耕破瑠璃地或時出生入死玉兔挨開碧落門須彌繚筋斗虛空駕鐵船更有真歸處聽山僧敷宣拋火把舉頭殘照在本是住居西咄一咄

開溪宗音大姊下火 預請

此方真教在音聞，傾倒心腸說與君。諸佛出身那一路，青青脩竹送南薰。夫惟開溪宗音大姊，始終一節，末後慇懃，尼摠持得吾肉，仙陀婆出其群。隨緣真如，不變真如，有水皆含月，觀照般若，實相般若，無山不帶雲。拗折拄杖七八尺，脫卻鐵枷三百斤。正與麼時，還覺寒毛卓豎，麼紅爐焰裏雪紛紛。

江甫秀清大姊下火 預請

法身清淨本然體，大地山河活眼睛。金鴨香消人不見，頻呼小玉是何聲。夫惟江甫秀清大姊，受老瞿曇遺教，慕尼摠持芳名，恁麼不恁麼，分成六和合，不恁麼恁麼，本是一精明，生也佛界，魔宮紅爐雪，死也地獄天堂，乾闥城，左轉右轉，逆行順行，看看，毘盧頂上月白風清，咄一咄。

天慶元祐大姊預請百年後乘炬語

百年幾許保天祐，生死涅槃春夢中。打破虛空無一事，鷓鴣啼亂落花風。夫惟天慶元祐大姊，胸鑿映徹，戒珠玲瓏，少林門下尼摠持，意氣相奪，法華會上大愛道，記莚全同，八識七情，風來波浪起，三從五障，日出乾坤融，真如不變，豈有始終，正與麼時，無明煩惱非他物，正法眼藏在汝躬，赤洒洒沒窠臼，淨裸裸絕羅籠，此是元祐大姊，平常受用底，即今鐵鋒頭上，翻筋斗，火燭裏現神通，看看，拋火把，妙處欲言不及，海棠雨過夕陽紅，喝一喝。

惟清了圭大姊下火 預請

白圭無玷本來圓，祕在形山一百年。拈得分明與人看，華鯨吼破夕陽天。夫惟惟清了圭大姊，

內持晚節，外謝塵緣，穿玉線金針，笑日種氏說，鴛鴦教，把藥爐經卷，瞞秦國太參，蚌蛤禪，丈夫意氣，捏聚大千，幻化空身，即法身，花猶風雨後，無明實性，即佛性，松只雪霜先，正與麼時，認什麼泥洹，一路涉甚麼生死兩邊，舉火把，會麼，龍女變成男子處，枝頭露重火中蓮，喝一喝。

古梅妙林大姊下火 預請

踏翻地獄與天宮，死路通時活路通。此是少林真一曲，三千刹界落梅風。夫惟古梅妙林大姊，戒乘俱急，心境混融，菩提坊裏病維摩，□□□□金沙灘頭鎖子骨，誦經玲瓏，三賢十聖如電拂，四大五蘊本來空，空非空，色非色，始無始終，無終上透霄漢，下絕已躬，正與麼時，說什麼冥官鬼主，論什麼黃頭碧瞳，雖然妙林大姊，畢竟如何，研窮去，拋炬，劫火洞然毫末盡，青山依舊白雲中。

蘭室理秀大姊下火 預請

蘭有秀兮菊有芳，法身邊事露堂堂。夜來吹送涅槃雨，不滅心頭火自涼。夫惟蘭室理秀大姊，能學緇禮，掃除彩粧，點出三心，笑臭婆子，接德嶠，消得五障，瞞尼長老住，戒香平生作略，意氣難當，是故寂然不動，如春在花，了了無分曉，真如隨緣，似月印水，玄玄沒商量，透關萬重，或擒縱或與奪，還鄉一曲非角徵，非宮商，正好著力，打破黑漆桶，直得臨行，拋擲金剛王，這箇理秀大姊，平生閒伎倆，舉火把，別看勝熱婆羅門，放大光，咄，紅日照扶桑。

心田永安大姊下火 預請

眼界平時心地安，三更紅日黑漫漫。崑崙倒著娘生袴，火裏梅花吹雪寒。夫惟心田永安大姊，

越裳翡翠，摩利梅檀，五障本空，脫卻項上枷鎖，百年如夢，指示庭前牡丹，寄迹於洛涇，假道於邯鄲，加之，或時在龍女宮中，聽是文殊說法，聽非文殊說法，或時入蠅螟國裏，與善知識相看，與惡知識相看，易易轉凡成聖，易難轉聖成凡，難生也，鐵壁迸開雲片片，死也，黑山輓出月團團，永安大姊，驀直去，太無端，若要向上事，應作如是觀，擲火把，一把柳絲收不得，和風搭在玉欄干。

陽甫玄春大姊下火 預請

不待威音空劫春，無根樹子著花新，昆嵐昨夜忽吹倒，大地茫茫愁殺人，夫惟陽甫玄春大姊，名珪無類，補鏡絕塵，生也，蝴蝶夢中家萬里，死也，翡翠簾前月一輪，不通凡聖，把定要津，玄春大姊，正與麼時，向何處著渾身去，拋火把，須彌跣跳鐵鋒上，丙丁童子笑闍闍，喝一喝。

穆庵芳春禪定尼下火 預請

喚起一場春夢婆，落花啼鳥百年過，無端吹滅心頭火，月白風清安樂窩，夫惟穆庵芳春禪定尼，腳踏實地，心澄劫波，開甘露門，探菽拯青提女，設楞嚴會，甘蔗度摩登伽，不施寸刃，殺盡魔佛，不隔毫端，忘了自他，說甚麼生死涅槃，驪珠光燦爛，論什麼無明煩惱，蟾桂影婆娑，更有向上那一路，試進得一步麼，拋火把，石女舞成長壽曲，木人唱起太平歌，喝一喝。

雪溪宗春信女下火 預請

風驚雨過百年強，心火滅時心自涼，啼鳥落花人不見，一場春夢覺猶香，夫惟雪溪宗春信女，錦心繡口，鐵肝石腸，如水有源，賜姓稱清和之苗裔，似禪歸海，擇師得鄧林之棟梁，黃河誓帶，

岷江濫觴，或時截生死流，赤洒洒沒窠臼，或時超如來地，淨躑躅絕承當，到這裏說甚麼無明煩惱，論什麼地獄天堂，不通線路，把定封疆，雖然恁麼，保祐後昆底一句，試聽山僧舉揚去，拋火把，自家頻掃門前雪，莫管他人屋上霜，喝一喝。

全室宗盛信女下火 預請

百年三萬六千霜，盛者必衰人不常，漏盡鐘鳴底時節，泥犁兜率黑甜鄉，夫惟全室宗盛信女，懷胎兔子，擇乳鵝王，具截流機，秦國夫人參洋嶼，起救世願，鎖骨菩薩嫁馬郎，見性不隔羅縠，試我莫以革囊煩惱，即菩提，水自竹邊流出冷，娑婆即華藏，風從花裏過來香，向上宗乘事，直下承當去，喝一喝，拋火把，安禪未必須山水，滅卻心頭火自涼。

壽岳宗永信女下火 預請

王母蟠桃祝永年，神仙祕訣錯流傳，崑崙核子果何物，今日看來火裏蓮，夫惟壽岳宗永信女，奕葉競秀，貞節彌堅，靈山會上龍女，號華鮮如來，捨邪歸正，金沙灘頭馬婦，化鎖骨菩薩，赴感隨緣，入真如界，不住真如，花猶風雨後，在生死中不染生，死，松只雪霜先，虛空裂落地，須彌跳上天，雖然恁麼，與後昆底一句，試聽山僧敷宣，拋火把，臨濟命根元不斷，一條紅線手中牽，喝一喝。

梅屋妙薰信女下火 預請

諸佛出身活路開，薰風昨夜自南來，無端吹作紅爐雪，六月炎天一朶梅，夫惟梅屋妙薰信女，掃除五障，消得三災，說法度生，應身如來，鶴林唱滅，拔苦與樂，積行菩薩，龍門颺顯，見性猶隔

羅穀遺骨強撥冷灰，了了時乾坤窄。星辰黑，玄玄處處虛空消。鐵山摧，妙薰妙薰，是甚麼時節。拋火把，石女舞成長壽曲，燈籠露柱笑哈哈，喝一喝。

春榮壽椿信女下火 預請

莊椿閱世八千歲，胡蝶園中一刹那。無說無聞真般若，燈籠開口念摩訶。夫惟春榮壽椿信女，拜稗沙門，受草袈裟，盛者必衰，雖示鶴樹滅於甘蔗氏，熾然常說，不待龍華會於迦葉波。物物全真，無數飛花，圓通境，塵塵解脫。兩三脩竹，安樂窩，從前閒絡索，且置。向上宗乘如何。拋火把，白鷗不受人間暑，江上清風吹雨過，喝一喝。

松溪宗貞信女下火 預請

貞節彌堅克始終，真如佛性絕如同。丙丁童子呵呵笑，三十三天活火紅。夫惟松溪宗貞信女，本然清淨，內外玲瓏，諸佛出興，水浮天，天浮水，世尊入滅，風拂月，月拂風，生死去來，全無住處。苦樂逆順，道在其中。正與麼時節，說甚麼千生萬劫，論什麼五障三從，轉身自在，八達七通。雖然恁麼，欲知向上事，須參教外宗。拋火把，看看一棒打破太虛空，喝一喝。

景雲壽慶信女百年後乘炬語

地獄天堂一夢中，掃除五障絕三從。凡鱗脫盡底時節，其面華鮮娑竭龍。夫以景雲壽慶信女，觀世間相歸教外宗，隨緣真如，不變真如，煙鎖翠竹，觀照般若，實相般若，風吹幽松，了了時是何物。玄玄處處莫留蹤，雖然恁麼，聲前一句君聽取。拋火把，青山不改舊時容，咄一咄。

宗光信女下火 預請

萬機休不住無心，一段靈光亘古今。向上鉗鎚纔下手，都盧大地變黃金。宗光宗光，還消得萬兩黃金麼。煩惱即菩提，截蜂房，作獅子窟。娑婆即華藏，變荆棘，成栴檀。林木人暗穿，玉線石女密度，金針拋火把，要聽無生那一曲，三千里外絕知音。

芳室宗繼信女下火 預請

截斷手中絲線長，繡成端的兩鴛鴦。涅槃生死春宵夢，枕破斜紅覺尙香。夫惟芳室宗繼信女，露芽蘭秀，晚節菊芳，本是一精明，華鮮如來現。龍女分作六和合，鎖骨菩薩嫁馬郎。天無蓋地無載，昔不生今不亡，淨裸裸出窠臼，赤洒洒絕覆藏。燈籠跳入露柱，泥人搗倒金剛，要識向上宗乘事麼。打破鏡來，與爾商量。拋火把，少林煨桂久，昌昌喝一喝。

桂雲昌慶信女預請百年後乘炬語

火把打圓相，獻珠龍女太顛預。不信一鎚鎚碎看，鐵壁迸開雲片片。黑山輾出月團團，昌慶信女，還會麼。當陽直指，不涉多端。昔甘蔗先生出西方，而布法華於一由旬。袈裟下藏毒藥，後香至大士，入東海而泛慈航於十萬里。平地上起波瀾，說甚麼三車火宅，認什麼隻履空棺。三世心不可得，將心來爲汝安。雖然恁麼，百年壽盡後，應作如是觀。知見立知，卽無明本，知見無見。斯卽涅槃，拋火把，喝一喝。

花溪宗春信女預請乘炬語

驚起一場春夢婆，百年光景鳥飛過。虛空昨夜叫希有，火裏花開優鉢羅。夫惟花溪宗春信女，蕭爾糝淡，溫然氣和。三萬貌牀，維摩臥病於毘耶室。五千貝葉，瞿曇示滅於尼連河。作衆生母。

降煩惱魔，本來面目露堂堂，梅瘦占春少，金剛眼睛烏律律，庭寬得月多，當陽直指端的會麼，拋火把，石女舞成長壽曲，木人唱起太平歌，喝一喝。

瑞甫清珍信女下火 預請

從門入者不家珍，龍女寶珠磨不磷，直下出頭天外看，浮雲散處月光新，清珍清珍，是甚麼是甚麼，溪聲廣長舌，山色清淨身，不立迷悟，把定要津，正與麼時，三世諸佛，向火焰裏轉大法輪，雖然如是，更有歸處，試聽山僧指陳，咄咄咄，白灰撥出玉麒麟。

梅憲理清信女下火 預請

直得純清絕點時，機輪轉處電光遲，丙丁童子叫希有，火裏優曇和雪吹，夫惟梅憲理清信女，愛物無黨，莅民有慈，法華會中，倒跨五臺獅子，無垢世界，忽化八歲龍兒，直入涅槃一路，何涉生死兩歧，公案現成，荷葉團團，似鏡當陽，直指菱角尖尖，如錐淨裸裸地，不挂寸絲，雖然恁麼，向上還有事，山僧說向誰，拋火把，欲問花來處，東君亦不知，咄一咄。

心源宗清信女下火 預請

放出心源徹底清，清寥寥地太分明，一條界破轉身路，直蹈毘盧頂上行，夫惟心源宗清信女，山川鍾秀，閭里向榮，露柱懷胎，鹿足感般若之說，明珠在掌，龍女受華鮮之名，直證佛果，豈墮凡情，弄花香滿衣，遊戲神通，解脫國土，步岳風吹，面剎那滅卻，阿鼻火坑，正與麼時，說甚三從五障，論甚萬劫千生，雖然恁麼，末後那一句，如何施呈去，拋火把，頻呼小玉，元無事，只要檀郎認得聲。

天章宗清信女下火 預請

火把打圓相，直得浮雲絕點時，一輪明月自清奇，不離當處南方界，龍女寶珠還我來，夫惟天章宗清信女，掃除五障，化育二儀，隨緣真如，不變真如，荷盡已無擎雨蓋，觀照般若，實相般若，菊殘猶有傲霜枝，到這裏，說甚菩提煩惱論，甚兜率泥犁，雖然恁地，要聞向上那一句麼，拋火把，針眼魚吞卻須彌，咄一咄。

和仲妙春信女下火 預請

生死涅槃春夢婆，天堂地獄亦南柯，當陽直指君聽取，風攪楓林一雨過，夫惟和仲妙春信女，燒香禮佛，掛鏡降魔，苦海慈航，濡首化度五障龍女，昏衢慧炬，慶喜逢著四果登伽，單傳霜寒，流蓬落葉，大法秋晚，折葦枯荷，誰家不春，塵塵隨身兜率，有水含月，物物唯心彌陀，無佛處不得住，玄玄窟須呵，從前開絡索且措，向上宗乘事如何，拋火把，驪珠光燦爛，蟾桂影婆娑，喝一喝。

大有宗豐信女下火 預請

從二神開豐葦原，至今天地是同根，泥犁兜率春閨夢，醒後簾前月一痕，夫惟大有宗豐信女，精神雪潔，笑語春溫，畫混沌眉，拈贖岳生苔，滅正法眼，鼓密庵破沙盆，暗穿祖師鼻孔，明徹諸佛心源，無餘涅槃，泥牛耕破瑠璃地，不昧因果，玉兔挨開碧落門，百丈山一拳拳倒，四大海一踢踢翻，那箇真底倩女離魂，拋火把，紅爐一點雪，鑄出鐵崑崙。

保天慶祐信女預請下火語

火把打圓相，坤德至哉天祐之，始終一節不曾移，臨行唱起還鄉曲，莫向風前歌竹枝，夫惟保天慶祐信女，掃除五障，化育二儀，其人如金如玉，短褐不緇，不磷不緇，生也，春風桃李花開夜，死也，秋雨梧桐葉落時，淨裸裸赤洒洒，離生死絕去來，怎麼不恁麼，毛吞巨海，不恁麼，恁麼，芥納須彌，慕直轉去，莫涉兩岐，雖然如是，山僧向痛處，重下鐵錐，擲火把，力因希咄咄，紅爐放出鐵烏龜。

海雲宗龍信女百年後乘炬語

火把打圓相，出生死海，脫龍鱗，元是如如淨法身，一陣清風掃明月，從門入者不家珍，夫惟海雲宗龍信女，胸中不芥，眼裏無塵，其德也如金如玉，其行也不緇不磷，四大本空，紅英掃地風驚曉，五蘊非有，綠葉成陰，雨洗春鉞，眼魚吞石佛，丙丁童笑閭閻，更有向上宗乘事，試聽休上座指陳，拋火把，千峯萬岳雲收後，翡翠簾前月一輪，喝一喝。

德陰妙性信女下火 預請

成佛還他見性人，無陰陽地絕纖塵，夜來月入牢江去，龍女寶珠磨不磷，夫惟德陰妙性信女，蕊菽草種桃花色，慕大慧禪，際臨濟中興之日，會永明旨，值彌勒下生之辰，允矣，則天皇后化迹記否，秦國夫人舊因，彩鳳舞丹霄，打破涅槃古鏡，清風拂明月，脫卻生死苦輪，轉凡作聖，弄假像真，淨裸裸絕承當，針鋒頭翹足，火焰裏藏身，喝一喝，雖然恁麼，覆蔭後昆底活句，試聽休上座指陳，拋火把，揭諦波羅僧揭諦，故家喬木又逢春。

覺林妙等信女下火 預請

平等一如如法門，百千妙德接心源，須彌躡跳入鉞眼，八角磨盤空裏奔，夫惟覺林妙等信女，移風換俗，抱子弄孫，其芳隣也，左以花右以竹，其真節也，兄有梅弟有蘭，理智圓融，說甚麼始覺本覺，與奪自在，管什麼上根下根，端的雙收雙放，畢竟非亡非存，和黃鶴樓一拳拳倒把，鴛鴦湖一踢踢躡，此是妙等信女，真履實踐處，百年壽盡後消息，聽取火把子重論，拋火把，拾得紅爐一點雪，黃金鑄出鐵崑崙，喝一喝。

花屋周林信女下火 預請

鶴林示滅二千年，山色如灰花似烟，元是圓成那一佛，木人石女叫蒼天，夫惟花屋周林信女，觀有情世間事，了無生一大緣，七賢女問死屍於尸陀林，有時盡矣，八歲龍唱正覺於無垢界，易地皆然，虛空裏翻筋斗，須彌頂駕鐵船，洛陽是兜率，風吹南岸柳，娑婆即華藏，雨打北池蓮，峭巍巍孤迥迥，離窠臼，出蓋纏，上件底且措，達磨為甚不會禪，喝一喝。

月溪妙秋信女下火 預請

秋風昨夜動乾坤，葉落樹凋歸本根，和卻心空那一火，黃金鑄出鐵崑崙，夫惟月溪妙秋信女，美玉無價，赤繩定婚，摩耶為千佛之母，則天稱三會之尊，生死涅槃，翡翠踏翻荷葉雨，真如寶相，玉兔挨開碧落門，拋火把，喝一喝。

宗真信女下火 預請

試看娘生面目真，意中眉黛遠山新，無端打破曹溪鏡，放出天邊月一輪，夫惟宗真信女，唱南無佛效西子，鬢隨緣真如，不變真如，翠竹風冷，觀照般若，實相般若，黃花露勻，如金如玉，不緇

不磷，雖然恁麼，從門入者不是，那箇是自家珍。拋火把，鉞鋒頭翹足，火焰裏藏身，喝一喝。

宗龜信女下火 預請

紅爐放出鐵烏龜，皮裹骨耶骨裹皮，不屑當時大隋老，草屨生靴上天來，夫惟宗龜信女，鉞鋒翹足，茗帚圖眉，徹自性源，則攪黃河成酥酪，滅心頭火，則變饒湯作寶池，意氣堂堂，一踢踢翻四大海眼，光爛爛，一拳拳倒五須彌，到這裏，無菩提可證，無生死可離，石火不及，閃電猶遲，向上轉去，莫涉多岐，咄一咄，拋火把，欲問花來處，東君亦不知。

春芳妙榮信女下火 預請

朝榮暮辱共成空，今日顏非昨日紅，生死涅槃一場夢，天堂地獄大槐宮，夫惟春芳妙榮信女，無偏無黨，克始克終，接總持尼，達磨分張皮髓，逢登伽女，慶喜撫摩娑，真如佛性，顛預備伺，縱放般若光，蚌蛤含天上明月，雖得定慧力，蚊虻弄空裏猛風，淨裸裸赤洒洒，酒不受，諸方羅籠，掃除三從五障，直得八達七通，透金剛圈，吞栗棘蓬，雖然如是要識轉身處，問取丙丁童，拋火把，喝一喝。

妙蓮信女百年後下火語

夢幻空花一百年，風驚雨過剎那遷，回光返照自看取，露滴清香火裏蓮，夫惟妙蓮信女，消滅五障，脫離十纏，將謂金沙灘頭鎖骨，元來無垢世界華鮮，鉞鋒頭上五須彌，石女起作舞，地獄門前鬼脫卵，扇子跳上天，驀直轉去，莫涉言詮，會麼，拋火把，向上一路，千聖不傳，咄咄咄。

宗祐信女下火 預請

半熟黃梁夢蝶牀，回頭三萬六千場，明明說與西來意，紅槿花前欲夕陽，夫以宗祐信女，精神雪潔，貞節菊芳，五障本空，文殊代佛，度龍女，兩願成就，觀音作婦，約馬郎，蕩滌罪垢，經卷流水，截斷生死，慧劍秋霜，赤洒洒沒窠臼，淨裸裸絕承當，雖然如是，向上還有事，我爲汝舉揚，擲火把，安禪未必須，山水滅卻心頭火，自涼，喝一喝。

心月妙性信女預修三十三白忌冥福之次，更請百年後乘炬語

佛性元來無變遷，不論時節與因緣，請君離卻指頭看，月在青天夜夜圓，夫惟心月妙性信女，劫波雖濁，晚節彌堅，翠袖佳人，竹動疎壁，畫眉京兆，花滿細川，夫與留美名於身後，不如修冥福於生前，赤豆兩車，唱無量壽百萬玉函，七軸轉妙法華一千，慎終追遠，三十三年，無明即明，對普廣王說，鴛鴦教諸相非相，接秦國太露蚌蛤禪，出涅槃窠窟，脫生死蓋纏，燈籠入露柱，虛空駕鐵船，雖然恁麼，更有向上宗乘事，試聽山僧敷宣，拋火把，雨中看呆日，火裏酌清泉。

西夕明慶信女預請百年後下火語

元是餘慶積善家，光明照徹盡河沙，試看大用現前處，火裏優曇一朵花，夫惟西夕明慶信女，神潔冰雪，語帶煙霞，栽松禍根，五祖之兒，託周氏，甘蔗惡孽，千佛之母，稱摩耶，心生種種法生，淡閨洞房，枕上化蝶，心滅種種法滅，地獄天堂，杯中假蛇，頓出三界火宅，直駕一乘大車，雖江月照，被曉風遮，赤洒洒沒拘束，淨裸裸絕誦訛，要知末後句，聽金口吧吧，拋火把，會麼，夕陽長在我西斜，咄一咄。

希西唯心信女下火 預請

卽心卽佛一精明，吹滅阿毘大火坑。若認檀郎千萬錯，頻呼小玉杜鵑聲。夫惟希西唯心信女，出群拔萃，騰茂飛英，龍女號華鮮如來，改頭換面，馬婦化鎖骨菩薩，接物利生，轉身自在，遊戲縱橫，生死涅槃，落花三片五片，真如實相，脩竹一莖兩莖，塵塵解脫，箇箇圓成，露堂堂月白，淨裸裸風清，雖然恁麼，向上卻有事，端的爲君呈，拋火把，本一心常樂我淨，始一氣元亨利貞，喝一喝。

渭川宗清信女下火 預請

昔日種氏四十九年，三說鹿野資始鶴林示終，爾來乘地藏願輪，則外現聲聞，內秘菩薩，揮彌陀利劍，則上無攀仰，下絕已躬，出無明窠窟，破生死羅籠，木人太平歌，長樂鐘響花外，石女長壽曲，關山笛揚月中，塵塵解脫，法法圓融，雖然如是，向上還有事，一偈爲君通去，火把打圓，清容獨秀，內家叢粉黛三千，爭淡濃無去無來，無所住，夕陽長在我西紅，拋火把，喝一喝。

真如妙性信女下火 預請

真如妙性不曾移，昨夜虛空落地時，無所從來無所去，蟪蛄吞卻五須彌，夫惟真如妙性信女，火中木母，泥裏摩尼，百媚千嬌，金沙灘頭馬婦，現鎖骨菩薩，三從五障，靈山會上龍女，稱華鮮如來，甚希有甚希有，也太奇也太奇，淨裸裸絕承當，說甚鑊湯爐炭，赤洒洒沒窠臼，論甚兜率泥犁，喝一喝，拋火把，杜鵑啼在落花枝。

古梅妙意信女下火 預請

祖師無意不西來，吹裂虛空鐵笛哀，休道少林消息斷，送行唯有一枝梅，夫惟古梅妙意信女，

正因信淨，世相心灰，瞿曇三界之師，燈籠合掌，摩耶千佛之母，露柱懷胎，教外別傳，葵花無眼，隨口轉喝，下正覺芭蕉，無耳聽雷開，希有希有，奇哉奇哉，曹家女現寶鏡臺，看看本來無一物，何處惹塵埃，拋火把，咄一咄。

春芳妙榮信女下火 預請

百年富貴一場榮，風攪落花春夢驚，歸便可歸兜率路，杜鵑枝上月三更，夫惟春芳妙榮信女，錦心繡口，玉振金聲，堅固法身，磨而不磷，涅而不緇，真如自性，涸之不濁，澄之不清，倩女離魂，那箇真底，龐婆團圓共說，無生，瀉瑜伽法水，滅阿鼻火坑，要知教外宗旨，山僧爲汝施呈去，拋火把，誰家別館池塘裏，一對鴛鴦畫不成，喝一喝。

維馨宗範信女下火 預請

無常迅速太無端，假示雙林般涅槃，此是孃生本來面，月移梅影上欄干，夫惟維馨宗範信女，珠簾玉案，禪板蒲團，效少林響，則西施淡粧，除非與化，持首楞咒，則摩登愛纏，逼殺阿難，手携壺中隻履，腳倒門前刹竿，加之初頓華嚴，後分華嚴，南詢善財成正覺，實相般若，觀照般若，東請常啼賣心肝，真箇若未穩在，將心來與汝安，拋火把，喝一喝。

渭川宗清信女下火 預請

鑊湯爐炭清涼界，熱鐵洋銅安樂窩，佛法南方梅一點，驚人春色不須多，夫惟渭川宗清信女，如竹保節似花養，和無山不帶雲，則天下生彌勒有水皆含月，豐干上品彌陀，入淨入穢，入佛入魔，天女散花，判維摩憑於笏室，古人題菊，示涅槃相於金河，了了時無可了，立立處處亦